

学校コード F117110105393

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前相談**

注2

金沢大学大学院 自然科学研究科 機械科学専攻 (博士前期課程)

## 【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人金沢大学  
令和4年5月1日現在

作成担当者			
担当部局(課)名	企画評価室		
職名・氏名	専門職員	コジマ 小島	ナオト 直人
電話番号	076-264-5020		
(夜間)	076-264-5020		
e-mail	g1kikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp		

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 自然科学研究科博士前期課程

＜機械科学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	40

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人金沢大学

## (2) 大学名 金沢大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒920-1192  
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ワダ タカシ) 和田 隆志 (令和4年4月)		
学部長	(イイヤマ コウイチ) 飯山 宏一 (令和4年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)  
令和4年度に報告する内容 → (4)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
自然科学研究科 機械科学専攻 修士（工学） 修士（学術）	工学関係	2 年	72 人	年次 人	144 人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	72 ( - ) [ - ]	0.90倍	-
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	78 ( - ) [ 1 ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	72 ( - ) [ 1 ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	67 ( - ) [ 1 ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	65 ( - ) [ 0 ]		
入学定員超過率 B/A											0.9		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	65 [ 1 ] -	- [ - ] -	
2 年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3 年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [ - ] ( - )
4 年次	/						/		/		[ ] ( )
計			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )					[ ] ( )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	65人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{65} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。







修了要件及び履修方法
<p>2年以上在学し、31単位(必修13単位、選択必修2単位、選択16単位)以上を修得した上で、修士論文審査及び最終試験に合格すること。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>なお、研究科共通科目の大学院GS科目から2単位を選択必修とする。基礎科目の機械数理系科目から2単位以上及び機械系科目から6単位以上、応用科目の自プログラムの科目から6単位上及び他プログラムの科目から2単位以上修得すること。</p> <p>&lt;サステナブル理工学プログラム&gt;</p> <p>・当該プログラムは、自然科学研究科全専攻にまたがる分野横断教育として開講する。博士課程5年一貫型の副専攻であり、以下の(1)～(5)の分野から希望するいずれか1つのプログラムを履修することができる。</p> <p>・本プログラムの博士前期課程に相当する授業科目(上掲)を履修し、所定の審査を受けた後、博士後期課程相当の授業科目を履修し、プログラム修了に必要な最終審査を受ける。</p> <p>・プログラム共通科目は、大学院GS科目の「数理・データサイエンス論A」、「技術マネジメント基礎論A」及び「技術マネジメント基礎論B」を含む。</p> <p>・博士前期課程に相当する授業科目の修得要件は以下のとおり。</p> <p>(1)宇宙理工学分野</p> <p>プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「衛星システム」、「衛星設計開発A」及び「衛星設計開発B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「宇宙・プラズマ物理学」を含む。</p> <p>(2)環境・エネルギー理工学分野</p> <p>プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「環境・エネルギー工学総論A」、「環境・エネルギー工学総論B」、「環境・エネルギー技術英語基礎」及び「総合日本語」(外国人留学生のみ)を含む7単位(外国人留学生は8単位)以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「環境・エネルギー工学総論A」及び「環境・エネルギー工学総論B」を含む。</p> <p>(3)数理・ナノ物質理工学分野</p> <p>プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「数理・ナノ物質理工学概論」に加え、「数理物質科学概論」、「ナノ化学概論」及び「ナノ物質科学概論」のうち1科目以上を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「凝縮系物理学基礎A」を含む。</p> <p>(4)超スマート社会理工学分野</p> <p>プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「超スマート社会理工学概論A」及び「超スマート社会理工学概論B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には応用科目(設計生産システムプログラム)の「メカニズムの運動解析と設計A」を含む。</p> <p>(5)生命・フィールド理工学分野</p> <p>プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「フィールド生物学」、「地球環境フィールド理工学概論」及び「社会基盤工学概論」を含む7単位以上を修得すること。</p>

修了要件及び履修方法
<p>2年以上在学し、32単位(ただし、研究取りまとめの方法として「博士研究調査」を選択した者は、34単位)以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文審査及び最終試験又は大学院学位に規定する試験及び審査に合格すること。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>なお、研究科共通科目の大学院GS基礎科目から3単位を選択必修とする。基礎科目の機械数理系科目から2単位以上及び機械系科目から6単位以上、応用科目の自プログラムの科目から6単位上及び他プログラムの科目から2単位以上修得すること。</p> <p>&lt;サステナブル理工学プログラム&gt;</p> <p>・当該プログラムは、自然科学研究科全専攻にまたがる分野横断教育として開講する。博士課程5年一貫型の副専攻であり、以下の(1)～(5)の分野から希望するいずれか1つのプログラムを履修することができる。</p> <p>・本プログラムの博士前期課程に相当する授業科目(上掲)を履修し、所定の審査を受けた後、博士後期課程相当の授業科目を履修し、プログラム修了に必要な最終審査を受ける。</p> <p>・プログラム共通科目は、大学院GS基礎科目の「数理・データサイエンス論A」、「技術マネジメント基礎論A」及び「技術マネジメント基礎論B」を含む。</p> <p>・博士前期課程に相当する授業科目の修得要件は以下のとおり。</p> <p>(1)宇宙理工学分野</p> <p>プログラム共通科目から「異分野研究調査」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「衛星システム」、「衛星設計開発A」及び「衛星設計開発B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「宇宙・プラズマ物理学」を含む。</p> <p>(2)環境・エネルギー理工学分野</p> <p>プログラム共通科目から「異分野研究調査」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「環境・エネルギー工学総論A」、「環境・エネルギー工学総論B」、「環境・エネルギー技術英語基礎」及び「総合日本語」(外国人留学生のみ)を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「環境・エネルギー工学総論A」及び「環境・エネルギー工学総論B」を含む。</p> <p>(3)数理・ナノ物質理工学分野</p> <p>プログラム共通科目から「異分野研究調査」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「数理・ナノ物質理工学概論」に加え、「数理物質科学概論」、「ナノ化学概論」及び「ナノ物質科学概論」のうち1科目以上を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「凝縮系物理学基礎A」を含む。</p> <p>(4)超スマート社会理工学分野</p> <p>プログラム共通科目から「異分野研究調査」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「超スマート社会理工学概論A」及び「超スマート社会理工学概論B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には応用科目(設計生産システムプログラム)の「メカニズムの運動解析と設計A」を含む。</p> <p>(5)生命・フィールド理工学分野</p> <p>プログラム共通科目から「異分野研究調査」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「フィールド生物学」、「地球環境フィールド理工学概論」及び「社会基盤工学概論」を含む7単位以上を修得すること。</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。))を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・全学的な大学院教育改革に伴い、研究科共通科目の区分名を「大学院GS科目」から「大学院GS基盤科目」に変更し、「技術経営(MOT)コースに関する科目」の区分を削除。
- ・全学的な大学院教育改革に伴い、5科目(「知識集約型社会とデータサイエンス」、「次世代の先端科学技術」、「スマート創成科学」、「人間のと社会の課題」、「ヘルスケア・イノベーション」、「破壊的イノベーションに向けた技術経営論」)を新設し、担当教員数をそれぞれ「兼任1」に設定。
- ・全学的な大学院教育改革に伴い、授業科目名を「ベンチャービジネス論A、B」を「イノベーション方法論A、B」に、「技術経営論入門A、B」を「技術経営論A、B」、「技術マネジメント基礎論A、B」を「技術マネジメント基礎論A、B」に変更。
- ・全学的な大学院教育改革に伴い、サステナブル理工学プログラムの科目であった「ラボローテーション」の履修対象を専攻全員とするため、科目名を「異分野研究探索」に、科目区分を大学院GS基盤科目に変更し、担当教員数を「専任1」及び「兼任5」に設定。
- ・授業内容をより明確にするため、授業科目名を「バイオ工学基礎A、B」から「バイオ工学特論A、B」に変更。
- ・担当教員の変更により、「創成研究Ⅰ」及び「創成研究Ⅱ」を教授1に変更。
- ・開講時期の見直しにより、「連携科目」の開講学期を「1①・②」から「1②」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「熱・物質移動現象論A」及び「熱・物質移動現象論B」を教授1に変更。
- ・担当教員の変更により、「材料プロセス工学A」及び「材料プロセス工学B」を准教授2に変更。
- ・担当教員の異動により、「分離工学特論A」及び「分離工学特論B」を兼任1に変更。
- ・担当教員の昇任により、「機械科学特別講義Ⅱ」を教授1に変更。
- ・博士論文基礎力審査による修了のための指導を明確にするために、「博士論文調査」の科目区分及び科目を新設。
- ・担当教員の変更により、「衛星システム」及び「衛星設計開発B」の担当教員数を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・担当教員の変更により、「エネルギー・環境プログラム序論」の担当教員数を「兼任1」から「兼任4」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「数理・ナノ物質理工学概論」の開講学期を「1①・②」から「1①」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「テクノロジトレンド工学A」の開講学期を「1①」から「1③」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「テクノロジトレンド工学B」の開講学期を「1②」から「1④」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「フィールド生物学」の開講学期を「1③」から「1④」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「地球環境化学A」の開講学期を「1①」から「1③」に変更。
- ・教員の異動等により、「フィールド実習A」の担当教員数を「兼任15」から「兼任17」に変更。
- ・教員の異動等により、「異分野研究探索」の担当教員数を「教授1、兼任5」から「兼任6」に変更。
- ・全学的な大学院教育改革に伴う新規科目の追加、選択区分の変更及び博士研究基礎力調査の導入により、修了に必要な単位数を変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	101 科目	42 科目	146 科目	2 科目 [ Δ1 ]	110 科目 [ 9 ]	41 科目 [ Δ1 ]	153 科目 [ 7 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	フーリエ解析の方法と応用A	1	1	専門	選択	担当教員の病気休職による（代替なし）
2	フーリエ解析の方法と応用B	1	1	専門	選択	担当教員の病気休職による（代替なし）
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「フーリエ解析の方法と応用A/B」に関しては担当教員の病気休職による未開講であるが、学生の選択肢は若干狭まるもののその他の数理系科目で数学的な素養は十分にカバーできるものとし、今回の処置とした。学生に対しては同カテゴリの科目を履修するように勧めると共に、今後担当教員の病気休職よりの復帰の際には速やかに開講する方針である。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{146} = \boxed{1.36}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	730,408 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	730,408 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	115,740 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	115,740 m <sup>2</sup>				
	小 計	846,148 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	846,148 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	1,717,530 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	1,717,530 m <sup>2</sup>				
	合 計	2,563,678 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	2,563,678 m <sup>2</sup>				
(2) 校舎	専 用	284,135 m <sup>2</sup> <del>283,999 m<sup>2</sup></del> (284,135 m <sup>2</sup> ) <del>(283,999 m<sup>2</sup>)</del>	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	284,135 m <sup>2</sup> <del>283,999 m<sup>2</sup></del> (284,135 m <sup>2</sup> ) <del>(283,999 m<sup>2</sup>)</del>	大学全体 建物増築のため(4)			
	講義室	162室	演習室	208室	実験実習室	1,180室	情報処理学習施設	11室 (補助職員 0人)	語学学習施設
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		自然科学研究科 機械科学専攻			39 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	専攻単位で特定不能のため、 大学全体の数量 購入・廃棄等のため (4)	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					点
	冊	種	[うち外国書]						
	自然科学研究科	1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	34,760 [12,152] <del>35,708 [13,079]</del>	10,888 [9,388] <del>10,744 [9,292]</del>	8,372 <del>8,336</del>	9,633 <del>8,986</del>	212		
	機械科学専攻	1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	(34,760 [12,152]) <del>(35,708 [13,079])</del>	(10,888 [9,388]) <del>(10,744 [9,292])</del>	8,372 <del>8,336</del>	(9,633) <del>(8,986)</del>	(212)		
計	1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	34,760 [12,152] <del>35,708 [13,079]</del>	10,888 [9,388] <del>10,744 [9,292]</del>	8,372 <del>8,336</del>	9,633 <del>8,986</del>	212			
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			大学全体 椅子破損および書架 入れ替え等のため(4)	
	19,794m <sup>2</sup>		2,194 <del>2,185</del>		1,633,859 <del>1,640,536</del>				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,295m <sup>2</sup>		可動屋根付プール (1,193 m <sup>2</sup> )		弓 道 場 ( 162 m <sup>2</sup> )				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	-千円	-千円	図書購入費	-千円	-千円	-千円	
		共同研究費等	-千円	-千円	設備購入費	-千円	-千円	-千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		-千円	-千円	-千円	-千円	-千円	-千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		-							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
<b>融合学域</b>											
先導学類	4	55		110	学士(学術)	1.06	1.03	-	令和3	石川県金沢市角間町	
観光デザイン学類	4	15		15	学士(学術)	1.20	1.20		令和4	同上	
<b>人間社会学域</b>											
人文学類	4	138	-	569	学士(文学)	1.02	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△4) 令和4年度入学定員変更(△3) 令和3年度入学定員変更(△10) 令和4年度入学定員変更(△10) 入学定員変更(△4)
法学類	4	150	3年次10	670	学士(法学)	1.01	1.01	-	平成20	同上	
経済学類	4	131	-	532	学士(経済学)	1.00	1.01	-	平成20	同上	
学校教育学類 共同教員養成課程	4	85	-	85	学士(教育学)	1.02	1.02	-	令和4	同上	
地域創造学類	4	88	-	356	学士(地域創造学)	1.03	1.01	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
国際学類	4	81	-	334	学士(国際学)	1.02	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和4年度入学定員変更(△2)
学校教育学類	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和4年度学生募集停止
<b>理工学域</b>											
数物科学類	4	82	3年次5	338	学士(理学)	1.01	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△2)
物質化学類	4	79	3年次4	324	学士(理学・工学)	1.04	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
機械工学類	4	97	3年次10	408	学士(工学)	1.02	1.04	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3)
フロンティア工学類	4	107	3年次5	438	学士(工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3)
電子情報通信学類	4	78	3年次7	326	学士(工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
地球社会基盤学類	4	98	3年次7	406	学士(理学・工学)	1.02	1.04	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
生命理工学類	4	58	3年次2	236	学士(理学・工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△1)
機械工学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
電子情報学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
環境デザイン学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
<b>医薬保健学域</b>											
医学類	6	112	2年次5	697	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	平成20	石川県金沢市宝町13-1	入学定員変更(12)※臨時定員増継続
薬学類	6	65	-	270	学士(薬学)	1.04	1.00	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(30)

医薬科学類	4	18	-	36	学士 (生命医科学・創薬科学)	1.05	1.05	-	令和3	同上	
保健学類						1.01	1.01				
看護学専攻	4	79	3年次 10	338	学士 (看護学)	1.00	1.00	-	平成20	石川県金沢市小立野5-11-80	令和3年度入学定員変更(△1)
診療放射線技術専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	1.01	1.02	-	平成20	同上	
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	1.01	1.00	-	平成20	同上	
理学療法学専攻	4	15	3年次 5	80	学士 (保健学)	1.09	1.06	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△5)
作業療法学専攻	4	15	3年次 5	80	学士 (保健学)	1.05	1.06	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△5)
創薬科学類	4	-	-	-	学士 (創薬科学)	-	-	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度学生募集停止
大学全体	-	1,726	95	7,383	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	金沢大学大学院					学生募集停止学科数	9	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	3	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間社会環境研究科											
人文学専攻	2	23	-	46	修士 (文学・学術)	0.82	0.82	-	平成24	石川県金沢市角間町	
経済学専攻	2	6	-	12	修士 (経済学・経営学・学術)	1.50	1.50	-	平成24	同上	
地域創造学専攻	2	14	-	28	修士 (地域創造学・学術)	1.28	1.21	-	平成24	同上	
国際学専攻	2	10	-	20	修士 (国際学・学術)	0.55	0.40	-	平成24	同上	
人間社会環境学専攻	3	12	-	36	博士 (社会環境学・文学・法学・政治学・経済学・学術)	1.08	0.91	-	平成18	同上	
法学・政治学専攻	2	-	-	-	修士 (法学・政治学)	-	-	-	平成24	同上	令和2年度学生募集停止
自然科学研究科											
数物科学専攻	2	56	-	112	修士 (理学・学術)	1.04	0.88	-	平成24	石川県金沢市角間町	
物質化学専攻	2	57	-	114	修士 (理学・工学・学術)	1.04	0.90	-	平成24	同上	
機械科学専攻	2	72	-	72	修士 (工学・学術)	0.90	0.90	-	令和4	同上	
フロンティア工学専攻	2	83	-	83	修士 (工学・学術)	1.08	1.08	-	令和4	同上	
電子情報通信学専攻	2	63	-	63	修士 (工学・学術)	1.03	1.03	-	令和4	同上	
地球社会基盤学専攻	2	69	-	69	修士 (理学・工学・学術)	0.81	0.81	-	令和4	同上	
生命理工学専攻	2	41	-	41	修士 (理学・工学・学術)	0.92	0.92	-	令和4	同上	
数物科学専攻	3	15	-	45	博士 (理学・学術)	0.57	0.26	-	平成16	同上	
物質化学専攻	3	14	-	42	博士 (理学・工学・学術)	0.44	0.70	-	平成26	同上	



機械科学専攻	3	25	-	75	博士 (工学・学術)	0.44	0.40	-	平成26	同上	
電子情報科学専攻	3	18	-	54	博士 (工学・学術)	0.42	0.16	-	平成16	同上	
環境デザイン学専攻	3	10	-	30	博士 (工学・学術)	0.83	0.20	-	平成26	同上	
自然システム学専攻	3	21	-	63	博士 (理学・工学・学術)	0.44	0.42	-	平成26	同上	
機械科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
電子情報科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
環境デザイン学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
自然システム学専攻	2	-	-	-	修士 (理学・工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
医薬保健学総合研究科											
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.93	0.73	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	
医学専攻	4	64	-	256	博士 (医学)	1.02	0.92	-	平成28	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学・学術)	0.81	1.25	-	平成24	石川県金沢市角間町	
創薬科学専攻	2	38	-	76	修士 (創薬科学)	0.99	1.15	-	平成24	同上	
創薬科学専攻	3	11	-	33	博士 (創薬科学・学術)	1.06	1.09	-	平成24	同上	
保健学専攻	2	70	-	140	修士 (保健学)	0.75	0.80	-	平成24	石川県金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	-	75	博士 (保健学)	0.81	0.60	-	平成24	同上	
脳医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	平成28年度学生募集停止
がん医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
循環医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
環境医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
先進予防医学研究科											
先進予防医学共同専攻	4	12	-	48	博士 (医学)	0.95	0.58	-	平成28	石川県金沢市宝町13-1	
新学術創成研究科											
融合科学共同専攻	2	14	-	28	修士 (融合科学)	1.03	0.85	-	平成30	石川県金沢市角間町	
融合科学共同専攻	3	14	-	28	博士 (融合科学・理学・工学)	0.18	0.28	-	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	2	6	-	18	修士 (ナノ科学)	1.66	1.16	-	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	3	6	-	18	博士 (ナノ科学)	1.44	1.16	-	令和2	同上	
法学研究科											
法学・政治学専攻	2	8	-	16	修士 (法学・政治学)	0.45	0.25	-	令和2	石川県金沢市角間町	令和2年度名称変更
法務専攻	3	15	-	45	法務博士 (専門職)	0.73	0.93	-	平成16	同上	
教職実践研究科											
教職実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.96	0.93	-	平成28	石川県金沢市角間町	

大学院全体	-	926	-	2,143	-	-	-	-	-	-
-------	---	-----	---	-------	---	---	---	---	---	---

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<自然科学研究科 機械科学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅川 直紀 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		CAD/CAM生産システムA CAD/CAM生産システムB 学位プログラム特論 課題研究
専	教授	石川 和宏 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		金属組織制御学A 金属組織制御学B 材料プロセス工学B 学位プログラム特論 課題研究
専	教授	門上 晃久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		工学とトポロジーA 工学とトポロジーB 学位プログラム特論 課題研究
専	教授	北山 哲士 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		構造解析と材料力学A 構造解析と材料力学B 工学系の最適設計法A 工学系の最適設計法B 学位プログラム特論 課題研究
専	教授	喜成 年泰 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術マネジメント基礎論A 技術マネジメント基礎論B 国際研究インターンシップ メカニズムの運動解析と設計A メカニズムの運動解析と設計B 学位プログラム特論 課題研究

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅川 直紀 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		CAD/CAM生産システムA CAD/CAM生産システムB 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>創成研究Ⅰ</b> <b>創成研究Ⅱ</b> <b>国際研究インターンシップ</b>
専	教授	石川 和宏 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		金属組織制御学A 金属組織制御学B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	門上 晃久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		工学とトポロジーA 工学とトポロジーB 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	北山 哲士 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		構造解析と材料力学A 構造解析と材料力学B 工学系の最適設計法A 工学系の最適設計法B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	喜成 年泰 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術マネジメント基礎論A 技術マネジメント基礎論B メカニズムの運動解析と設計A メカニズムの運動解析と設計B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	木綿 隆弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術経営論入門A 技術経営論入門B 実験流体力学A 実験流体力学B 機械科学特別講義Ⅲ 学位プログラム特論 課題研究
専	教授	児玉 昭雄 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		分離工学特論A 分離工学特論B 学位プログラム特論 課題研究 ラボローテーション
専	教授	下川 智嗣 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		分離工学特論A 分離工学特論B 学位プログラム特論 課題研究 ラボローテーション
専	教授	砂田 哲 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		機械学習A 機械学習B 学位プログラム特論 課題研究
専	教授	瀧 健太郎 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		プロセス工学特論A プロセス工学特論B 学位プログラム特論 課題研究
専	教授	多田 幸生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		エネルギー変換工学特論A エネルギー変換工学特論B 学位プログラム特論 課題研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	木綿 隆弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術経営論A 技術経営論B 実験流体力学A 実験流体力学B 機械科学特別講義Ⅲ 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
兼任	教授	児玉 昭雄 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		分離工学特論A 分離工学特論B 学位プログラム特論 課題研究 <b>異分野研究探査</b> <b>博士研究調査</b>
専	教授	下川 智嗣 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>材料力学と弾性論A</b> <b>材料力学と弾性論B</b> 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	砂田 哲 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		機械学習A 機械学習B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	瀧 健太郎 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		プロセス工学特論A プロセス工学特論B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	多田 幸生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		エネルギー変換工学特論A エネルギー変換工学特論B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	兵頭 政春 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		量子論A 量子論B 学位プログラム特論 課題研究
専	教授	古本 達明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		特殊加工学特論A 特殊加工学特論B 学位プログラム特論 課題研究
専	教授	渡邊 千尋 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		機械材料学A 機械材料学B 材料プロセス工学A 学位プログラム特論 課題研究
専	准教授	榎本 啓士 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		燃烧工学特論A 燃烧工学特論B 学位プログラム特論 課題研究
専	准教授	大坂 侑吾 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		熱エネルギープロセス解析A 熱エネルギープロセス解析B 学位プログラム特論 課題研究
専	准教授	河野 孝昭 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		計算流体力学A 計算流体力学B 学位プログラム特論 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	兵頭 政春 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		量子論A 量子論B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	古本 達明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		特殊加工学特論A 特殊加工学特論B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	渡邊 千尋 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		機械材料学A 機械材料学B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	榎本 啓士 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		燃烧工学特論A 燃烧工学特論B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	大坂 侑吾 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		熱エネルギープロセス解析A 熱エネルギープロセス解析B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	河野 孝昭 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		計算流体力学A 計算流体力学B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小松 信義 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		熱流体解析学A 熱流体解析学B 学位プログラム特論 課題研究
専	准教授	小谷野 智広 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電気加工学特論A 電気加工学特論B 学位プログラム特論 課題研究
専	准教授	辻口 拓也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		連成解析論A 連成解析論B 学位プログラム特論 課題研究
専	准教授	寺岡 喜和 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		熱移動工学特論A 熱移動工学特論B 学位プログラム特論 課題研究
専	准教授	新山 友暁 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		統計物理学特論A 統計物理学特論B 学位プログラム特論 課題研究
専	准教授	橋本 伊都子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		偏微分方程式とその応用A 偏微分方程式とその応用B 学位プログラム特論 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小松 信義 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		熱流体解析学A 熱流体解析学B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	小谷野 智広 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電気加工学特論A 電気加工学特論B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	辻口 拓也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		連成解析論A 連成解析論B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	寺岡 喜和 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		熱移動工学特論A 熱移動工学特論B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	新山 友暁 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		統計物理学特論A 統計物理学特論B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	橋本 伊都子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		偏微分方程式とその応用A 偏微分方程式とその応用B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	春木 将司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		熱・物質移動現象論A 熱・物質移動現象論B 機械科学特別講義Ⅱ 学位プログラム特論 課題研究
専	准教授	宮嶋 陽司 〈令和4年4月〉 Doctor of Philosophy(英国)
		金属材料の結晶学A 金属材料の結晶学B 学位プログラム特論 課題研究
専	准教授	守屋 創 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		統計力学A 統計力学B 学位プログラム特論 課題研究
専	准教授	和田出 秀光 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フーリエ解析の方法と応用A フーリエ解析の方法と応用B 学位プログラム特論 課題研究
専	講師	岩井 智昭 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		機械科学特別講義Ⅰ トライボロジー特論A トライボロジー特論B 学位プログラム特論 課題研究
専	助教	遠藤 優 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	春木 将司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		熱・物質移動現象論A 熱・物質移動現象論B 機械科学特別講義Ⅱ 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	宮嶋 陽司 〈令和4年4月〉 Doctor of Philosophy(英国)
		金属材料の結晶学A 金属材料の結晶学B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	守屋 創 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		統計力学A 統計力学B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	和田出 秀光 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フーリエ解析の方法と応用A フーリエ解析の方法と応用B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	講師	岩井 智昭 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		機械科学特別講義Ⅰ トライボロジー特論A トライボロジー特論B 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	助教	遠藤 優 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	大西 元 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究
専	助教	國峯 崇裕 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究
専	助教	古賀 紀光 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究
専	助教	高杉 敬吾 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究
専	助教	多田 薫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究
専	助教	立野 大地 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究
専	助教	橋本 洋平 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	大西 元 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	國峯 崇裕 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>材料プロセス工学A</b> <b>材料プロセス工学B</b> 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	古賀 紀光 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>材料プロセス工学A</b> <b>材料プロセス工学B</b> 学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	高杉 敬吾 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	助教	多田 薫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	助教	立野 大地 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	助教	橋本 洋平 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山口 貢 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究
専	助教	若子 倫菜 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究
兼任	教授	浅川 毅 〈令和4年4月〉 理学博士
		エネルギー・環境プログラム序 論
兼任	教授	秋田 純一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B 創成研究Ⅰ 創成研究Ⅱ テクノロジトレンド工学A テクノロジトレンド工学B
兼任	教授	阿部 聡 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		凝縮系物理学基礎a
兼任	教授	石島 達夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論B
兼任	教授	伊藤 正樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物科学基礎A 生物科学基礎B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山口 貢 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	<b>准教授</b>	若子 倫菜 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		学位プログラム特論 課題研究 <b>博士研究調査</b>
兼任	教授	秋田 純一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>イノベーション方法論A</b> <b>イノベーション方法論B</b> テクノロジトレンド工学A テクノロジトレンド工学B
兼任	教授	阿部 聡 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		凝縮系物理学基礎a
兼任	教授	石島 達夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論B
兼任	教授	伊藤 正樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物科学基礎A 生物科学基礎B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	海野 進 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	内田 博久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術インター ンシップ
兼任	教授	宇梶 裕 〈令和4年4月〉 理学博士
		物質創成化学 I
兼任	教授	宇梶 裕 〈令和4年4月〉 理学博士
		物質創成化学 I
兼任	教授	小田 竜樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ラボローテーション 数理・ナノ物質理工学概論 数理物質科学概論 計算ナノ科学 a 計算ナノ科学 b
兼任	教授	大塚 浩史 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理・データサイエンス論A 数理・データサイエンス論B
兼任	教授	垣内 康孝 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		研究者倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	海野 進 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	内田 博久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術インター ンシップ
兼任	教授	宇梶 裕 〈令和4年4月〉 理学博士
		物質創成化学 I
兼任	教授	小田 竜樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		異分野研究探査 数理・ナノ物質理工学概論 数理物質科学概論 計算ナノ科学 a 計算ナノ科学 b 連携科目
兼任	教授	垣内 康孝 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		研究者倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	笠原 禎也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		通信工学特論A
兼任	教授	神谷 隆宏 〈令和4年4月〉 理学博士
		フィールド実習A
兼任	教授	小松崎 俊彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		機械の動的モデリングA 機械の動的モデリングB
兼任	教授	斎藤 峯雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		計算理学概論a 計算理学概論b 連携科目
兼任	教授	佐藤 政行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		振動・波動物理学a
兼任	教授	菅沼 直樹 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		機械力学と制御B
兼任	教授	末松 大二郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		理論物理学基礎a

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	笠原 禎也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		通信工学特論A
兼任	教授	神谷 隆宏 〈令和4年4月〉 理学博士
		フィールド実習A
兼任	教授	小松崎 俊彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		機械の動的モデリングA 機械の動的モデリングB
兼任	教授	斎藤 峯雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
兼任	教授	佐藤 政行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		振動・波動物理学a
兼任	教授	菅沼 直樹 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		機械力学と制御B
兼任	教授	末松 大二郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	関 啓明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		機械力学と制御A インテリジェントロボットA
兼任	教授	高橋 憲司 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		バイオ工学基礎A バイオ工学基礎B
兼任	教授	竹内 裕 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		フィールド生物学
兼任	教授	谷口 健司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地球環境のデータ解析学
兼任	教授	程 肇 〈令和4年4月〉 農学博士
		ゲノム生命システム学
兼任	教授	徳田 規夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ナノ物質科学概論
兼任	教授	永谷 広久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		先端物質化学概論A 先端物質化学概論B ナノ化学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	関 啓明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		機械力学と制御A インテリジェントロボットA
兼任	教授	高橋 憲司 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		バイオ工学特論A バイオ工学特論B
兼任	教授	竹内 裕 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		フィールド生物学
兼任	教授	谷口 健司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地球環境のデータ解析学
兼任	教授	程 肇 〈令和4年4月〉 農学博士
		ゲノム生命システム学
兼任	教授	徳田 規夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ナノ物質科学概論
兼任	教授	永谷 広久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ナノ化学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	名古屋 創 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学a
兼任	教授	長谷川 卓 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境進化学A フィールド実習A
兼任	教授	長谷川 浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		総合日本語
兼任	教授	長谷部 徳子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	平松 良浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ラボローテーション 地球環境フィールド理工学概論 フィールド実習A
兼任	教授	福士 圭介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	本田 光典 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		応用物質化学概論A 応用物質化学概論B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長谷川 卓 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境進化学A フィールド実習A
兼任	教授	長谷川 浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		エネルギー・環境プログラム序 論 環境・エネルギー技術英語応用
兼任	教授	長谷部 徳子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	平松 良浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		異分野研究探査 地球環境フィールド理工学概論 フィールド実習A
兼任	教授	福士 圭介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	森下 知晃 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星科学基礎A 地球惑星科学基礎B フィールド実習A
兼任	教授	八木谷 聡 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ラボローテーション 衛星システム 衛星設計開発A 衛星設計開発B 電磁波工学特論A
兼任	教授	山岸 忠明 〈令和4年4月〉 工学博士
		マテリアルプログラム序論
兼任	教授	中山 晶一郎 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマート社会理工学概論A 超スマート社会理工学概論B
兼任	教授	山根 智 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		知能ソフトウェア理論A
兼任	教授	由比 政年 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		社会基盤工学概論
兼任	教授	渡邊 哲陽 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ラボローテーション

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	森下 知晃 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星科学基礎A 地球惑星科学基礎B フィールド実習A
兼任	教授	八木谷 聡 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>異分野研究探査</b> 電磁波工学特論A
兼任	教授	山岸 忠明 〈令和4年4月〉 工学博士
		マテリアルプログラム序論 <b>エネルギー・環境プログラム序論</b>
兼任	教授	中山 晶一郎 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマート社会理工学概論A 超スマート社会理工学概論B
兼任	教授	山根 智 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		知能ソフトウェア理論A <b>知識集約型社会とデータサイエンス</b>
兼任	教授	由比 政年 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		社会基盤工学概論
兼任	教授	渡邊 哲陽 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>異分野研究探査</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	中村 慎一 〈令和4年4月〉 博士(文学) 異分野研究探査
兼担	教授	米田 隆 〈令和4年4月〉 博士(医学) 次世代の先端科学技術 ヘルスケア・イノベーション
兼担	教授	小島 治幸 〈令和4年4月〉 博士(行動科学) 人間と社会の課題
兼担	教授	西山 宣昭 〈令和4年4月〉 工学博士 スマート創成科学
兼担	教授	松島 大輔 〈令和4年4月〉 博士(経営学) 破壊的イノベーションに向けた 技術経営論
兼担	教授	小原 功任 〈令和4年4月〉 博士(理学) 数理・データサイエンス論A 数理・データサイエンス論B
兼担	教授	本多 了 〈令和4年4月〉 博士(工学) 総合日本語

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論B
兼任	准教授	遠藤 徳孝 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	太田 明雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		環境・エネルギー技術英語応用
兼任	准教授	奥寺 浩樹 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		フィールド実習A
兼任	准教授	川江 健 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デバイスプロセス工学A
兼任	准教授	紺野 宏記 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	ジェンキンス ロバート 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論B 衛星設計開発A
兼任	准教授	遠藤 徳孝 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	太田 明雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		エネルギー・環境プログラム序論
兼任	准教授	奥寺 浩樹 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		フィールド実習A
兼任	准教授	川江 健 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デバイスプロセス工学A
兼任	准教授	紺野 宏記 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	ジェンキンス ロバート 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	隅田 育郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	辻 徳生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		実世界ロボティクス特論A
兼任	准教授	中村 健一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学b
兼任	准教授	中山 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		データマイニング論A データマイニング論B
兼任	准教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術海外研修
兼任	准教授	藤竹 正晴 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物・分子物理学a

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	隅田 育郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	辻 徳生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		実世界ロボティクス特論A
兼任	准教授	中山 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		データマイニング論A データマイニング論B
兼任	教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術海外研修
兼任	准教授	藤竹 正晴 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物・分子物理学a

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤本 龍一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		宇宙・プラズマ物理学a 宇宙物理学a 宇宙物理学b
兼任	准教授	松木 篤 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習 A
兼任	講師	池本 敏和 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市の地震防災 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤本 龍一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		宇宙・プラズマ物理学a 宇宙物理学a 宇宙物理学b
兼任	准教授	松木 篤 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習 A
兼任	准教授	POZAR NORBERT 〈令和4年4月〉 Ph. D(Mathematics)(米国)
		計算理学概論a 計算理学概論b
兼任	准教授	添田 貴宏 〈令和4年4月〉 博士(薬学)
		先端物質化学概論A 先端物質化学概論B
兼任	准教授	山口 孝浩 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		応用物質化学概論A 応用物質化学概論B エネルギー・環境プログラム序 論
兼任	准教授	臼井 洋一 〈令和4年3月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	講師	池本 敏和 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市の地震防災 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	濱田 麻希 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	助教	松浦 哲久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論A
兼任	助教	水上 知行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	講師	大谷 マーシャ 〈令和4年4月〉 BA in Psychology (米国)
		国際プレゼンテーション演習 環境・エネルギー技術英語基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	濱田 麻希 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	松浦 哲久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論A
兼任	助教	水上 知行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	講師	大谷 マーシャ 〈令和4年4月〉 BA in Psychology (米国)
		国際プレゼンテーション演習 環境・エネルギー技術英語基礎
兼任	助教	今村 悠里 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学a 数理科学b
兼任	助教	齋川 賢一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		理論物理学基礎a
兼任	助教	澤野 達哉 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		衛星システム 衛星設計開発B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	有元 誠 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		衛星システム 衛星設計開発B
兼任	助教	佐川 拓也 〈令和4年4月〉 博士(地球環境科学)
		フィールド実習A
兼任	助教	石野 咲子 〈令和3年12月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none"><li>・移動のため、専任教員の児玉昭雄を兼任教員に変更。</li><li>・昇任のため、専任教員の春木将司の職名を教授に変更。</li><li>・昇任のため、専任教員の國峯崇裕、古賀紀光、高杉敬吾、若子倫英の職名を准教授に変更。</li><li>・新規に設定された「博士研究調査」を専任教員の担当科目として追加。</li><li>・担当教員の見直しにより、専任教員の浅川直紀、石川和宏、下川智嗣、渡邊千尋、國峯崇裕、古賀紀光の担当授業科目を変更。</li><li>・授業科目名の変更により、専任教員の喜成年泰、木綿隆弘、児玉昭雄の担当授業科目を変更。</li><li>・兼任教員の浅川毅、宇梶裕、大塚浩史、齋藤峯雄、末松大二郎、名古屋創、本田光典、中村健一が就任辞退。</li><li>・担当教員の見直しにより、兼任教員の秋田純一、小田竜樹、永谷広久、長谷川浩、八木谷聡、山岸忠明、山根智、井町智彦、太田明雄の担当授業科目を変更。</li><li>・授業科目名の変更により、兼任教員の小田竜樹、高橋憲司、平松良浩、八木谷聡、渡邊哲陽の担当授業科目を変更。</li><li>・昇任のため、兼任教員の畑光彦の職名を教授に変更。</li><li>・昇任のため、兼任教員の松浦哲久の職名を准教授に変更。</li><li>・担当教員の見直しにより、兼任教員に中村慎一、米田隆、小島治幸、西山宣昭、松島大輔、小原功任、本多了、POZAR NORBERT、添田貴宏、山口孝浩、臼井洋一、今村悠里、齋川賢一、澤野達哉、有元誠、佐川拓也、石野咲子が就任。</li></ul>
---

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
11	8	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
14	13	1	11	39	0	14	17	1	6	38	0
(14)	(13)	(1)	(11)	(39)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
39	0	0				39	0	0			
39	(0)	(0)				39	(0)	(0)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
15	17	1	6	39	0	15	17	1	6	39	0
[ 1 ]	[ 4 ]	[ 0 ]	[ Δ5 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 4 ]	[ 0 ]	[ Δ5 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
39	0	0				39	0	0			
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日現在の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{39}{39} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{38} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
								選択	分離工学特論A	②
1	教授	児玉 昭雄	R4.4		選択	分離工学特論B	②	他専攻の専任教員となるため、兼任教員として引き続き授業等を担当する。(4)		
					選択	学位プログラム特論	②			
					選択	課題研究	②			
					選択	異分野研究探査	②			
					選択	博士研究調査	②			
					選択		②			
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	0	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	0	科目	計	6	科目

(注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
							該当なし			
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	0	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	0	科目	計	6	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{39} = 2.56\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul>
---

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>就任辞退した教員は引き続き兼担教員として本専攻の教育を担当しているため、学生に影響は生じない。また、学生にはシラバスやガイダンス等で周知している。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。



## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<自然科学研究科博士前期課程 機械科学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 教育方法改善委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和3年度は7回実施</p> <p>c 委員会の審議事項等 教育方法改善に係る所事項審議・決定</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FDシンポジウム</li> <li>・ 新任教員のための研修会</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対面とオンラインの併用で実施</li> <li>・ オンラインで実施</li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年5月7日（金）（15名）</li> <li>・ 令和4年3月23日（水）（103名）</li> </ul> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 新任教員研究会、FDシンポジウムでの共有で得られた授業方法、学生への教え方、オンライン授業やAI学習の有効利用、コロナウィルス感染拡大の学生への影響、今、学生の「学び」を質保証するために何を求められているかなどをフィードバックして継続的な授業改善を実施。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 実施（年4回、各クォーター終了後）</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 理工学域Webサイトに、学類ごとの集計結果を掲載（授業担当者はWebから担当科目のアンケート結果を参照し、授業改善に活用する。）</p>
---

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 設置の趣旨・目的に沿った教育研究体制を整備し、令和4年4月の開設が順調に行われた。 施設整備、教員配置、カリキュラム設計など、設置計画どおりに達成している。</p> <p>② 自己点検・評価報告書 学内規程に基づき、定期的に、部局の自己点検評価を実施することとしている。 ・令和4年度：全学的に基本データの分析による自己点検を行う予定。</p> <p>a 公表（予定）時期 ・基本データ分析による自己点検を令和4年末までに公表予定</p> <p>b 公表方法 ・大学Webサイト上に公開</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 ・令和3年度に、評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し、適合の認定を受けた。</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ]</p> <p>《aで「有」の場合》</p> <p>b 公表（予定）時期 [ <input checked="" type="radio"/> 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後2～3ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後3ヶ月以降 ]</p> <p>c 公表方法 [ <input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ <input type="radio"/> その他 ( ) ]</p> <p>《aで公表「無」の場合》</p> <p>d 公表しない理由 [ ]</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F117110105393

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前相談**

注2

金沢大学大学院 自然科学研究科 フロンティア工学専攻 (博士前期課程)

## 【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人金沢大学  
令和4年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	企画評価室
職名・氏名	専門職員 <small>コジマ</small> 小島 <small>ナオト</small> 直人
電話番号	076-264-5020
(夜間)	076-264-5020
e-mail	g1kikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

自然科学研究科博士前期課程

＜フロンティア工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	42
7. その他全般的事項	43

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人金沢大学

## (2) 大学名

金沢大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒920-1192  
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ワダ タカシ) 和田 隆志 (令和4年4月)		
研究科長	(イイヤマ コウイチ) 飯山 宏一 (令和4年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
自然科学研究科 フロンティア工学専攻 修士（工学） 修士（学術）	医学関係	2 年	83 人	年次 人	166 人	新規入学者を募集集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	83 ( - ) [ - ]	1.08倍	-
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	105 ( - ) [ 3 ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	97 ( - ) [ 2 ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	91 ( - ) [ 2 ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	90 ( - ) [ 2 ]		
入学定員超過率 B/A											1.08		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。



(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	90 [ 1 ] -	- [ - ] -	
2 年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3 年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [ - ] ( - )
4 年次	/						/		/		[ ] ( )
計			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )					[ ] ( )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	90人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{90} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。





修了要件及び履修方法
<p>(修了要件) 2年以上在学し、31単位(必修15単位、選択必修2単位、選択14単位)以上を修得した上で、修士論文審査及び最終試験に合格すること。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>(履修方法) フロンティア基盤科目とフロンティア先端科目を組み合わせた4つのプログラム(知能機械、人間機械共生、化学工学、スマート計測制御)のいずれかのプログラムを修了すること。なお、プログラム修了には、フロンティア基盤科目のうち、機械系科目、化学工学系科目、計測制御系科目からそれぞれ1単位以上を含む計6単位以上を修得し、各プログラムが指定するフロンティア先端科目から4単位以上を修得すること。</p> <p>&lt;サステナブル理工学プログラム&gt; ・当該プログラムは、自然科学研究科全専攻にまたがる分野横断教育として開講する。博士課程5年一貫型の副専攻であり、以下の(1)～(5)の分野から希望するいずれかのプログラムを履修することができる。 ・本プログラムの博士前期課程に相当する授業科目(上掲)を履修し、所定の審査を受けた後、博士後期課程相当の授業科目を履修し、プログラム修了に必要な最終審査を受ける。 ・プログラム共通科目には、大学院GS科目の「数理・データサイエンス論A」、「技術マネジメント基礎論A」及び「技術マネジメント基礎論B」を含む。 ・博士前期課程に相当する授業科目の修得要件は以下のとおり。</p> <p>(1)宇宙理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」、「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「衛星システム」、「衛星設計開発A」及び「衛星設計開発B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「宇宙・プラズマ物理学a」を含む。</p> <p>(2)環境・エネルギー理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「環境・エネルギー工学総論A」、「環境・エネルギー工学総論B」、「環境・エネルギー技術英語基礎」及び「総合日本語」(外国人留学生のみ)を含む7単位(外国人留学生は8単位)以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「環境・エネルギー工学総論A」及び「環境・エネルギー工学総論B」を含む。</p> <p>(3)数理・ナノ物質理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「数理・ナノ物質工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「凝縮系物理学基礎a」を含む。</p> <p>(4)超スマート社会理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「超スマート社会理工学概論A」及び「超スマート社会理工学概論B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目にはフロンティア先端科目の「実世界ロボティクス特論A」、「インテリジェントロボット」及び「メカニズムの運動解析と設計A」を含む。</p> <p>(5)生命・フィールド理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「フィールド生物学」、「地球環境フィールド理工学概論」及び「社会基盤工学概論」を含む7単位以上を修得すること。</p>

修了要件及び履修方法
<p>(修了要件) 2年以上在学し、32単位(ただし、研究取りまとめの方法として「博士研究調査」を選択した者は、34単位)以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文審査及び最終試験(又は大学院学則に規定する試験及び審査)に合格すること。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>(履修方法) フロンティア基盤科目とフロンティア先端科目を組み合わせた4つのプログラム(知能機械、人間機械共生、化学工学、スマート計測制御)のいずれかのプログラムを修了すること。なお、プログラム修了には、フロンティア基盤科目のうち、機械系科目、化学工学系科目、計測制御系科目からそれぞれ1単位以上を含む計6単位以上を修得し、各プログラムが指定するフロンティア先端科目から4単位以上を修得すること。</p> <p>&lt;サステナブル理工学プログラム&gt; ・当該プログラムは、自然科学研究科全専攻にまたがる分野横断教育として開講する。博士課程5年一貫型の副専攻であり、以下の(1)～(5)の分野から希望するいずれかのプログラムを履修することができる。 ・本プログラムの博士前期課程に相当する授業科目(上掲)を履修し、所定の審査を受けた後、博士後期課程相当の授業科目を履修し、プログラム修了に必要な最終審査を受ける。 ・プログラム共通科目には、大学院GS基盤科目の「数理・データサイエンス論A」、「技術マネジメント基礎論A」及び「技術マネジメント基礎論B」を含む。 ・博士前期課程に相当する授業科目の修得要件は以下のとおり。</p> <p>(1)宇宙理工学分野 プログラム共通科目から「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「衛星システム」、「衛星設計開発A」及び「衛星設計開発B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基盤科目の「宇宙・プラズマ物理学a」を含む。</p> <p>(2)環境・エネルギー理工学分野 プログラム共通科目から「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「環境・エネルギー工学総論A」、「環境・エネルギー工学総論B」、「環境・エネルギー技術英語基礎」及び「総合日本語」(外国人留学生のみ)を含む7単位(外国人留学生は8単位)以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基盤科目の「環境・エネルギー工学総論A」及び「環境・エネルギー工学総論B」を含む。</p> <p>(3)数理・ナノ物質理工学分野 プログラム共通科目から「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「数理・ナノ物質工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基盤科目の「凝縮系物理学基礎a」を含む。</p> <p>(4)超スマート社会理工学分野 プログラム共通科目から「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「超スマート社会理工学概論A」及び「超スマート社会理工学概論B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目にはフロンティア先端科目の「実世界ロボティクス特論A」、「インテリジェントロボット」及び「メカニズムの運動解析と設計A」を含む。</p> <p>(5)生命・フィールド理工学分野 プログラム共通科目から「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「フィールド生物学」、「地球環境フィールド理工学概論」及び「社会基盤工学概論」を含む7単位以上を修得すること。</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・全学的な大学院教育改革に伴い、研究科共通科目の区分名を「大学院GS科目」から「大学院GS基盤科目」に変更。
- ・全学的な大学院教育改革に伴い、6科目（「知識集約型社会とデータサイエンス」、「次世代の先端科学技術」、「スマート創成科学」、「人間と社会の課題」、「ヘルスケア・イノベーション」、「破壊的イノベーションに向けた技術経営論」）を新設し、担当教員数をそれぞれ「兼任1」に設定。
- ・全学的な大学院教育改革に伴い、授業科目名を「ベンチャービジネス論A、B」を「イノベーション方法論A、B」に、「技術経営論入門A、B」を「技術経営論A、B」、「技術マネジメント基礎論A、B」を「技術マネージメント基礎論A、B」に変更。
- ・全学的な大学院教育改革に伴い、サステナブル理工学プログラムの科目であった「ラボローテーション」の履修対象を専攻全員とするため、授業科目名を「異分野研究探査」、科目区分を大学院GS基盤科目に変更し、担当教員数を「専任1」及び「兼任5」に設定。
- ・全学的な大学院教育改革に伴う新規科目の追加、選択区分の変更等により、「技術経営（MOT）コースに関する科目」の区分を削除。
- ・授業内容をより明確にするため、授業科目名を「バイオ工学基礎A、B」から「バイオ工学特論A、B」に変更。
- ・開講時期の見直しにより、「連携科目」の開講学期を「1①・②」から「1②」に変更。
- ・専任教員の追加により、「計測システム工学A、B」及び「光工学A、B」の担当教員数を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教員の異動等により、「フロンティア課題研究」及び「フロンティア工学演習A、B、C、D」の担当教員数を「教授12」から「教授13」へ、「准教授9」から「准教授10」へ、及び「兼任7」から「兼任5」に変更。
- ・博士論文研究基礎力審査を希望する学生に対する研究指導を明確にするため、「博士研究調査」を新設し、担当教員数を専任教員「教授13」、「准教授10」、「講師1」、「助教10」及び「兼任5」に設定。
- ・「博士研究調査」の新設に伴い、「博士研究調査」または「フロンティア課題研究」の択一履修を可能とするため、後者の単位区分を「必修10」から「選択10」に変更。
- ・「応用人間工学特論A、B」を新設し、担当教員数を専任教員「准教授1」に設定。
- ・他科目との連携により学修効果の向上を図るため、「有限要素法A、B」の開講学期を「1③、1④」から「1①、1②」に変更。
- ・早期修了等に対応するため、「フロンティア工学演習A」の開講学期を「1①・②」から「1～2通」に変更。
- ・早期修了等に対応するため、「フロンティア工学演習B」の開講学期を「1③・④」から「1～2通」に変更。
- ・早期修了等に対応するため、「フロンティア工学演習C」の開講学期を「2①・②」から「1～2通」に変更。
- ・早期修了等に対応するため、「フロンティア工学演習D」の開講学期を「2③・④」から「1～2通」に変更。
- ・専門分野に沿った学生の科目選択を容易にするため、「フロンティア先端科目」の小区分として「知能機械」「人間機械共生」「化学工学」「スマート計測制御」の4プログラムを設定。
- ・担当教員の変更により、「衛星システム」及び「衛星設計開発B」の担当教員数を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・担当教員の変更により、「エネルギー・環境プログラム序論」の担当教員数を「兼任1」から「兼任4」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「数理・ナノ物質理工学概論」の開講学期を「1①・②」から「1①」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「テクノロジトレンド工学A」の開講学期を「1①」から「1③」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「テクノロジトレンド工学B」の開講学期を「1②」から「1④」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「フィールド生物学」の開講学期を「1③」から「1④」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「地球環境進化学A」の開講学期を「1①」から「1③」に変更。
- ・教員の異動等により、「フィールド実習A」の担当教員数を「兼任15」から「兼任17」に変更。
- ・全学的な大学院教育改革に伴う新規科目の追加、選択区分の変更及び博士研究基礎力調査の導入により、修了に必要な単位数を変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	94 科目	40 科目	140 科目	5 科目 [ Δ1 ]	105 科目 [ 11 ]	39 科目 [ Δ1 ]	149 科目 [ 9 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。



(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{140} = \boxed{\phantom{00}}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体					
	校舎敷地	730,408 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	730,408 m <sup>2</sup>						
	運動場用地	115,740 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	115,740 m <sup>2</sup>						
	小 計	846,148 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	846,148 m <sup>2</sup>						
	そ の 他	1,717,530 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	1,717,530 m <sup>2</sup>						
	合 計	2,563,678 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	2,563,678 m <sup>2</sup>						
(2) 校舎	専 用	284,135 m <sup>2</sup> <del>283,999 m<sup>2</sup></del> (284,135 m <sup>2</sup> ) <del>(283,999 m<sup>2</sup>)</del>	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	284,135 m <sup>2</sup> <del>283,999 m<sup>2</sup></del> (284,135 m <sup>2</sup> ) <del>(283,999 m<sup>2</sup>)</del>	大学全体 建物増築のため(4)					
	共 用										
(3) 教室等	講義室	162室	演習室	208室	実験実習室	1,180室	情報処理学習施設	11室	語学学習施設	8室	(補助職員 0人) (補助職員 0人)
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数					
		自然科学研究科 フロンティア工学専攻			32 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点				
	自然科学研究科 フロンティア工学専攻	1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	34,760 [12,152] <del>35,708 [13,079]</del>	10,888 [9,388] <del>10,744 [9,292]</del>	8,372 <del>8,336</del>	9,633 <del>8,986</del>	212	専攻単位で特定不能のため、大学全体の数量 購入・廃棄等のため(4)			
		1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	(34,760 [12,152]) <del>(35,708 [13,079])</del>	(10,888 [9,388]) <del>(10,744 [9,292])</del>	8,372 <del>8,336</del>	(9,633) <del>(8,986)</del>	(212)				
	計	1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	34,760 [12,152] <del>35,708 [13,079]</del>	10,888 [9,388] <del>10,744 [9,292]</del>	8,372 <del>8,336</del>	9,633 <del>8,986</del>	212				
		1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	(34,760 [12,152]) <del>(35,708 [13,079])</del>	(10,888 [9,388]) <del>(10,744 [9,292])</del>	8,372 <del>8,336</del>	(9,633) <del>(8,986)</del>	(212)				
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数						
	19,794m <sup>2</sup>		2,194 <del>2,185</del>		1,633,859 <del>1,640,536</del>		大学全体 椅子破損および書架 入れ替え等のため(4)				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	6,295m <sup>2</sup>		可動屋根付プール (1,193 m <sup>2</sup> )		弓 道 場 ( 162 m <sup>2</sup> )						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	—千円	—千円	図書購入費	—千円	—千円	—千円	国費による		
	共 同 研 究 費 等	—千円	—千円	設備購入費	—千円	—千円	—千円				
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次				
		—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		—									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	金沢大学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	令和3年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
融合学域						1.08	1.07				
先導学類	4	55		110	学士(学術)	1.06	1.03	-	令和3	石川県金沢市角間町	
観光デザイン学類	4	15		15	学士(学術)	1.20	1.20		令和4	同上	
人間社会学域						1.02	1.02				
人文学類	4	138	-	569	学士(文学)	1.02	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△4) 令和4年度入学定員変更(△3)
法学類	4	150	3年次10	670	学士(法学)	1.01	1.01	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△10) 令和4年度入学定員変更(△10)
経済学類	4	131	-	532	学士(経済学)	1.00	1.01	-	平成20	同上	入学定員変更(△4)
学校教育学類 共同教員養成課程	4	85	-	85	学士(教育学)	1.02	1.02	-	令和4	同上	
地域創造学類	4	88	-	356	学士(地域創造学)	1.03	1.01	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
国際学類	4	81	-	334	学士(国際学)	1.02	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和4年度入学定員変更(△2)
学校教育学類	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和4年度学生募集停止
理工学域						1.03	1.03				
数物科学類	4	82	3年次5	338	学士(理学)	1.01	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△2)
物質化学類	4	79	3年次4	324	学士(理学・工学)	1.04	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
機械工学類	4	97	3年次10	408	学士(工学)	1.02	1.04	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3)
フロンティア工学類	4	107	3年次5	438	学士(工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3)
電子情報通信学類	4	78	3年次7	326	学士(工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
地球社会基盤学類	4	98	3年次7	406	学士(理学・工学)	1.02	1.04	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
生命理工学類	4	58	3年次2	236	学士(理学・工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△1)
機械工学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
電子情報学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
環境デザイン学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
医薬保健学域						1.01	1.01				
医学類	6	112	2年次5	697	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	平成20	石川県金沢市宝町13-1	入学定員変更(12) ※臨時定員増継続
薬学類	6	65	-	270	学士(薬学)	1.04	1.00	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(30)
医薬科学類	4	18	-	36	学士(生命医科学・創薬科学)	1.05	1.05	-	令和3	同上	
保健学類						1.01	1.01				
看護学専攻	4	79	3年次10	338	学士(看護学)	1.00	1.00	-	平成20	石川県金沢市小立野5-11-80	令和3年度入学定員変更(△1)
診療放射線技術専攻	4	40	3年次5	170	学士(保健学)	1.01	1.02	-	平成20	同上	
検査技術科学専攻	4	40	3年次5	170	学士(保健学)	1.01	1.00	-	平成20	同上	

理学療法学専攻	4	15	3年次 5	80	学士 (保健学)	1.09	1.06	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△5) 令和3年度入学定員変更(△5) 令和3年度学生募集停止
作業療法学専攻	4	15	3年次 5	80	学士 (保健学)	1.05	1.06	-	平成20	同上	
創薬科学類	4	-	-	-	学士 (創薬科学)	-	-	-	平成20	石川県金沢市角間町	
大学全体	-	1,726	95	7,383	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	金沢大学大学院					学生募集停止学科数	11	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	3	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間社会環境研究科											
人文学専攻	2	23	-	46	修士 (文学・学術)	0.82	0.82	-	平成24	石川県金沢市角間町	
経済学専攻	2	6	-	12	修士 (経済学・学術)	1.50	1.50	-	平成24	同上	
地域創造学専攻	2	14	-	28	修士 (地域創造学・学術)	1.28	1.21	-	平成24	同上	
国際学専攻	2	10	-	20	修士 (国際学・学術)	0.55	0.40	-	平成24	同上	
人間社会環境学専攻	3	12	-	36	博士 (社会環境学・文学・学術)	1.08	0.91	-	平成18	同上	
法学・政治学専攻	2	-	-	-	修士 (法学・政治学)	-	-	-	平成24	同上	令和2年度学生募集停止
自然科学研究科											
数物科学専攻	2	56	-	112	修士 (理学・学術)	1.04	0.88	-	平成24	石川県金沢市角間町	
物質化学専攻	2	57	-	114	修士 (理学・工学・学術)	1.04	0.90	-	平成24	同上	
機械科学専攻	2	72	-	72	修士 (工学・学術)	0.90	0.90	-	令和4	同上	
フロンティア工学専攻	2	83	-	83	修士 (工学・学術)	1.08	1.08	-	令和4	同上	
電子情報通信学専攻	2	63	-	63	修士 (工学・学術)	1.03	1.03	-	令和4	同上	
地球社会基盤学専攻	2	69	-	69	修士 (理学・工学・学術)	0.81	0.81	-	令和4	同上	
生命理工学専攻	2	41	-	41	修士 (理学・工学・学術)	0.92	0.92	-	令和4	同上	
数物科学専攻	3	15	-	45	博士 (理学・学術)	0.57	0.26	-	平成16	同上	
物質化学専攻	3	14	-	42	博士 (理学・工学・学術)	0.44	0.70	-	平成26	同上	
機械科学専攻	3	25	-	75	博士 (工学・学術)	0.44	0.40	-	平成26	同上	
電子情報科学専攻	3	18	-	54	博士 (工学・学術)	0.42	0.16	-	平成16	同上	
環境デザイン学専攻	3	10	-	30	博士 (工学・学術)	0.83	0.20	-	平成26	同上	
自然システム学専攻	3	21	-	63	博士 (理学・工学・学術)	0.44	0.42	-	平成26	同上	
機械科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	令和4年度学生募集停止
電子情報科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
環境デザイン学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
自然システム学専攻	2	-	-	-	修士 (理学・工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
医薬保健学総合研究科											
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.93	0.73	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	
医学専攻	4	64	-	256	博士 (医学)	1.02	0.92	-	平成28	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学・学術)	0.81	1.25	-	平成24	石川県金沢市角間町	
創薬科学専攻	2	38	-	76	修士 (創薬科学)	0.99	1.15	-	平成24	同上	
創薬科学専攻	3	11	-	33	博士 (創薬科学・学術)	1.06	1.09	-	平成24	同上	

保健学専攻	2	70	-	140	修士 (保健学)	0.75	0.80	-	平成24	石川県金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	-	75	博士 (保健学)	0.81	0.60	-	平成24	同上	
脳医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
がん医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
循環医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
環境医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
医学系研究科											
がん医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成13	同上	平成24年度学生募集停止
環境医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成13	同上	平成24年度学生募集停止
先進予防医学研究科											
先進予防医学共同専攻	4	12	-	48	博士 (医学)	0.95	0.58	-	平成28	石川県金沢市宝町13-1	
新学術創成研究科											
融合科学共同専攻	2	14	-	28	修士 (融合科学)	1.03	0.85	-	平成30	石川県金沢市角間町	
融合科学共同専攻	3	14	-	28	博士 (融合科学)	0.18	0.28	-	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	2	6	-	18	修士 (ナノ科学)	1.66	1.16	-	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	3	6	-	18	博士 (ナノ科学)	1.44	1.16	-	令和2	同上	
法学研究科											
法学・政治学専攻	2	8	-	16	修士 (法学・政治学)	0.45	0.25	-	令和2	石川県金沢市角間町	令和2年度名称変更
法務専攻	3	15	-	45	法務博士 (専門職)	0.73	0.93	-	平成16	同上	
教職実践研究科											
教職実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.96	0.93	-	平成28	石川県金沢市角間町	
大学院全体	-	926	-	2,143	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<自然科学研究科 フロンティア工学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	関 啓明 <令和4年4月> 博士(工学)
		機械力学と制御A インテリジェントロボットA フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	教授	立矢 宏 <令和4年4月> 博士(工学)
		メカニズムの運動解析と設計A メカニズムの運動解析と設計B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	教授	得竹 浩 <令和4年4月> 博士(工学)
		航空宇宙システム特論A 航空宇宙システム特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	関 啓明 <令和4年4月> 博士(工学)
		機械力学と制御A インテリジェントロボットA フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	教授	立矢 宏 <令和4年4月> 博士(工学)
		メカニズムの運動解析と設計A メカニズムの運動解析と設計B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	教授	得竹 浩 <令和4年4月> 博士(工学)
		航空宇宙システム特論A 航空宇宙システム特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小松崎 俊彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		機械の動的モデリングA 機械の動的モデリングB フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	教授	田中 茂雄 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		生体力学基礎論 フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	教授	田中 志信 〈令和4年4月〉 工学博士
		医用生体工学概論A 医用生体工学概論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小松崎 俊彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		機械の動的モデリングA 機械の動的モデリングB フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>国際研究インターンシップ</b> <b>博士研究調査</b>
専	教授	田中 茂雄 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		生体力学基礎論 フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	教授	田中 志信 〈令和4年4月〉 工学博士
		医用生体工学概論A 医用生体工学概論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 哲陽 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		計測制御A 計測制御B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	教授	内田 博久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		プロセス工学特論A プロセス工学特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D 環境・エネルギー技術インターンシップ
専	教授	汲田 幹夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		熱輸送論A 熱輸送論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 哲陽 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		計測制御A 計測制御B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>異分野研究探査</b> <b>博士研究調査</b>
専	教授	内田 博久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		プロセス工学特論A プロセス工学特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D 環境・エネルギー技術インターンシップ <b>博士研究調査</b>
専	教授	汲田 幹夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		熱輸送論A 熱輸送論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	瀬戸 章文 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		国際研究インターンシップ エアロゾル科学A エアロゾル科学B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	教授	新田 晃平 〈令和4年4月〉 工学博士
		レオロジー要論A レオロジー要論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	教授	山本 茂 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ロバスト制御 フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	准教授	辻 徳生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		実世界ロボティクス特論A 実世界ロボティクス特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	瀬戸 章文 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		エアロゾル科学A エアロゾル科学B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	教授	新田 晃平 〈令和4年4月〉 工学博士
		レオロジー要論A レオロジー要論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	教授	山本 茂 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ロバスト制御 フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	准教授	辻 徳生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		実世界ロボティクス特論A 実世界ロボティクス特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	樋口 理宏 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		材料力学と弾性論A 材料力学と弾性論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	准教授	内藤 尚 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		生体運動制御A 生体運動制御B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	准教授	村越 道生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		生体機械工学特論A 生体機械工学特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	准教授	猪股 弥生 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		大気環境科学特論A 生体機械工学特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	樋口 理宏 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		材料力学と弾性論A 材料力学と弾性論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	准教授	内藤 尚 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		生体運動制御A 生体運動制御B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	准教授	村越 道生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		生体機械工学特論A 生体機械工学特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	准教授	猪股 弥生 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		大気環境科学特論A <b>大気環境科学特論B</b> フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川西 琢也 〈令和4年4月〉 工学博士
		拡散分離工学特論A 拡散分離工学特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	准教授	滝口 昇 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境生物化学工学A 環境生物化学工学B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	准教授	比江嶋 祐介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		物理化学特論A 物理化学特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	准教授	軸屋 一郎 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		制御工学特論A 制御工学特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川西 琢也 〈令和4年4月〉 工学博士
		拡散分離工学特論A 拡散分離工学特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	准教授	滝口 昇 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境生物化学工学A 環境生物化学工学B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	准教授	比江嶋 祐介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		物理化学特論A 物理化学特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	准教授	軸屋 一郎 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		制御工学特論A 制御工学特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	平野 晃宏 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		メディアプロセッサA メディアプロセッサB フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	助教	浅沼 春彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	助教	小塚 裕明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	助教	鈴木 陽介 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	助教	茅原 崇徳 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	平野 晃宏 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		メディアプロセッサA メディアプロセッサB フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	助教	浅沼 春彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	助教	小塚 裕明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	助教	鈴木 陽介 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	准教授	茅原 崇徳 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>応用人間工学特論A</b> <b>応用人間工学特論B</b> <b>博士研究調査</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	西川 裕一 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	助教	平光 立拓 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	助教	伊藤 麻絵 〈令和4年4月〉 博士(マテリアルサイエンス)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	助教	玄 大雄 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
専	助教	久保 守 〈令和4年4月〉 修士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	西川 裕一 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	助教	平光 立拓 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	助教	伊藤 麻絵 〈令和4年4月〉 博士(マテリアルサイエンス)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	助教	
専	助教	久保 守 〈令和4年4月〉 修士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	宮澤 佳甫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
兼任	教授	秋田 純一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B 創成研究Ⅰ 創成研究Ⅱ テクノロジトレンド工学A テクノロジトレンド工学B
兼任	教授	浅川 毅 〈令和4年4月〉 理学博士
		エネルギー・環境プログラム序論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	宮澤 佳甫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
専	助教	<b>西村 斉寛</b> 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>フロンティア課題研究</b> <b>フロンティア工学演習A</b> <b>フロンティア工学演習B</b> <b>フロンティア工学演習C</b> <b>フロンティア工学演習D</b> <b>博士研究調査</b>
専	助教	<b>大塚 光</b> 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>フロンティア課題研究</b> <b>フロンティア工学演習A</b> <b>フロンティア工学演習B</b> <b>フロンティア工学演習C</b> <b>フロンティア工学演習D</b> <b>博士研究調査</b>
兼任	教授	秋田 純一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>イノベーション方法論A</b> <b>イノベーション方法論B</b> テクノロジトレンド工学A テクノロジトレンド工学B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	阿部 聡 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		凝縮系物理学基礎a
兼担	教授	飯山 宏一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		計測システム工学A 計測システム工学B 光工学A 光工学B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
兼担	教授	石島 達夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論B
兼担	教授	伊藤 正樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物科学基礎A 生物科学基礎B
兼担	教授	宇梶 裕 〈令和4年4月〉 理学博士
		物質創成化学 I
兼担	教授	海野 進 〈令和4年4月〉 理学博士
		フィールド実習 A

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	阿部 聡 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		凝縮系物理学基礎a
専	教授	飯山 宏一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		計測システム工学A 計測システム工学B 光工学A 光工学B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
兼担	教授	石島 達夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論B
兼担	教授	伊藤 正樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物科学基礎A 生物科学基礎B
兼担	教授	宇梶 裕 〈令和4年4月〉 理学博士
		物質創成化学 I
兼担	教授	海野 進 〈令和4年4月〉 理学博士
		フィールド実習 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大塚 浩史 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理・データサイエンス論A 数理・データサイエンス論B
兼任	教授	小田 竜樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ラボローテーション 数理・ナノ物質理工学概論 数理物質科学概論 計算ナノ科学 a 計算ナノ科学 b
兼任	教授	垣内 康孝 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		研究者倫理
兼任	教授	笠原 禎也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		通信工学特論 A
兼任	教授	神谷 隆宏 〈令和4年4月〉 理学博士
		フィールド実習 A
兼任	教授	北山 哲士 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		構造解析と材料力学A 構造解析と材料力学B
兼任	教授	喜成 年泰 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術マネジメント基礎論A 技術マネジメント基礎論B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小田 竜樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		<b>異分野研究探査</b> 数理・ナノ物質理工学概論 数理物質科学概論 計算ナノ科学 a 計算ナノ科学 b <b>連携科目</b>
兼任	教授	垣内 康孝 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		研究者倫理
兼任	教授	笠原 禎也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		通信工学特論 A
兼任	教授	神谷 隆宏 〈令和4年4月〉 理学博士
		フィールド実習 A
兼任	教授	北山 哲士 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		構造解析と材料力学A 構造解析と材料力学B
兼任	教授	喜成 年泰 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術マネジメント基礎論A 技術マネジメント基礎論B



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木綿 隆弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		数理・データサイエンス論A 数理・データサイエンス論B
兼任	教授	児玉 昭雄 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ラボローテーション
兼任	教授	斎藤 峯雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ラボローテーション 計算理学概論a 計算理学概論b 連携科目
兼任	教授	坂本 二郎 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		バイオメカニクス特論A バイオメカニクス特論B 有限要素法A 有限要素法B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
兼任	教授	佐藤 政行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		振動・波動物理学a
兼任	教授	末松 大二郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		理論物理学基礎a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木綿 隆弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術経営論A 技術経営論B
兼任	教授	児玉 昭雄 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		異分野研究探査
兼任	教授	坂本 二郎 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		バイオメカニクス特論A バイオメカニクス特論B 有限要素法A 有限要素法B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D 博士研究調査
兼任	教授	佐藤 政行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		振動・波動物理学a

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	菅沼 直樹 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		機械力学と制御B インテリジェントロボットB フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
兼任	教授	高橋 憲司 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		バイオ工学基礎A バイオ工学基礎B
兼任	教授	高橋 康史 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		ナノ計測制御基礎論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
兼任	教授	竹内 裕 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		フィールド生物学
兼任	教授	谷口 健司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地球環境のデータ解析学
兼任	教授	程 肇 〈令和4年4月〉 農学博士
		ゲノム生命システム学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	菅沼 直樹 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		機械力学と制御B インテリジェントロボットB フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
兼任	教授	高橋 憲司 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		バイオ工学 <b>特論</b> A バイオ工学 <b>特論</b> B
兼任	教授	竹内 裕 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		フィールド生物学
兼任	教授	谷口 健司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地球環境のデータ解析学
兼任	教授	程 肇 〈令和4年4月〉 農学博士
		ゲノム生命システム学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	徳田 規夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ナノ物質科学概論
兼任	教授	永谷 広久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		先端物質化学概論A 先端物質化学概論B ナノ化学概論
兼任	教授	中山 晶一朗 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマート社会理工学概論A 超スマート社会理工学概論B
兼任	教授	名古屋 創 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学a
兼任	教授	長谷川 卓 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境進化学A フィールド実習A
兼任	教授	長谷川 浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		総合日本語
兼任	教授	長谷部 徳子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	徳田 規夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ナノ物質科学概論
兼任	教授	永谷 広久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ナノ化学概論
兼任	教授	中山 晶一朗 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマート社会理工学概論A 超スマート社会理工学概論B
兼任	教授	
兼任	教授	長谷川 卓 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境進化学A フィールド実習A
兼任	教授	<b>長谷川 浩</b> <b>〈令和4年4月〉</b> <b>博士(理学)</b>
		<b>環境・エネルギー技術英語応用</b> <b>エネルギー・環境プログラム序</b> <b>論</b>
兼任	教授	長谷部 徳子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	平松 良浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ラボローテーション 地球環境フィールド理工学概論 フィールド実習A
兼任	教授	福士 圭介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	福間 剛士 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ナノ計測制御基礎論A フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D
兼任	教授	本田 光典 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		応用物質化学概論A 応用物質化学概論B
兼任	教授	森下 知晃 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星科学基礎A 地球惑星科学基礎B フィールド実習A
兼任	教授	八木谷 聡 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ラボローテーション 衛星システム 衛星設計開発A 衛星設計開発B 電磁波工学特論A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	平松 良浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		<b>異分野研究探査</b> 地球環境フィールド理工学概論 フィールド実習A
兼任	教授	福士 圭介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	福間 剛士 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ナノ計測制御基礎論A <b>ナノ計測制御基礎論B</b> フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D <b>博士研究調査</b>
兼任	教授	
兼任	教授	森下 知晃 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星科学基礎A 地球惑星科学基礎B フィールド実習A
兼任	教授	八木谷 聡 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>異分野研究探査</b> 電磁波工学特論A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山岸 忠明 〈令和4年4月〉 工学博士
		マテリアルプログラム序論
兼任	教授	山根 智 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		知能ソフトウェア理論A
兼任	教授	由比 政年 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		社会基盤工学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山岸 忠明 〈令和4年4月〉 工学博士
		マテリアルプログラム序論 エネルギー・環境プログラム序論
兼任	教授	山根 智 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		知能ソフトウェア理論A 知識集約型社会とデータサイエンス
兼任	教授	由比 政年 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		社会基盤工学概論
兼任	教授	中村 慎一 〈令和4年4月〉 博士(文学)
		異分野研究探査
兼任	教授	米田 隆 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		次世代の先端科学技術 ヘルスケア・イノベーション
兼任	教授	小島 治幸 〈令和4年4月〉 博士(行動科学)
		人間と社会の課題
兼任	教授	西山 宣昭 〈令和4年4月〉 工学博士
		スマート創成科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論B
兼任	准教授	遠藤 徳孝 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	太田 明雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		環境・エネルギー技術英語応用

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松島 大輔 〈令和4年4月〉 博士(経営学)
		破壊的イノベーションに向けた 技術経営論
兼任	教授	小原 功任 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理・データサイエンス論A 数理・データサイエンス論B
兼任	教授	浅川 直紀 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		創成研究I 創成研究II
兼任	教授	本多 了 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		総合日本語
兼任	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論B 衛星設計開発A
兼任	准教授	遠藤 徳孝 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	太田 明雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		エネルギー・環境プログラム序 論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	奥寺 浩樹 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		フィールド実習A
兼任	准教授	川江 健 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デバイスプロセス工学A
兼任	准教授	小松 信義 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		熱流体解析学A 熱流体解析学B
兼任	准教授	紺野 宏記 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	ジェンキンズ ロバート 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	隅田 育郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	中村 健一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学b

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	奥寺 浩樹 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		フィールド実習A
兼任	准教授	川江 健 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デバイスプロセス工学A
兼任	准教授	小松 信義 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		熱流体解析学A 熱流体解析学B
兼任	准教授	紺野 宏記 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	ジェンキンズ ロバート 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	隅田 育郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	中山 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼担	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		データマイニング論A データマイニング論B
兼担	准教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術海外研修
兼担	准教授	藤竹 正晴 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物・分子物理学a
兼担	准教授	藤本 龍一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		宇宙・プラズマ物理学a 宇宙物理学a 宇宙物理学b
兼担	准教授	松木 篤 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼担	准教授	米陀 佳祐 〈令和4年4月〉 博士(情報科学)
		コンピュータビジョン特論A コンピュータビジョン特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	中山 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼担	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		データマイニング論A データマイニング論B
兼担	教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術海外研修
兼担	准教授	藤竹 正晴 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物・分子物理学a
兼担	准教授	藤本 龍一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		宇宙・プラズマ物理学a 宇宙物理学a 宇宙物理学b
兼担	准教授	松木 篤 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼担	准教授	米陀 佳祐 〈令和4年4月〉 博士(情報科学)
		コンピュータビジョン特論A コンピュータビジョン特論B フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D 博士研究調査



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池本 敏和 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市の地震防災 A
兼任	助教	佐川 拓也 〈令和4年4月〉 博士(地球環境科学)
		フィールド実習A
兼任	助教	濱田 麻希 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	POZAR NORBERT 〈令和4年4月〉 Ph. D(Mathematics)(米国)
		計算理学概論a 計算理学概論b
兼任	准教授	添田 貴宏 〈令和4年4月〉 博士(薬学)
		先端物質化学概論A 先端物質化学概論B
兼任	准教授	山口 孝浩 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		応用物質化学概論A 応用物質化学概論B エネルギー・環境プログラム序 論
兼任	准教授	臼井 洋一 〈令和4年3月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	講師	池本 敏和 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市の地震防災 A
兼任	助教	佐川 拓也 〈令和4年4月〉 博士(地球環境科学)
		フィールド実習A
兼任	助教	濱田 麻希 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	松浦 哲久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論A
兼任	助教	水上 知行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	助教	宮田 一輝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	松浦 哲久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論A
兼任	助教	水上 知行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	助教	宮田 一輝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		フロンティア課題研究 フロンティア工学演習A フロンティア工学演習B フロンティア工学演習C フロンティア工学演習D 博士研究調査
兼任	助教	今村 悠里 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学a 数理科学b
兼任	助教	齋川 賢一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		理論物理学基礎a
兼任	助教	澤野 達哉 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		衛星システム 衛星設計開発B
兼任	助教	有元 誠 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		衛星システム 衛星設計開発B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
<b>兼任</b>	講師	大谷 マーシャ ＜令和4年4月＞ BA in Psychology(米国) 国際プレゼンテーション演習 環境・エネルギー技術英語基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
<b>兼任</b>	<b>助教</b>	<b>石野 咲子</b> <b>＜令和3年12月＞</b> <b>博士(理学)</b> <b>フィールド実習A</b>
<b>兼任</b>	講師	大谷 マーシャ ＜令和4年4月＞ BA in Psychology(米国) 国際プレゼンテーション演習 環境・エネルギー技術英語基礎

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none"><li>昇任のため、専任教員の茅原崇徳の職名を准教授に変更。</li><li>兼任教員の飯山宏一が専任教員に就任。</li><li>専任教員の玄大雄が就任辞退。</li><li>専任教員に西村齊寛、大塚光が就任。</li><li>新規に設定された「博士研究調査」を専任教員及び兼任教員の菅沼直樹、坂本二郎、福間剛士、米陀佳祐、宮田一輝の担当科目として追加。</li><li>担当教員の見直しにより、専任教員の小松崎俊彦、渡邊哲陽、瀬戸章文、猪股弥生、茅原崇徳の授業担当科目を変更。</li><li>担当教員の見直しにより、兼任教員の浅川毅、大塚浩史、齋藤峰雄、末松大二郎、高橋康史、名古屋創、本田光典、中村健一が就任辞退。</li><li>担当教員の見直しにより、兼任教員の秋田純一、小田竜樹、永谷広久、長谷川浩、福間剛士、八木谷聡、山岸忠明、山根智、井町智彦、太田明雄の担当授業科目を変更。</li><li>授業科目名の変更により、兼任教員の秋田純一、小田竜樹、喜成年泰、木綿隆弘、児玉昭雄、高橋憲司、平松良浩、八木谷聡の担当授業科目を変更。</li><li>昇任のため、兼任教員の畑光彦の職名を教授に変更。</li><li>昇任のため、兼任教員の松浦哲久の職名を准教授に変更。</li><li>担当教員の見直しにより、兼任教員に中村慎一、米田隆、小島治幸、西山宣昭、松島大輔、小原功任、本多す、POZAR NORBERT、添田貴宏、山口孝浩、臼井洋一、今村悠里、齋川賢一、澤野達哉、有元誠、石野咲子が就任。</li></ul>
---

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
12	8	12
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
12	9	1	10	32	0	14	9	1	10	34	0
(12)	(9)	(1)	(10)	(32)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
37	0	0				39	0	0			
(37)	(0)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
14	9	1	10	34	0	14	9	1	10	34	0
[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
39	0	0				39	0	0			
[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]				[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日現在の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{34}{32} = \boxed{106.25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{34} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
								①	②	③			
1	助教	玄 大雄	R4.3	選択	フロンティア課題研究	①	R4.3.31付け退職（他機関へ異動）のため辞任（4）						
				必修	フロンティア工学演習A	①							
				必修	フロンティア工学演習B	①							
				必修	フロンティア工学演習C	①							
				必修	フロンティア工学演習D	①							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
								①	②	③			
							該当なし						
合計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）							
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{1}{32} = 3.12\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生に対して、シラバス等で周知を行った。専攻全体で専任教員は増えているほか、当該教員が担当する予定の担当授業科目については、他の専任教員が担当するため、学生に大きな影響はない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。



## 7 その他全般的事項

<自然科学研究科博士前期課程 フロンティア工学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 教育方法改善委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和3年度は7回実施</p> <p>c 委員会の審議事項等 教育方法改善に係る所事項審議・決定</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FDシンポジウム</li> <li>・ 新任教員のための研修会</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対面とオンラインの併用で実施</li> <li>・ オンラインで実施</li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年5月7日（金）（15名※確認ができた人数）</li> <li>・ 令和4年3月23日（水）（103名）</li> </ul> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 新任教員研究会、FDシンポジウムでの共有で得られた授業方法、学生への教え方、オンライン授業やAI学習の有効利用、コロナウィルス感染拡大の学生への影響、今、学生の「字ひ」を質保証するために何を求められているかなどをフィードバックして継続的な授業改善を実施。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 実施（年4回、各クォーター終了後）</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 理工学域Webサイトに、学類ごとの集計結果を掲載（授業担当者はWebから担当科目のアンケート結果を参照し、授業改善に活用する。）</p>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付して、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 設置の趣旨・目的に沿った教育研究体制を整備し、令和4年4月の開設が順調に行われた。 施設整備、教員配置、カリキュラム設計など、設置計画どおりに達成している。</p> <p>② 自己点検・評価報告書 学内規程に基づき、定期的に、部局の自己点検評価を実施することとしている。 ・令和4年度：全学的な基本データの分析による自己点検を行う予定。</p> <p>a 公表（予定）時期 ・基本データ分析による自己点検を令和4年末までに公表予定</p> <p>b 公表方法 ・大学Webサイト上に公開</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 ・令和3年度に、評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し、適合の認定を受けた。</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ]</p> <p>《aで「有」の場合》</p> <p>b 公表（予定）時期 [ <input checked="" type="radio"/> 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後2～3ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後3ヶ月以降 ]</p> <p>c 公表方法 [ <input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ <input type="radio"/> その他 ( ) ]</p> <p>《aで公表「無」の場合》</p> <p>d 公表しない理由 [ ]</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F117110105393

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前相談**

注2

金沢大学大学院 自然科学研究科 電子情報通信学専攻 (博士前期課程)

## 【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人金沢大学  
令和4年5月1日現在

作成担当者			
担当部局(課)名	企画評価室		
職名・氏名	専門職員	コジマ 小島	ナオト 直人
電話番号	076-264-5020		
(夜間)	076-264-5020		
e-mail	gkikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp		

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 自然科学研究科博士前期課程

＜電子情報通信学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	37

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人金沢大学

## (2) 大学名

金沢大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒920-1192  
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ワダ タカシ) 和田 隆志 (令和4年4月)		
研究科長	(イイヤマ コウイチ) 飯山 宏一 (令和4年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
自然科学研究科 電子情報通信学専攻 修士(工学) 修士(学術)	工学関係	2 年	63 人	年次 人	126 人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	63 ( - ) [ - ]	1.03倍	-
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	80 ( - ) [ 13 ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	76 ( - ) [ 11 ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	70 ( - ) [ 8 ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	65 ( - ) [ 8 ]		
入学定員超過率 B/A											1.03		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	65 [ 8 ] -	- [ - ] -	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [ - ] ( - )
4年次	/						/		/		[ ] ( )
計			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )					[ ] ( )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。



(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	65人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{65} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<自然科学研究科博士前期課程 電子情報通信学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼担	
			必修	選択	自修	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院GS科目 研究科共通科目	研究者倫理	1①	1									1
	技術経営論入門A	1①	1									1
	技術経営論入門B	1②	1									1
	技術マネジメント基礎論A	1①	1									1
	技術マネジメント基礎論B	1②	1									1
	ベンチャービジネス論A	1①	1		1							
	ベンチャービジネス論B	1②	1		1							
	教理・データサイエンス論A	1③	1									1
	教理・データサイエンス論B	1④	1									1
	教理科学a	1①	1									1
	教理科学b	1②	1									1
	理論物理学基礎a	1①	1									1
	生物・分子物理学a	1①	1									1
	凝縮系物理学基礎a	1①	1									1
	宇宙・プラズマ物理学a	1①	1									1
	振動・波動物理学a	1①	1									1
	計算理学概論a	1①	1									1
	計算理学概論b	1②	1									1
	先端物質化学概論A	1③	1									1
	先端物質化学概論B	1④	1									1
	応用物質化学概論A	1③	1									1
	応用物質化学概論B	1④	1									1
	生物科学基礎A	1①	1									1
	生物科学基礎B	1②	1									1
	バイオ工学基礎A	1①	1									1
	バイオ工学基礎B	1②	1									1
	地球惑星科学基礎A	1①	1									1
	地球惑星科学基礎B	1②	1									1
	環境・エネルギー工学総論A	1③	1									1
	環境・エネルギー工学総論B	1④	1									1
小計 (30科目)	-	-	1	29	0	2	0	0	0	0	0	18
術北の大陸連学先端院院端科大科目学学と技	連携科目	1①・②	2									1
小計 (1科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
究創科成目研	創成研究 I	1①・②	2	1								1
創成研究 II	1③・④	2	1									1
小計 (2科目)	-	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	
流国科際目交	国際プレゼンテーション演習	1①・②	2									1
国際研究インターナショナルシップ	1通	2		1								
小計 (2科目)	-	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1
基礎科目	離散力学系入門A	1①	1									
	離散力学系入門B	1②	1			1						
	非線形波動概論A	1①	1		1							
	非線形波動概論B	1②	1		1							
	トポロジー概論A	1①	1			1						
	トポロジー概論B	1②	1			1						
	適応信号処理A	1③	1				1					
	適応信号処理B	1④	1				1					
	暗号の教理A	1①	1		1							
	暗号の教理B	1②	1		1							
	SoC設計基礎論A	1①	1			1						
	SoC設計基礎論B	1②	1			1						
	通信工学特論A	1①	1		1							
	通信工学特論B	1②	1		1							
	固体物性評価基礎論	1①・②	2		1							
	次世代電気エネルギー変換概論A	1①	1		2							
	次世代電気エネルギー変換概論B	1②	1		1	1						
	科学技術英語特論A	1③	1			1						
	科学技術英語特論B	1④	1			1						
	企業体験実習	1通	2			1						
	小計 (20科目)	-	0	22	0	8	5	1	0	0	0	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼担	
			必修	選択	自修	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院GS基礎科目 研究科共通科目	異分野研究探索	1①	1									1
	研究者倫理	1①	1									1
	知識集約型社会とデータサイエンス	1②	1		1							1
	次世代の先端科学技術	1③	1		1							1
	スマート創成科学	1④	1		1							1
	人間と社会の課題	1⑤	1		1							1
	技術経営論A	1①	1									1
	技術経営論B	1②	1									1
	ヘルスケア・イノベーション	1③	1		1							1
	破壊的イノベーションに向けた技術経営論	1④	1		1							1
	技術マネジメント基礎論A	1①	1									1
	技術マネジメント基礎論B	1②	1									1
	イノベーション方法論A	1①	1		1							1
	イノベーション方法論B	1②	1		1							1
	教理・データサイエンス論A	1③	1									1
	教理・データサイエンス論B	1④	1									1
	教理科学a	1①	1									1
	教理科学b	1②	1									1
	理論物理学基礎a	1①	1									1
	生物・分子物理学a	1①	1									1
	凝縮系物理学基礎a	1①	1									1
	宇宙・プラズマ物理学a	1①	1									1
	振動・波動物理学a	1①	1									1
	計算理学概論a	1①	1									1
	計算理学概論b	1②	1									1
	先端物質化学概論A	1③	1									1
	先端物質化学概論B	1④	1									1
	応用物質化学概論A	1③	1									1
	応用物質化学概論B	1④	1									1
	生物科学基礎A	1①	1									1
	生物科学基礎B	1②	1									1
	バイオ工学特論A	1①	1									1
	バイオ工学特論B	1②	1									1
	地球惑星科学基礎A	1①	1									1
	地球惑星科学基礎B	1②	1									1
	環境・エネルギー工学総論A	1③	1									1
	環境・エネルギー工学総論B	1④	1									1
小計 (37科目)	-	1	36	0	4	0	0	0	0	0	0	27
術北の大陸連学先端院院端科大科目学学と技	連携科目	1②	2									1
小計 (1科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
究創科成目研	創成研究 I	1①・②	2									1
創成研究 II	1③・④	2										1
小計 (2科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
流国科際目交	国際プレゼンテーション演習	1①・②	2									1
国際研究インターナショナルシップ	1通	2		1								
小計 (2科目)	-	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1
基礎科目	離散力学系入門A	1①	1									
	離散力学系入門B	1②	1									
	非線形波動概論A	1①	1		1							
	非線形波動概論B	1②	1		1							
	トポロジー概論A	1①	1			1						
	トポロジー概論B	1②	1			1						
	適応信号処理A	1③	1				1					
	適応信号処理B	1④	1				1					
	暗号の教理A	1①	1		1							
	暗号の教理B	1②	1		1							
	SoC設計基礎論A	1①	1			1						
	SoC設計基礎論B	1②	1			1						
	通信工学特論A	1①	1		1							
	通信工学特論B	1②	1		1							
	固体物性評価基礎論	1②	1		1							
	次世代電気エネルギー変換概論A	1①	1		2							
	次世代電気エネルギー変換概論B	1②	1		1	1						
	宇宙機力学入門A	1③	1									1
	宇宙機力学入門B	1④	1									1
自然環境計測データ工学A	1①	1									1	
自然環境計測データ工学B	1②	1									1	
科学技術英語特論A	1③	1			1							
科学技術英語特論B	1④	1			1							
企業体験実習	1通	2			1							
小計 (24科目)	-	0	26	0	8	7	1	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任 ・ 兼担		
			必修	選択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 員		助 手	
電子システム	デバイスプロセス工学A	1①		1		1						
	デバイスプロセス工学B	1②		1		1						
	表面・界面工学A	1③		1	1							
	表面・界面工学B	1④		1	1							
	応用プラズマ工学A	1③		1	1							
	応用プラズマ工学B	1④		1	1							
	プラズマ流体解析入門A	1①		1	1							
	プラズマ流体解析入門B	1②		1	1							
	宇宙機力学入門A	1③		1	1	1						
	宇宙機力学入門B	1④		1	1	1						
	小計 (10科目)			0	10	0	3	3	0	0	0	
	情報システム	テクノロジトレンド工学A	1①		1	1						
		テクノロジトレンド工学B	1②		1	1						
		ミクスティングナリLSI工学A	1①		1	1						
ミクスティングナリLSI工学B		1②		1	1							
映像情報処理学A		1③		1	1							
映像情報処理学B		1④		1	1							
情報セキュリティ特論		1①・②		2	1							
圏論と関数型プログラミングA		1③		1	1						1	
圏論と関数型プログラミングB		1④		1	1						1	
小計 (9科目)				0	10	0	3	2	0	0	0	
通信システム	電磁波工学特論A	1③		1	1							
	電磁波工学特論B	1④		1	1							
	電磁波計測工学特論	1①・②		2	1							
	光波工学A	1①		1	1							
	光波工学B	1②		1	1							
	量子電子工学A	1③		1	1							
	量子電子工学B	1④		1	1							
	情報ネットワーク特論A	1③		1	1							
	情報ネットワーク特論B	1④		1	1							
小計 (9科目)			0	10	0	2	4	0	0	0		
応用科目	解析特論A	1①		1	1							
	解析特論B	1②		1	1							
	データマイニング論A	1①		1	1							
	データマイニング論B	1②		1	1							
	並列計算理論A	1①		1	1							
	並列計算理論B	1②		1	1							
	知能ソフトウェア理論A	1③		1	1							
	知能ソフトウェア理論B	1④		1	1							
小計 (8科目)			0	8	0	2	2	0	0	0		
演習科目	ゼミナール・演習	1~2通		4		15	16	1	3			
	課題研究	1~2通		10		15	16	1	3			
	小計 (2科目)			14		0	15	16	1	3	0	
通ラポ 科目目共 小計 (1科目)	1③			1	1					4		
サステナブル理工学専攻 科目目共 小計 (5科目)			0	0	6	1	0	0	0	1		
理工学専攻 理工学専攻 小計 (6科目)	環境・エネルギー技術英語基礎	1①		1	1					1		
	総合日本語	1③		1	1					1		
	環境・エネルギー技術海外研修	1①・②		2	1					1		
	環境・エネルギー技術インターンシップ	1①・②		2	1					1		
	環境・エネルギー技術英語応用	2③		1	1					1		
	エネルギー・環境プログラム序論	1①		1	1					1		
	小計 (6科目)			0	0	8	0	0	0	0	6	
	数理・ナノ物質理工学専攻 数理・ナノ物質理工学専攻 小計 (8科目)	数理・ナノ物質理工学概論	1①・②		2						1	
		数理物質科学概論	1②		1						1	
		ナノ化学概論	1②		1	1					1	
		ナノ物質科学概論	1②		1	1					1	
		計算ナノ科学 a	1③		1	1					1	
		計算ナノ科学 b	1④		1	1					1	
物質創成化学 I		1②		1	1					1		
マテリアルプログラム序論		1②		1	1					1		
小計 (8科目)				0	0	9	0	0	0	0	4	
超スマート社会理工学専攻 超スマート社会理工学専攻 小計 (5科目)	超スマート社会理工学概論A	1①		1						1		
	超スマート社会理工学概論B	1②		1						1		
	メカニズムの運動解析と設計A	1③		1						1		
	実世界ロボティクス特論A	1①		1						1		
	インテリジェントロボットA	1③		1						1		
	小計 (5科目)			0	0	5	0	0	0	0	4	
	フィールド生物学 フィールド生物学 小計 (9科目)	フィールド生物学	1③		1						1	
		地球環境フィールド理工学概論	1③		1						1	
		社会基盤工学概論	1②		1						1	
		ゲノム生命システム学	1②		1						1	
		生命構造機能システム学A	1①		1						2	
		地球環境進化化学A	1①		1						1	
		フィールド実習A	1②		1						15	
		都市の地震防災A	1③		1						1	
地球環境のデータ解析学		1④		1						1		
小計 (9科目)				0	0	9	0	0	0	0	22	
合計 (127科目)			15	99	38	15	16	1	3	0	53	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任 ・ 兼担		
			必修	選択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 員		助 手	
電子システム	デバイスプロセス工学A	1①		1		1						
	デバイスプロセス工学B	1②		1		1						
	表面・界面工学A	1③		1	1							
	表面・界面工学B	1④		1	1							
	応用プラズマ工学A	1③		1	1							
	応用プラズマ工学B	1④		1	1							
	プラズマ流体解析入門A	1①		1	1							
	プラズマ流体解析入門B	1②		1	1							
	小計 (8科目)			0	8	0	3	2	0	0	0	
	情報システム	テクノロジトレンド工学A	1③		1	1						
テクノロジトレンド工学B		1④		1	1							
ミクスティングナリLSI工学A		1①		1	1							
ミクスティングナリLSI工学B		1②		1	1							
映像情報処理学A		1③		1	1							
映像情報処理学B		1④		1	1							
情報セキュリティ特論		1①		2	1							
圏論と関数型プログラミングA		1③		1	1						1	
圏論と関数型プログラミングB		1④		1	1						1	
小計 (9科目)				0	10	0	3	1	0	0	0	
通信システム	電磁波工学特論A	1③		1	1							
	電磁波工学特論B	1④		1	1					1		
	電磁波計測工学特論	1①		2	1							
	光波工学A	1①		1	1							
	光波工学B	1②		1	1							
	量子電子工学A	1③		1	1							
	量子電子工学B	1④		1	1							
	情報ネットワーク特論A	1③		1	1							
	情報ネットワーク特論B	1④		1	1							
小計 (9科目)			0	10	0	1	5	0	0	0		
応用科目	解析特論A	1①		1	1							
	解析特論B	1②		1	1							
	データマイニング論A	1①		1	1							
	データマイニング論B	1②		1	1							
	並列計算理論A	1①		1	1							
	並列計算理論B	1②		1	1							
	知能ソフトウェア理論A	1③		1	1							
	知能ソフトウェア理論B	1④		1	1							
小計 (8科目)			0	8	0	2	2	0	0	0		
演習科目	ゼミナール・演習	1~2通		4		15	16	1	3			
	課題研究	1~2通		10		15	16	1	3			
	小計 (2科目)			14		0	15	16	1	3	0	
通ラポ 科目目共 小計 (1科目)	1③			1	1					4		
サステナブル理工学専攻 科目目共 小計 (5科目)			0	0	6	1	0	0	0	1		
理工学専攻 理工学専攻 小計 (6科目)	環境・エネルギー技術英語基礎	1①		1	1					1		
	総合日本語	1③		1	1					1		
	環境・エネルギー技術海外研修	1①・②		2	1					1		
	環境・エネルギー技術インターンシップ	1①・②		2	1					1		
	環境・エネルギー技術英語応用	2③		1	1					1		
	エネルギー・環境プログラム序論	1①		1	1					1		
	小計 (6科目)			0	0	8	0	0	0	0	6	
	数理・ナノ物質理工学専攻 数理・ナノ物質理工学専攻 小計 (8科目)	数理・ナノ物質理工学概論	1①		2						1	
		数理物質科学概論	1②		1						1	
		ナノ化学概論	1②		1	1					1	
		ナノ物質科学概論	1②		1	1					1	
		計算ナノ科学 a	1③		1	1					1	
		計算ナノ科学 b	1④		1	1					1	
物質創成化学 I		1②		1	1					1		
マテリアルプログラム序論		1②		1	1					1		
小計 (8科目)				0	0	9	1	0	0	0	4	
超スマート社会理工学専攻 超スマート社会理工学専攻 小計 (5科目)	超スマート社会理工学概論A (未開講)	1①		1						1		
	超スマート社会理工学概論B (未開講)	1②		1						1		
	メカニズムの運動解析と設計A	1③		1						1		
	実世界ロボティクス特論A	1①		1						1		
	インテリジェントロボットA	1③		1						1		
	小計 (5科目)			0	0	5	0	0	0	0	4	
	フィールド生物学 フィールド生物学 小計 (9科目)	フィールド生物学	1③		1						1	
		地球環境フィールド理工学概論	1③		1						1	
		社会基盤工学概論	1②		1						1	
		ゲノム生命システム学										

修了要件及び履修方法
<p>(修了要件) 2年以上在学し、31単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>(履修方法) 次の科目を含み31単位以上を修得すること。 ①研究科共通科目 1単位必修 2単位選択必修 ②基礎科目 2単位以上選択 ③ゼミナール・演習、課題研究 14単位必修</p> <p>&lt;サステナブル理工学プログラム&gt; ・当該プログラムは、自然科学研究科全専攻にまたがる分野横断教育として開講する。博士課程5年一貫型の副専攻であり、以下の(1)～(5)の分野から希望するいずれか1つのプログラムを履修することができる。 ・本プログラムの博士前期課程に相当する授業科目(上掲)を履修し、所定の審査を受けた後、博士後期課程相当の授業科目を履修し、プログラム修了に必要な最終審査を受ける。 ・プログラム共通科目には、大学院GS科目の「数理・データサイエンス論A」、「技術マネジメント基礎論A」及び「技術マネジメント基礎論B」を含む。 ・博士前期課程に相当する授業科目の修得要件は以下のとおり。 (1)宇宙理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「衛星システム」、「衛星設計開発A」及び「衛星設計開発B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「宇宙・プラズマ物理学」、基礎科目の「通信工学特論A」、応用科目「通信システム」の「電磁波工学特論A」及び「電磁波工学特論B」を含む。 (2)環境・エネルギー理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「環境・エネルギー工学総論A」、「環境・エネルギー工学総論B」、「環境・エネルギー技術英語基礎」及び「総合日本語」(外国人留学生のみ)を含む7単位(外国人留学生は8単位)以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「環境・エネルギー工学総論A」及び「環境・エネルギー工学総論B」を含む。 (3)数理・ナノ物質理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「数理・ナノ物質理工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「凝縮系物理学基礎a」及び応用科目「電子システム」の「デバイスプロセス工学A」を含む。 (4)超スマート社会理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「超スマート社会理工学概論A」及び「超スマート社会理工学概論B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には応用科目「情報システム」の「テクノロジトレンド工学A」及び「テクノロジトレンド工学B」、応用科目「知能システム」の「データマイニング論A」、「データマイニング論B」及び「知能ソフトウェア理論A」を含む。 (5)生命・フィールド理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「フィールド生物学」、「地球環境フィールド理工学概論」及び「社会基盤工学概論」を含む7単位以上を修得すること。</p>

修了要件及び履修方法
<p>(修了要件) 2年以上在学し、32単位(ただし、研究取りまとめの方法として「博士研究調査」を選択した者は、34単位)以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験(又は大学院学院に規定する試験及び審査)に合格すること。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>(履修方法) 次の科目を含み32単位(ただし、研究取りまとめの方法として「博士研究調査」を選択した者は、34単位)以上を修得すること。 ①研究科共通科目 1単位必修 3単位選択必修 ②基礎科目 2単位以上選択 ③ゼミナール・演習、課題研究又は博士研究調査 14単位必修</p> <p>&lt;サステナブル理工学プログラム&gt; ・当該プログラムは、自然科学研究科全専攻にまたがる分野横断教育として開講する。博士課程5年一貫型の副専攻であり、以下の(1)～(5)の分野から希望するいずれか1つのプログラムを履修することができる。 ・本プログラムの博士前期課程に相当する授業科目(上掲)を履修し、所定の審査を受けた後、博士後期課程相当の授業科目を履修し、プログラム修了に必要な最終審査を受ける。 ・プログラム共通科目には、大学院GS基礎科目の「数理・データサイエンス論A」、「技術マネジメント基礎論A」及び「技術マネジメント基礎論B」を含む。 ・博士前期課程に相当する授業科目の修得要件は以下のとおり。 (1)宇宙理工学分野 プログラム共通科目から「<b>異分野研究調査</b>」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「衛星システム」、「衛星設計開発A」及び「衛星設計開発B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「宇宙・プラズマ物理学a」、基礎科目の「通信工学特論A」、応用科目「通信システム」の「電磁波工学特論A」及び「電磁波工学特論B」を含む。 (2)環境・エネルギー理工学分野 プログラム共通科目から「<b>異分野研究調査</b>」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「環境・エネルギー工学総論A」、「環境・エネルギー工学総論B」、「環境・エネルギー技術英語基礎」及び「総合日本語」(外国人留学生のみ)を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「環境・エネルギー工学総論A」及び「環境・エネルギー工学総論B」を含む。 (3)数理・ナノ物質理工学分野 プログラム共通科目から「<b>異分野研究調査</b>」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「数理・ナノ物質理工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「凝縮系物理学基礎a」及び応用科目「電子システム」の「デバイスプロセス工学A」を含む。 (4)超スマート社会理工学分野 プログラム共通科目から「<b>異分野研究調査</b>」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「超スマート社会理工学概論A」及び「超スマート社会理工学概論B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には応用科目「情報システム」の「テクノロジトレンド工学A」及び「テクノロジトレンド工学B」、応用科目「知能システム」の「データマイニング論A」、「データマイニング論B」及び「知能ソフトウェア理論A」を含む。 (5)生命・フィールド理工学分野 プログラム共通科目から「<b>異分野研究調査</b>」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「フィールド生物学」、「地球環境フィールド理工学概論」及び「社会基盤工学概論」を含む7単位以上を修得すること。</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【運】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- 【大学院GS基盤科目】
- ・全学的な大学院教育改革に伴い、研究科共通科目の区分名を「大学院GS科目」から「大学院GS基盤科目」に変更。
  - ・全学的な大学院教育改革に伴い、6科目（「知識集約型社会とデータサイエンス」、「次世代の先端科学技術」、「スマート創成科学」、「人間のと社会の課題」、「ヘルスケア・イノベーション」、「破壊的イノベーションに向けた技術経営論」）を新設し、担当教員数をそれぞれ「兼任1」に設定。
  - ・全学的な大学院教育改革に伴い、授業科目名を「ベンチャービジネス論A、B」を「イノベーション方法論A、B」に、「技術経営論入門A、B」を「技術経営論A、B」、「技術マネジメント基礎論A、B」を「技術マネジメント基礎論A、B」に変更。
  - ・全学的な大学院教育改革に伴い、サステナブル理工学プログラムの科目であった「ラボローテーション」の履修対象を専攻全員とするため、授業科目名を「異分野研究探索」、科目区分を大学院GS基盤科目に変更し、担当教員数を「専任1」及び「兼任5」に設定。
  - ・全学的な大学院教育改革に伴う新規科目の追加、選択区分の変更等により、「技術経営（MOT）コースに関する科目」の区分を削除。
  - ・授業内容をより明確にするため、授業科目名を「バイオ工学基礎A、B」から「バイオ工学特論A、B」に変更。
  - ・開講時期の見直しにより、「連携科目」の開講学期を「1①・②」から「1②」に変更。
  - ・講義内容の見直しにより、「宇宙機力学入門A」、「宇宙機力学入門B」の科目区分を「応用科目」から「基礎科目」に変更。
  - ・講義内容を豊富化のため、「自然環境計測データ工学A」、「自然環境計測データ工学B」を追加開講。同科目の専任教員等の配置を「准教授1」に変更。
  - ・科目担当教員が長期海外出張のため、「テクノロジトレンド工学A」、「テクノロジトレンド工学B」の開講時期を第1、第2クオーター開講から、第3、第4クオーターに変更。
  - ・教員の異動により、「圏論と開数型プログラミングA」、「圏論と開数型プログラミングB」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
  - ・教員の異動により、「ゼミナール・演習」の専任教員等の配置を「教授15」、「准教授16」、「講師1」、「助教3」から「教授15」、「准教授16」、「講師1」、「助教2」に変更。
  - ・教員の異動により、「課題研究」の専任教員等の配置を「教授15」、「准教授16」、「講師1」、「助教3」から「教授15」、「准教授16」、「講師1」、「助教2」に変更。
  - ・博士論文研究基礎学力審査の導入のため、「博士研究調査」の科目区分を設けるとともに、科目を新設。同科目の専任教員等の配置を「教授15」、「准教授16」、「講師1」、「助教2」に変更。
- 
- ・担当教員の変更により、「衛星システム」及び「衛星設計開発B」の担当教員数を「兼任1」から「兼任2」に変更。
  - ・担当教員の変更により、「エネルギー・環境プログラム序論」の担当教員数を「兼任1」から「兼任4」に変更。
  - ・履修計画の見直しにより、「数理・ナノ物質理工学概論」の開講学期を「1①・②」から「1①」に変更。
  - ・履修計画の見直しにより、「テクノロジトレンド工学A」の開講学期を「1①」から「1③」に変更。
  - ・履修計画の見直しにより、「テクノロジトレンド工学B」の開講学期を「1②」から「1④」に変更。
  - ・履修計画の見直しにより、「フィールド生物学」の開講学期を「1③」から「1④」に変更。
  - ・履修計画の見直しにより、「地球環境進化化学A」の開講学期を「1①」から「1③」に変更。
  - ・教員の異動等により、「フィールド実習A」の担当教員数を「兼任15」から「兼任17」に変更。
  - ・全学的な大学院教育改革に伴う新規科目の追加、選択区分の変更及び博士研究基礎学力調査の導入により、修了に必要な単位数を変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	90 科目	34 科目	127 科目	2 科目 [ Δ1 ]	101 科目 [ 11 ]	33 科目 [ Δ1 ]	136 科目 [ 9 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{127} = \boxed{\phantom{00}}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考						
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体						
	校舎敷地	730,408 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	730,408 m <sup>2</sup>							
	運動場用地	115,740 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	115,740 m <sup>2</sup>							
	小 計	846,148 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	846,148 m <sup>2</sup>							
	そ の 他	1,717,530 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	1,717,530 m <sup>2</sup>							
	合 計	2,563,678 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	2,563,678 m <sup>2</sup>							
(2) 校舎	専 用	284,135 m <sup>2</sup> <del>283,999 m<sup>2</sup></del> (284,135 m <sup>2</sup> ) <del>(283,999 m<sup>2</sup>)</del>	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	284,135 m <sup>2</sup> <del>283,999 m<sup>2</sup></del> (284,135 m <sup>2</sup> ) <del>(283,999 m<sup>2</sup>)</del>	大学全体 建物増築のため(4)						
	共 用											
(3) 教室等	講義室	162室	演習室	208室	実験実習室	1,180室	情報処理学習施設	11室	語学学習施設	8室	(補助職員 0人) (補助職員 0人)	
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数						
		自然科学研究科 電子情報通信学専攻			35 室							
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点					
	自然科学研究科 電子情報通信学 専攻	1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	34,760 [12,152] <del>35,708 [13,079]</del>	10,888 [9,388] <del>10,744 [9,292]</del>	8,372 <del>8,336</del>	9,633 <del>8,986</del>	212	専攻単位で特定不能のため、大学全体の数量				
		1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	(34,760 [12,152]) <del>(35,708 [13,079])</del>	(10,888 [9,388]) <del>(10,744 [9,292])</del>	8,372 <del>8,336</del>	(9,633) <del>(8,986)</del>	(212)	購入・廃棄等のため(4)				
	計	1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	34,760 [12,152] <del>35,708 [13,079]</del>	10,888 [9,388] <del>10,744 [9,292]</del>	8,372 <del>8,336</del>	9,633 <del>8,986</del>	212					
		1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	34,760 [12,152] <del>35,708 [13,079]</del>	(10,888 [9,388]) <del>(10,744 [9,292])</del>	8,372 <del>8,336</del>	(9,633) <del>(8,986)</del>	(212)					
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収納可能冊数							
	19,794m <sup>2</sup>		2,194 <del>2,185</del>		1,633,859 <del>1,640,536</del>							
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要									
	6,295m <sup>2</sup>		可動屋根付プール (1,193 m <sup>2</sup> )		弓道場 (162 m <sup>2</sup> )							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による			
		教員1人当り研究費等	—千円	—千円	図書購入費	—千円	—千円	—千円				
	共同研究費等	—千円	—千円	設備購入費	—千円	—千円	—千円					
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次					
		—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円					
学生納付金以外の維持方法の概要		—										

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
融合学域						1.08	1.07				
先導学類	4	55		110	学士(学術)	1.06	1.03	-	令和3	石川県金沢市角間町	
観光デザイン学類	4	15		15	学士(学術)	1.20	1.20		令和4	同上	
人間社会学域						1.02	1.02				
人文学類	4	138	-	569	学士(文学)	1.02	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△4) 令和4年度入学定員変更(△3)
法学類	4	150	3年次10	670	学士(法学)	1.01	1.01	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△10) 令和4年度入学定員変更(△10)
経済学類	4	131	-	532	学士(経済学)	1.00	1.01	-	平成20	同上	入学定員変更(△4)
学校教育学類 共同教員養成課程	4	85	-	85	学士(教育学)	1.02	1.02	-	令和4	同上	
地域創造学類	4	88	-	356	学士(地域創造学)	1.03	1.01	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
国際学類	4	81	-	334	学士(国際学)	1.02	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和4年度入学定員変更(△2)
学校教育学類	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和4年度学生募集停止
理工学域						1.03	1.03				
数物科学類	4	82	3年次5	338	学士(理学)	1.01	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△2)
物質化学類	4	79	3年次4	324	学士(理学・工学)	1.04	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
機械工学類	4	97	3年次10	408	学士(工学)	1.02	1.04	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3)
フロンティア工学類	4	107	3年次5	438	学士(工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3)
電子情報通信学類	4	78	3年次7	326	学士(工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
地球社会基盤学類	4	98	3年次7	406	学士(理学・工学)	1.02	1.04	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
生命理工学類	4	58	3年次2	236	学士(理学・工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△1)
機械工学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
電子情報学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
環境デザイン学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止

医薬保健学域						1.01	1.01					
医学類	6	112	2年次 5	697	学士 (医学)	1.00	1.00	令和2	平成20	石川県金沢市宝 町13-1	入学定員変更 (12)※臨時定 員増継続 令和3年度入学定 員変更 (30)	
薬学類	6	65	-	270	学士 (薬学)	1.04	1.00	-	平成20	石川県金沢市角 間町		
医薬科学類	4	18	-	36	学士 (生命医科学・創薬科 学)	1.05	1.05	-	令和3	同上		
保健学類						1.01	1.01					
看護学専攻	4	79	3年次 10	338	学士 (看護学)	1.00	1.00	-	平成20	石川県金沢市小 立野5-11-80		令和3年度入学定 員変更 (△1)
診療放射線技術専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	1.01	1.02	-	平成20	同上		
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	1.01	1.00	-	平成20	同上		
理学療法学専攻	4	15	3年次 5	80	学士 (保健学)	1.09	1.06	-	平成20	同上		令和3年度入学定 員変更 (△5)
作業療法学専攻	4	15	3年次 5	80	学士 (保健学)	1.05	1.06	-	平成20	同上		令和3年度入学定 員変更 (△5)
創薬科学類	4	-	-	-	学士 (創薬科 学)	-	-	-	平成20	石川県金沢市角 間町		令和3年度学生募 集停止
大学全体	-	1,726	95	7,383	-	-	-	-	-	-		

大学の名称	金沢大学大学院					学生募集停止学科数	9	平均入学定員超 過率1.3倍以上 の学科等数	3	備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間社会環境研究科											
人文学専攻	2	23	-	46	修士 (文学・学 術)	0.82	0.82	-	平成24	石川県金沢市角 間町	
経済学専攻	2	6	-	12	修士 (経済学・ 経営学・学 術)	1.50	1.50	-	平成24	同上	
地域創造学専攻	2	14	-	28	修士 (地域創造 学・学術)	1.28	1.21	-	平成24	同上	
国際学専攻	2	10	-	20	修士 (国際学・ 学術)	0.55	0.40	-	平成24	同上	
人間社会環境学専攻	3	12	-	36	博士 (社会環境 学・文学・ 法学・政治 学・経済 学・学術)	1.08	0.91	-	平成18	同上	
法学・政治学専攻	2	-	-	-	修士 (法学・政 治学)	-	-	-	平成24	同上	令和2年度学生募 集停止
自然科学研究科											
数物科学専攻	2	56	-	112	修士 (理学・学 術)	1.04	0.88	-	平成24	石川県金沢市角 間町	
物質化学専攻	2	57	-	114	修士 (理学・工 学・学術)	1.04	0.90	-	平成24	同上	
機械科学専攻	2	72	-	72	修士 (工学・学 術)	0.90	0.90	-	令和4	同上	
フロンティア工学専攻	2	83	-	83	修士 (工学・学 術)	1.08	1.08	-	令和4	同上	
電子情報通信学専攻	2	63	-	63	修士 (工学・学 術)	1.03	1.03	-	令和4	同上	
地球社会基盤学専攻	2	69	-	69	修士 (理学・工 学・学術)	0.81	0.81	-	令和4	同上	

生命理工学専攻	2	41	-	41	修士 (理学・工学・学術)	0.92	0.92	-	令和4	同上	
数物科学専攻	3	15	-	45	博士 (理学・学術)	0.57	0.26	-	平成16	同上	
物質化学専攻	3	14	-	42	博士 (理学・工学・学術)	0.44	0.70	-	平成26	同上	
機械科学専攻	3	25	-	75	博士 (工学・学術)	0.44	0.40	-	平成26	同上	
電子情報科学専攻	3	18	-	54	博士 (工学・学術)	0.42	0.16	-	平成16	同上	
環境デザイン学専攻	3	10	-	30	博士 (工学・学術)	0.83	0.20	-	平成26	同上	
自然システム学専攻	3	21	-	63	博士 (理学・工学・学術)	0.44	0.42	-	平成26	同上	
機械科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
電子情報科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
環境デザイン学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
自然システム学専攻	2	-	-	-	修士 (理学・工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
医薬保健学総合研究科											
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.93	0.73	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	
医学専攻	4	64	-	256	博士 (医学)	1.02	0.92	-	平成28	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学・学術)	0.81	1.25	-	平成24	石川県金沢市角間町	
創薬科学専攻	2	38	-	76	修士 (創薬科学)	0.99	1.15	-	平成24	同上	
創薬科学専攻	3	11	-	33	博士 (創薬科学・学術)	1.06	1.09	-	平成24	同上	
保健学専攻	2	70	-	140	修士 (保健学)	0.75	0.80	-	平成24	石川県金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	-	75	博士 (保健学)	0.81	0.60	-	平成24	同上	
脳医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	平成28年度学生募集停止
がん医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
循環医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
環境医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
先進予防医学研究科											
先進予防医学共同専攻	4	12	-	48	博士 (医学)	0.95	0.58	-	平成28	石川県金沢市宝町13-1	
新学術創成研究科											
融合科学共同専攻	2	14	-	28	修士 (融合科学)	1.03	0.85	-	平成30	石川県金沢市角間町	
融合科学共同専攻	3	14	-	28	博士 (融合科学・理学・工学)	0.18	0.28	-	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	2	6	-	18	修士 (ナノ科学)	1.66	1.16	-	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	3	6	-	18	博士 (ナノ科学)	1.44	1.16	-	令和2	同上	

法学研究科											令和2年度名称 変更
法学・政治学専攻	2	8	-	16	修士 (法学・政治学)	0.45	0.25	-	令和2	石川県金沢市角間町	
法務専攻	3	15	-	45	法務博士 (専門職)	0.73	0.93	-	平成16	同上	
教職実践研究科											
教職実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.96	0.93	-	平成28	石川県金沢市角間町	
大学院全体	-	926	-	2,143	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<自然科学研究科 電子情報通信学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	秋田 純一 <令和4年4月> 博士(工学)
		ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B 創成研究Ⅰ 創成研究Ⅱ テクノロジトレンド工学A テクノロジトレンド工学B ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	石島 達夫 <令和4年4月> 博士(理学)
		環境・エネルギー工学総論B 次世代電気エネルギー変換概論A ※ 応用プラズマ工学A 応用プラズマ工学B ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	猪熊 孝夫 <令和4年4月> 工学博士
		固体物性評価基礎論 ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	上野 敏幸 <令和4年4月> 博士(工学)
		次世代電気エネルギー変換概論B ※ ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	笠原 禎也 <令和4年4月> 博士(工学)
		通信工学特論A 通信工学特論B ゼミナール・演習 課題研究

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	秋田 純一 <令和4年4月> 博士(工学)
		イノベーション方法論A イノベーション方法論B テクノロジトレンド工学A テクノロジトレンド工学B ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査
専	教授	石島 達夫 <令和4年4月> 博士(理学)
		環境・エネルギー工学総論B 企業体験実習 次世代電気エネルギー変換概論A ※ 応用プラズマ工学A 応用プラズマ工学B ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査
専	教授	猪熊 孝夫 <令和4年4月> 工学博士
		固体物性評価基礎論 ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査
専	教授	上野 敏幸 <令和4年4月> 博士(工学)
		次世代電気エネルギー変換概論B ※ ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査
専	教授	笠原 禎也 <令和4年4月> 博士(工学)
		通信工学特論A 通信工学特論B ゼミナール・演習 課題研究 博士研究調査

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	蚊戸 宣幸 〈令和4年4月〉 理学博士
		解析特論A 解析特論B ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	北川 章夫 〈令和4年4月〉 工学博士
		国際研究インターンシップ ミクストシグナルLSI工学A ミクストシグナルLSI工学B ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	田中 康規 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		プラズマ流体解析入門A プラズマ流体解析入門B 次世代電気エネルギー変換概論A ※ ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	藤解 和也 〈令和4年4月〉 理学博士
		暗号の数理A 暗号の数理B ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	徳田 規夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		表面・界面工学A ゼミナール・演習 課題研究 ナノ物質科学概論
専	教授	松谷 茂樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		非線形波動概論A 非線形波動概論B ゼミナール・演習 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	蚊戸 宣幸 〈令和4年4月〉 理学博士
		解析特論A 解析特論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	北川 章夫 〈令和4年4月〉 工学博士
		国際研究インターンシップ ミクストシグナルLSI工学A ミクストシグナルLSI工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	田中 康規 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		プラズマ流体解析入門A プラズマ流体解析入門B 次世代電気エネルギー変換概論A ※ ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	藤解 和也 〈令和4年4月〉 理学博士
		暗号の数理A 暗号の数理B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	徳田 規夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		表面・界面工学A ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> ナノ物質科学概論
専	教授	松谷 茂樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		非線形波動概論A 非線形波動概論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	満保 雅浩 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		情報セキュリティ特論 ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	三好 正人 〈令和4年4月〉 工学博士
		企業体験実習 ゼミナール・演習 課題研究
専	教授	八木谷 聡 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論A ゼミナール・演習 課題研究 ラボローテーション 衛星システム 衛星設計開発A 衛星設計開発B
専	教授	山根 智 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		知能ソフトウェア理論A 知能ソフトウェア理論B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	今村 幸祐 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		映像情報処理学A 映像情報処理学B ゼミナール・演習 課題研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	満保 雅浩 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		情報セキュリティ特論 ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	三好 正人 〈令和4年4月〉 工学博士
		ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	教授	八木谷 聡 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論A ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>異分野研究探査</b>
専	教授	山根 智 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		知能ソフトウェア理論A 知能ソフトウェア理論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>知識集約型社会とデータサイエンス</b>
専	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b> <b>衛星設計開発A</b>
専	准教授	今村 幸祐 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		映像情報処理学A 映像情報処理学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	尾崎 光紀 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波計測工学特論 ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	鄭 振牟 〈令和4年4月〉 Doctor of Philosophy (米国)
		圏論と関数型プログラミングA 圏論と関数型プログラミングB ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	川江 健 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デバイスプロセス工学A デバイスプロセス工学B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	桑村 有司 〈令和4年4月〉 工学博士
		量子電子工学A 量子電子工学B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	唐堂 由其 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		科学技術英語特論A 科学技術英語特論B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	中村 伊南沙 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		トポロジー概論A トポロジー概論B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		データマイニング論A データマイニング論B ゼミナール・演習 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	尾崎 光紀 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波計測工学特論 ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
兼任	講師	鄭 振牟 〈令和4年4月〉 Doctor of Philosophy (米国)
		圏論と関数型プログラミングA 圏論と関数型プログラミングB
専	准教授	川江 健 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デバイスプロセス工学A デバイスプロセス工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	桑村 有司 〈令和4年4月〉 工学博士
		量子電子工学A 量子電子工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	唐堂 由其 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		科学技術英語特論A 科学技術英語特論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	中村 伊南沙 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		トポロジー概論A トポロジー概論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		データマイニング論A データマイニング論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	藤崎 礼志 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		離散力学系入門A 離散力学系入門B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	松林 昭 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		並列計算理論A 並列計算理論B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	松本 翼 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		表面・界面工学B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	丸山 武男 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		次世代電気エネルギー変換概論B ※ 光波工学A 光波工学B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	深山 正幸 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		SoC設計基礎論A SoC設計基礎論B ゼミナール・演習 課題研究

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	藤崎 礼志 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		離散力学系入門A 離散力学系入門B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	<b>松田 昇也</b> 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>自然環境計測データ工学A</b> <b>自然環境計測データ工学B</b> <b>ゼミナール・演習</b> <b>課題研究</b> <b>博士研究調査</b>
専	准教授	松林 昭 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		並列計算理論A 並列計算理論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	松本 翼 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		表面・界面工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	丸山 武男 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		次世代電気エネルギー変換概論B ※ 光波工学A 光波工学B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	深山 正幸 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		SoC設計基礎論A SoC設計基礎論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	莊司 泰弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		宇宙機力学入門A 宇宙機力学入門B ゼミナール・演習 課題研究
専	准教授	李 睿棟 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		情報ネットワーク特論A 情報ネットワーク特論B ゼミナール・演習 課題研究
専	講師	堀田 英輔 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		適応信号処理A 適応信号処理B ゼミナール・演習 課題研究
専	助教	櫻井 孝平 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		ゼミナール・演習 課題研究
専	助教	張 旭芳 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ゼミナール・演習 課題研究
専	助教	中野 裕介 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ゼミナール・演習 課題研究
兼任	教授	浅川 毅 〈令和4年4月〉 理学博士
		エネルギー・環境プログラム序論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	莊司 泰弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		宇宙機力学入門A 宇宙機力学入門B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	准教授	李 睿棟 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		情報ネットワーク特論A 情報ネットワーク特論B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	講師	堀田 英輔 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		適応信号処理A 適応信号処理B ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	助教	張 旭芳 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>
専	助教	中野 裕介 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ゼミナール・演習 課題研究 <b>博士研究調査</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 聡 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		凝縮系物理学基礎a
兼任	教授	伊藤 正樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物科学基礎A 生物科学基礎B
兼任	教授	宇梶 裕 〈令和4年4月〉 理学博士
		物質創成化学 I
兼任	教授	内田 博久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術インター ンシップ
兼任	教授	海野 進 〈令和4年4月〉 理学博士
		フィールド実習 A
兼任	教授	大塚 浩史 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理・データサイエンス論A 数理・データサイエンス論B
兼任	教授	小田 竜樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ラボローテーション 数理・ナノ物質理工学概論 数理物質科学概論 計算ナノ科学 a 計算ナノ科学 b

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 聡 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		凝縮系物理学基礎a
兼任	教授	伊藤 正樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物科学基礎A 生物科学基礎B
兼任	教授	宇梶 裕 〈令和4年4月〉 理学博士
		物質創成化学 I
兼任	教授	内田 博久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術インター ンシップ
兼任	教授	海野 進 〈令和4年4月〉 理学博士
		フィールド実習 A
兼任	教授	大塚 浩史 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理・データサイエンス論A 数理・データサイエンス論B
兼任	教授	小田 竜樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		<b>異分野研究探査</b> 数理・ナノ物質理工学概論 数理物質科学概論 計算ナノ科学 a 計算ナノ科学 b <b>連携科目</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	神谷 隆宏 〈令和4年4月〉 理学博士
		フィールド実習A
兼任	教授	垣内 康孝 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		研究者倫理
兼任	教授	喜成 年泰 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術マネジメント基礎論A 技術マネジメント基礎論B メカニズムの運動解析と設計A
兼任	教授	木綿 隆弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術経営論入門A 技術経営論入門B
兼任	教授	児玉 昭雄 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ラボローテーション
兼任	教授	斎藤 峯雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		計算理学概論a 計算理学概論b 連携科目
兼任	教授	佐藤 政行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		振動・波動物理学a

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	神谷 隆宏 〈令和4年4月〉 理学博士
		フィールド実習A
兼任	教授	垣内 康孝 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		研究者倫理
兼任	教授	喜成 年泰 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術マネジメント基礎論A 技術マネジメント基礎論B メカニズムの運動解析と設計A
兼任	教授	木綿 隆弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術経営論A 技術経営論B
兼任	教授	児玉 昭雄 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>異分野研究探査</b>
兼任	教授	佐藤 政行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		振動・波動物理学a

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	末松 大二郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		理論物理学基礎a
兼任	教授	関 啓明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		インテリジェントロボットA
兼任	教授	高橋 憲司 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		バイオ工学基礎A バイオ工学基礎B
兼任	教授	竹内 裕 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		フィールド生物学
兼任	教授	谷口 健司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地球環境のデータ解析学
兼任	教授	程 肇 〈令和4年4月〉 農学博士
		ゲノム生命システム学
兼任	教授	永谷 広久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		先端物質化学概論A 先端物質化学概論B ナノ化学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	関 啓明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		インテリジェントロボットA
兼任	教授	高橋 憲司 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		バイオ工学特論A バイオ工学特論B
兼任	教授	竹内 裕 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		フィールド生物学
兼任	教授	谷口 健司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地球環境のデータ解析学
兼任	教授	程 肇 〈令和4年4月〉 農学博士
		ゲノム生命システム学
兼任	教授	永谷 広久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ナノ化学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中山 晶一郎 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマート社会理工学概論A 超スマート社会理工学概論B
兼任	教授	名古屋 創 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学a
兼任	教授	長谷川 卓 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境進化学A フィールド実習A
兼任	教授	長谷川 浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		総合日本語
兼任	教授	長谷部 徳子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	平松 良浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ラボローテーション 地球環境フィールド理工学概論 フィールド実習A
兼任	教授	福士 圭介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中山 晶一郎 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマート社会理工学概論A 超スマート社会理工学概論B
兼任	教授	長谷川 卓 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境進化学A フィールド実習A
兼任	教授	長谷川 浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		環境・エネルギー技術英語応用 エネルギー・環境プログラム序 論
兼任	教授	長谷部 徳子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	平松 良浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		異分野研究探査 地球環境フィールド理工学概論 フィールド実習A
兼任	教授	福士 圭介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	本田 光典 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		応用物質化学概論A 応用物質化学概論B
兼任	教授	森下 知晃 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星科学基礎A 地球惑星科学基礎B フィールド実習A
兼任	教授	山岸 忠明 〈令和4年4月〉 工学博士
		マテリアルプログラム序論
兼任	教授	由比 政年 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		社会基盤工学概論
兼任	教授	渡邊 哲陽 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ラボローテーション

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	森下 知晃 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星科学基礎A 地球惑星科学基礎B フィールド実習A
兼任	教授	山岸 忠明 〈令和4年4月〉 工学博士
		マテリアルプログラム序論 エネルギー・環境プログラム序論
兼任	教授	由比 政年 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		社会基盤工学概論
兼任	教授	渡邊 哲陽 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		異分野研究探査
兼任	教授	中村 慎一 〈令和4年4月〉 博士(文学)
		異分野研究探査
兼任	教授	米田 隆 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		次世代の先端科学技術 ヘルスケア・イノベーション



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	遠藤 徳孝 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小島 治幸 〈令和4年4月〉 博士(行動科学)
		人間と社会の課題
兼任	教授	西山 宣昭 〈令和4年4月〉 工学博士
		スマート創成科学
兼任	教授	松島 大輔 〈令和4年4月〉 博士(経営学)
		破壊的イノベーションに向けた 技術経営論
兼任	教授	小原 功任 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理・データサイエンス論A 数理・データサイエンス論B
兼任	教授	浅川 直紀 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		創成研究I 創成研究II
兼任	教授	本多 了 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		総合日本語
兼任	准教授	遠藤 徳孝 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習 A

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	太田 明雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		環境・エネルギー技術英語応用
兼担	准教授	奥寺 浩樹 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		フィールド実習A
兼担	准教授	紺野 宏記 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼担	准教授	ジェンキンス ロバート 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼担	准教授	隅田 育郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼担	准教授	辻 徳生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		実世界ロボティクス特論A
兼担	准教授	中村 健一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学b

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	太田 明雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	准教授	奥寺 浩樹 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		フィールド実習A
兼担	准教授	紺野 宏記 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼担	准教授	ジェンキンス ロバート 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼担	准教授	隅田 育郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼担	准教授	辻 徳生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		実世界ロボティクス特論A
兼担	准教授	中村 健一 〈令和4年4月〉 博士(理学)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	中山 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼担	准教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術海外研修
兼担	准教授	藤竹 正晴 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物・分子物理学a
兼担	准教授	藤本 龍一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		宇宙・プラズマ物理学a 宇宙物理学a 宇宙物理学b
兼担	准教授	松木 篤 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習 A

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	中山 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼担	教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術海外研修
兼担	准教授	藤竹 正晴 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物・分子物理学a
兼担	准教授	藤本 龍一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		宇宙・プラズマ物理学a 宇宙物理学a 宇宙物理学b
兼担	准教授	松木 篤 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習 A
兼担	准教授	POZAR NORBERT 〈令和4年4月〉 Ph. D(Mathematics (米国))
		計算理学概論a 計算理学概論b
兼担	准教授	添田 貴宏 〈令和4年4月〉 博士(薬学)
		先端物質化学概論A 先端物質化学概論B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池本 敏和 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市の地震防災A
兼任	助教	佐川 拓也 〈令和4年4月〉 博士(地球環境科学)
		フィールド実習A
兼任	助教	濱田 麻希 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	助教	松浦 哲久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論A
兼任	助教	水上 知行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山口 孝浩 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		応用物質化学概論A 応用物質化学概論B エネルギー・環境プログラム序 論
兼任	准教授	臼井 洋一 〈令和4年3月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	講師	池本 敏和 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市の地震防災A
兼任	助教	佐川 拓也 〈令和4年4月〉 博士(地球環境科学)
		フィールド実習A
兼任	助教	濱田 麻希 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	松浦 哲久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論A
兼任	助教	水上 知行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大谷 マーシャ 〈令和4年4月〉 BA in Psychology (米国) 国際プレゼンテーション演習 環境・エネルギー技術英語基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	今村 悠里 〈令和4年4月〉 博士(理学) 数理科学a 数理科学b
兼任	助教	齋川 賢一 〈令和4年4月〉 博士(理学) 理論物理学基礎a
兼任	助教	澤野 達哉 〈令和4年4月〉 博士(理学) 衛星システム 衛星設計開発B
兼任	助教	有元 誠 〈令和4年4月〉 博士(理学) 衛星システム 衛星設計開発B
兼任	助教	石野 咲子 〈令和3年12月〉 博士(理学) フィールド実習A
兼任	講師	大谷 マーシャ 〈令和4年4月〉 BA in Psychology (米国) 国際プレゼンテーション演習 環境・エネルギー技術英語基礎

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none"><li>・教員の異動により、専任教員に松田昇也を追加。</li><li>・教員の異動により、専任教員の鄭振牟、櫻井孝平が就任辞退。</li><li>・教員の異動により、専任教員の鄭振牟を兼任教員に変更し、担当授業科目を変更。</li><li>・博士論文基礎力審査の明確化のために新設された「博士研究調査」を専任教員の担当科目として追加。</li><li>・担当教員の見直しにより、専任教員の秋田純一、石島達夫、三好正人、八木谷聡、山根智、井町智彦の担当授業科目を変更。</li><li>・授業科目名の変更により、専任教員の八木谷聡の担当授業科目を変更。</li><li>・担当教員の見直しにより、兼任教員の浅川毅、大塚浩史、齋藤峯雄、末松大二郎、名古屋創、本田光典、中村健一が就任辞退。</li><li>・担当教員の見直しにより、兼任教員の小田竜樹、永谷広久、長谷川浩、山岸忠明、太田明雄の担当授業科目を変更。</li><li>・授業科目名の変更により、兼任教員の小田竜樹、喜成年泰、木綿隆弘、児玉昭雄、高橋憲司、平松良浩、渡邊哲陽の担当授業科目を変更。</li><li>・昇任のため、兼任教員の畑光彦の職名を教授に変更。</li><li>・昇任のため、兼任教員の松浦哲久の職名を教授に変更。</li><li>・担当教員の見直しにより、兼任教員に中村慎一、米田隆、小島治幸、西山宣昭、松島大輔、小原功任、浅川直紀、本多了、POZAR NORBERT、添田貴宏、山口孝浩、臼井洋一、今村悠里、齋川賢一、澤野達哉、有元誠、佐川拓也、石野咲子が就任。</li></ul>
--

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
9	6	9
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
15	16	1	3	35	0	15	16	1	2	34	0
(15)	(16)	(1)	(3)	(35)	(0)						
研究指導教員 数			研究指導補助 教員数			研究指導教員 数			研究指導補助 教員数		
35			0			34			0		
(35)			(0)			(34)			(0)		
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
15	16	1	3	35	0	15	16	1	3	35	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数			研究指導補助 教員数			研究指導教員 数			研究指導補助 教員数		
35			0			35			0		
[ 0 ]			[ 0 ]			[ 0 ]			[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日現在の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{35}{35} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{34} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	鄭 振牟		選択	圏論と関数型プログラミングA	②	他機関への就職のため就任辞退（4）			
				選択	圏論と関数型プログラミングB	②				
				選択	課題研究	①				
				必修	ゼミナール・演習	①				
2	助教	櫻井 孝平		選択	課題研究	①	他機関への就職のため就任辞退（4）			
				必修	ゼミナール・演習	①				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	2	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	4	科目	計	2	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul>
---

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul>
---

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	2	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	4	科目	計	2	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{35} = 5.71\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。



(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul>
---

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応用科目は、初年度科目担当予定教員が非常勤講師として該当科目を担当するため、学生に影響はない。</li> <li>・ 課題研究科目は、専任教員に学生を配属することにより対応する。</li> </ul> <p>「学生への周知方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリエンテーション、シラバスにより事前に周知する。</li> </ul>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<大学院自然科学研究科 電子情報通信学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 委員会の設置状況 教育方法改善委員会</li> <li>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和3年度は7回実施</li> <li>c 委員会の審議事項等 教育方法改善に係る所事項審議・決定</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 実施内容           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FDシンポジウム</li> <li>・ 新任教員のための研修会</li> </ul> </li> <li>b 実施方法           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対面とオンラインの併用で実施</li> <li>・ オンラインで実施</li> </ul> </li> <li>c 開催状況（教員の参加状況含む）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年5月7日（金）（15名）</li> <li>・ 令和4年3月23日（水）（103名）</li> </ul> </li> <li>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 新任教員研究会，FDシンポジウムでの共有で得られた授業方法，学生への教え方，オンライン授業やAI学習の有効利用，コロナウィルス感染拡大の学生への影響，今，学生の「学び」を質保証するために何を求められているかなどをフィードバックして継続的な授業改善を実施。</li> </ul> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 実施の有無及び実施時期 実施（年4回，各クォーター終了後）</li> <li>b 教員や学生への公開状況、方法等 理工学域Webサイトに，学類ごとの集計結果を掲載（授業担当者はWebから担当科目のアンケート結果を参照し，授業改善に活用する。）</li> </ul>
---

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
設置の趣旨・目的に沿った教育研究体制を整備し、令和4年4月の開設が順調に行われた。  
施設整備、教員配置、カリキュラム設計など、設置計画どおりに達成している。
- ② 自己点検・評価報告書  
学内規程に基づき、定期的に、部局の自己点検評価を実施することとしている。  
また、全学的に基本データの分析による自己点検を行っている。
- a 公表（予定）時期  
・基本データ分析による自己点検を令和4年末までに公表予定
- b 公表方法  
・大学Webサイト上に公開
- ③ 認証評価を受ける計画  
(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)  
・令和3年度に、評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し、適合の認定を受けた。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和4年度）
- a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]
- ≪ a で「有」の場合 ≫
- b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]
- c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他（ ） ]
- ≪ a で公表「無」の場合 ≫
- d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F117110105393

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前相談**

注2

金沢大学大学院 自然科学研究科 地球社会基盤学専攻 (博士前期課程)

## 【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人金沢大学  
令和4年5月1日現在

作成担当者			
担当部局(課)名	企画評価室		
職名・氏名	専門職員	コジマ 小島	ナオト 直人
電話番号	076-264-5020		
(夜間)	076-264-5020		
e-mail	gkikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp		

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 自然科学研究科博士前期課程

＜地球社会基盤学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	40

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人金沢大学

## (2) 大学名

金沢大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒920-1192  
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ワダ タカシ) 和田 隆志 (令和4年4月)		
研究科長	(イイヤマ コウイチ) 飯山 宏一 (令和4年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。



(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
自然科学研究科 地球社会基盤学専攻 修士（理学） 修士（工学） 修士（学術）	理学関係  工学関係	2  年	69  人	年次  人	138  人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	69 ( - ) [ - ]	0.81倍	-
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	86 ( - ) [ 12 ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	69 ( - ) [ 11 ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	65 ( - ) [ 11 ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	56 ( - ) [ 11 ]		
入学定員超過率 B/A											0.81		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	56 [ 11 ] -	- [ - ] -	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [ - ] ( )	- [ - ] ( )	
3年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [ - ] ( - )
4年次	/						/		/		[ ] ( )
計			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )					[ ] ( )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	56人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{56} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<自然科学研究科博士前期課程 地球社会基盤学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教養	准教	講	助	助	手		
大学院GS科目	研究者倫理	1①	1										1
	技術経営論入門A	1①	1										1
	技術経営論入門B	1②	1										1
	技術マネジメント基礎論A	1①	1										1
	技術マネジメント基礎論B	1②	1										1
	ベンチャービジネス論A	1①	1										1
	ベンチャービジネス論B	1②	1										1
	数理・データサイエンス論A	1③	1										1
	数理・データサイエンス論B	1④	1										1
	数理科学a	1①	1										1
	数理科学b	1②	1										1
	理論物理学基礎a	1①	1										1
	生物・分子物理学a	1①	1										1
	凝縮系物理学基礎a	1①	1										1
	宇宙・プラズマ物理学a	1①	1										1
	振動・波動物理学a	1①	1										1
	計算理学概論a	1①	1										1
	計算理学概論b	1②	1										1
	先端物質化学概論A	1③	1										1
	先端物質化学概論B	1④	1										1
	応用物質化学概論A	1③	1										1
	応用物質化学概論B	1④	1										1
	生物科学基礎A	1①	1										1
	生物科学基礎B	1②	1										1
	バイオ工学基礎A	1①	1										1
	バイオ工学基礎B	1②	1										1
	地球惑星科学基礎A	1①	1										1
	地球惑星科学基礎B	1②	1		1								1
	環境・エネルギー工学総論A	1③	1							1			1
	環境・エネルギー工学総論B	1④	1										1
	小計 (30科目)		-	1	28	0	1	0	0	1	0	0	18
	衛北 の大陸 進学先 携院端 科大学 と技	連携科目	1①・②	2									1
		小計 (1科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
	究創 成目 研	創成研究 I	1①・②	2									1
創成研究 II		1③・④	2									1	
小計 (2科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
流国 科際 目交	国際プレゼンテーション演習	1①・②	2			1						1	
	国際研究インターンシップ	1通	2									1	
小計 (2科目)	-	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
専攻 共通 科目	地球社会基盤ゼミナール	1①・②	2		19	12	2	11					
	地球惑星進化化学A	1①	1										
	進化古生物学A	1③	1										
	地球環境進化化学A	1①	1										
	地球表層環境学A	1③	1										
	地震学A	1③	1										
	地球惑星物質科学A	1①	1		1								
	結晶解析学A	1①	1			1							
	地球惑星ダイナミクスA	1①	1			1							
	進化古生態学A	1③	1			1							
	地表プロセスA	1③	1			1							
	水質地球惑星化学A	1①	1		1								
	大気環境変動論A	1③	1			1							
	河川・海岸のデータ解析学	1③	1		1								
	流体物理の数値モデリング	1①	1		1								
	構造工学特論A	1③	1		1	1							
	コンクリート工学特論A	1①	1					1					
	地盤力学特論A	1①	1			1							
	都市の地震防災A	1③	1				1						
	水環境保全工学A	1③	1			1							
	大気環境保全工学A	1①	1		1								
	大気環境科学	1①	1			1							
	都市システム計画学	1②	1			2							
	交通理論概論	1①	1			1						1	
	地球社会基盤キャリア実習	1①	1			1							
	小計 (25科目)	-	2	24	0	19	12	2	11	0			

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教養	准教	講	助	助	手			
大学院GS 基盤 科目	真分野研究探査	1①	1										6	
	研究者倫理	1①	1										1	
	知識集約型社会とデータサイエンス	1③	1										1	
	次世代の先端科学技術	1②	1										1	
	スマート創成科学	1⑥	1										1	
	人間と社会の課題	1②	1										1	
	技術経営論A	1①	1										1	
	技術経営論B	1②	1										1	
	ヘルスケア・イノベーション	1③	1										1	
	破壊的イノベーションに向けた技術経営論	1⑥	1										1	
	技術マネジメント基礎論A	1①	1										1	
	技術マネジメント基礎論B	1②	1										1	
	イノベーション方法論A	1①	1										1	
	イノベーション方法論B	1②	1										1	
	数理・データサイエンス論A	1③	1										1	
	数理・データサイエンス論B	1④	1										1	
	数理科学a	1①	1										1	
	数理科学b	1②	1										1	
	理論物理学基礎a	1①	1										1	
	生物・分子物理学a	1①	1										1	
	凝縮系物理学基礎a	1①	1										1	
	宇宙・プラズマ物理学a	1①	1										1	
	振動・波動物理学a	1①	1										1	
	計算理学概論a	1①	1										1	
	計算理学概論b	1②	1										1	
	先端物質化学概論A	1③	1										1	
	先端物質化学概論B	1④	1										1	
	応用物質化学概論A	1③	1										1	
	応用物質化学概論B	1④	1										1	
	生物科学基礎A	1①	1										1	
	生物科学基礎B	1②	1										1	
	バイオ工学特論A	1①	1										1	
	バイオ工学特論B	1②	1										1	
	地球惑星科学基礎A	1①	1						1				1	
地球惑星科学基礎B	1②	1						1				1		
環境・エネルギー工学総論A	1③	1							1			1		
環境・エネルギー工学総論B	1④	1										1		
小計 (37科目)	-	1	36	0	2	1	0	0	0	0	0	27		
衛北 の大陸 進学先 携院端 科大学 と技	連携科目	1②	2									1		
	小計 (1科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1		
究創 成目 研	創成研究 I	1①・②	2									1		
	創成研究 II	1③・④	2									1		
小計 (2科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
流国 科際 目交	国際プレゼンテーション演習	1①・②	2			1						1		
	国際研究インターンシップ	1通	2									1		
小計 (2科目)	-	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1		
専攻 共通 科目	地球社会基盤ゼミナール	1①・②	2							21	14	2	10	0
	地球惑星進化化学A	1①	1											
	進化古生物学A	1③	1											
	地球環境進化化学A	1①	1											
	地球表層環境学A	1③	1											
	地震学A	1③	1											
	地球惑星物質科学A	1⑥	1											
	結晶解析学A	1①	1						1					
	地球惑星ダイナミクスA	1①	1						1					
	進化古生態学A	1③	1						1					
	地表プロセスA	1③	1						1					
	水質地球惑星化学A	1①	1						1					
	大気環境変動論A	1③	1						1					
	河川・海岸のデータ解析学	1③	1						1					
	流体物理の数値モデリング	1①	1						1					
	構造工学特論A	1③	1							2				
	コンクリート工学特論A	1①	1							1				
	地盤力学特論A	1①	1							1				
	都市の地震防災A	1③	1								1		1	
	水環境保全工学A	1③	1							1	1	1	2	
	大気環境保全工学A	1①	1							2				
	大気環境科学	1①	1											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任				
			必修	選択	自由	単位	准教授	講師	助教	助手					
コース専門科目	地球惑星進化化学B	1②				1									
	進化古生物学B	1④				1									
	地球環境進化化学B	1②				1									
	地球表層環境学B	1④				1									
	地震学B	1④				1									
	地球惑星物質科学B	1②				1									
	結晶解析学B	1②				1									
	地球惑星ダイナミクスB	1②				1									
	進化古生態学B	1④				1									
	地表プロセスB	1④				1									
	水質地球惑星化学B	1②				1									
	大気環境変動論B	1④				1									
	地球環境のデータ解析学	1④				1									
	海岸・海洋の数値モデリング	1②				1					1				
	構造工学特論B	1④				1									
	コンクリート工学特論B	1②				1									
	地盤力学特論B	1②				1									
	都市の地震防災B	1④				1									
	水環境保全工学B	1④				1									
	大気環境保全工学B	1②				1									
	環境システム計画学	1③				1									
	交通システム計画学	1④				1									
	環境リスク論	1①				1									
	小計 (23科目)	—	—	0	23	0	10	10	1	3	0				
	実践科目	リサーチスキルA	1①			1	7	5		3					
		リサーチスキルB	1②			1	7	5		3					
		地球惑星科学総合演習A	1①			1	7	5		3					
		地球惑星科学総合演習B	1②			1	7	5		3					
		地球惑星科学総合演習C	1③			1	7	5		3					
		地球惑星科学総合演習D	1④			1	7	5		3					
		フィールド実習A	1②			1	7	5		3					
		フィールド実習B	1④			2	7	5		3					
		地球惑星科学特別講義	1②			2	1	1							
		マグマ進化学I	1②			2	2								1
		海洋リソソフェア構造進化学	1②			2	2								1
構造・材料工学演習		1③			1	4								1	
地盤・防災工学演習		1③			1	3	1							1	
環境工学演習		1②			1	2	2	1		3				1	
都市・交通デザイン演習		1②			1	2	2							1	
小計 (16科目)		—	—	0	19	0	18	11	2	9	0	2			
課題研究	地球惑星科学課題研究	1～2通			10	7	5	3	3						
	社会基盤工学課題研究	1～2通			10	12	7	2	8						
	小計 (2科目)	—	—	0	20	0	19	12	2	11	0				
通ラポ科目	ラボローテーション	1③			1	1								4	
	小計 (1科目)	—	—	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	
サステナブル理工学プログラム	衛星システム	1①・②			2									1	
	衛星設計開発A	1③			1									1	
	衛星設計開発B	1④			1									1	
	宇宙物理学a	1③			1									1	
	宇宙物理学b	1④			1									1	
	電磁波工学特論A	1③			1									1	
	電磁波工学特論B	1④			1									1	
	通信工学特論A	1①			1									1	
	小計 (8科目)	—	—	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	6	
	環境・エネルギー技術英語基礎	1①			1									1	
	総合日本語	1③			1									1	
	環境・エネルギー技術海外研修	1①・②			2	1								1	
	環境・エネルギー技術インターンシップ	1①・②			2									1	
	環境・エネルギー技術英語応用	2③			1									1	
	エネルギー・環境プログラム序論	1①			1									1	
	小計 (6科目)	—	—	0	0	8	0	1	0	0	0	0	0	5	
	数理・ナノ物質理工学概論	1①・②			1	2									1
	数理解物質科学概論	1②			1										1
	ナノ化学概論	1②			1										1
	ナノ物質科学概論	1②			1										1
	計算ナノ科学 a	1③			1										1
	計算ナノ科学 b	1④			1										1
	物質創成化学 I	1②			1										1
	デバイスプロセス工学A	1①			1										1
	マテリアルプログラム序論	1②			1										1
	小計 (9科目)	—	—	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	超スマート社会理工学概論A	1①			1	1									1
	超スマート社会理工学概論B	1②			1	1									1
	メカニズムの運動解析と設計A	1③			1										1
	実世界ロボティクス特論A	1①			1										1
	インテリジェントロボットA	1③			1										1
	テクノロジトレンド工学A	1①			1										1
	テクノロジトレンド工学B	1②			1										1
	データマイニング論A	1①			1										1
データマイニング論B	1②			1										1	
知能ソフトウェア理論A	1③			1										1	
小計 (10科目)	—	—	0	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	6	
フィールド生物学	1③			1										1	
地球環境フィールド理工学概論	1③			1	1									1	
社会基盤工学概論	1②			1	1									1	
ゲノム生命システム学	1②			1										1	
生命構造機能システム学A	1①			1										2	
小計 (5科目)	—	—	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	4	
合計 (140科目)	—	—	3	124	43	19	12	2	11	0	43				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任				
			必修	選択	自由	単位	准教授	講師	助教	助手					
コース専門科目	地球惑星進化化学B	1②				1									
	進化古生物学B	1④				1									
	地球環境進化化学B	1②				1									
	地球表層環境学B	1④				1									
	地震学B	1④				1									
	地球惑星物質科学B	1②				1									
	結晶解析学B	1②				1									
	地球惑星ダイナミクスB	1②				1									
	進化古生態学B	1④				1									
	地表プロセスB	1④				1									
	水質地球惑星化学B	1②				1									
	大気環境変動論B	1④				1									
	地球環境のデータ解析学	1④				1									
	海岸・海洋の数値モデリング	1②				1					1				
	構造工学特論B	1④				1									
	コンクリート工学特論B	1②				1									
	地盤力学特論B	1②				1									
	都市の地震防災B	1④				1									
	水環境保全工学B	1④				1									
	大気環境保全工学B	1②				1									
	環境システム計画学	1③				1									
	交通システム計画学	1④				1									
	環境リスク論	1⑤				1									
	小計 (23科目)	—	—	0	23	0	13	10	2	4	0				
	実践科目	リサーチスキルA	1①・②			1	7	6		4					
		リサーチスキルB	1③・④			1	7	6		4					
		地球惑星科学総合演習A	1①			1	7	6		4					
		地球惑星科学総合演習B	1②			1	7	6		4					
		地球惑星科学総合演習C	1③			1	7	6		4					
		地球惑星科学総合演習D	1④			1	7	6		4					
		フィールド実習A	1①・②			1	7	6		4					
		フィールド実習B	1③・④			2	7	6		4					
		地球惑星科学特別講義	1②			1	1								
		マグマ進化学I (未開講)	1②			2									1
		海洋リソソフェア構造進化学	1②			2									1
水工学演習		1③			1	3	1							1	
構造・材料工学演習		1③			1										

卒業要件及び履修方法
<p>(修了要件) 2年以上在学し、31単位(必修3単位、選択必修2単位以上、選択6単位以上を含む)以上を修得した上で、修士論文審査及び最終試験に合格すること。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>(履修方法) 次の科目を含み31単位以上を修得すること。 ①研究科共通科目 研究者倫理を含む2単位以上 ②専攻共通科目 地球社会基盤セミナーを含む4単位以上 ③コース専門科目 実践科目2単位以上を含む専門科目との合計4単位以上 ④課題研究 10単位</p> <p>&lt;サステナブル理工学プログラム&gt; ・当該プログラムは、自然科学研究科全専攻にまたがる分野横断教育として開講する。博士課程5年一貫型の副専攻であり、以下の(1)～(5)の分野から希望するいずれか1つのプログラムを履修することができる。 ・本プログラムの博士前期課程に相当する授業科目(上掲)を履修し、所定の審査を受けた後、博士後期課程相当の授業科目を履修し、プログラム修了に必要な最終審査を受ける。 ・プログラム共通科目には、大学院GS科目の「数理・データサイエンス論A」、「技術マネジメント基礎論A」及び「技術マネジメント基礎論B」を含む。 ・博士前期課程に相当する授業科目の修得要件は以下のとおり。</p> <p>(1)宇宙理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「衛星システム」、「衛星設計開発A」及び「衛星設計開発B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「宇宙・プラズマ物理学A」を含む。</p> <p>(2)環境・エネルギー理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「環境・エネルギー工学総論A」、「環境・エネルギー工学総論B」、「環境・エネルギー技術英語基礎」及び「総合日本語」(外国人留学生のみ)を含む7単位(外国人留学生は8単位)以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「環境・エネルギー工学総論A」及び「環境・エネルギー工学総論B」を含む。</p> <p>(3)数理・ナノ物質理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「数理・ナノ物質理工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「凝縮系物理学基礎A」を含む。</p> <p>(4)超スマート社会理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「超スマート社会理工学概論A」及び「超スマート社会理工学概論B」を含む8単位以上を修得すること。</p> <p>(5)生命・フィールド理工学分野 プログラム共通科目から「ラボロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「フィールド生物学」、「地球環境フィールド理工学概論」及び「社会基盤理工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には専攻共通科目の「地球環境進化学A」及び「都市の地震防災A」、コース専門科目(専門科目)の「地球環境のデータ解析学」、コース専門科目(実践科目)の「フィールド実習A」を含む。</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の下に「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技」による授業科目には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

卒業要件及び履修方法
<p>(修了要件) 2年以上在学し、32単位(ただし、研究取りまとめの方法として「博士研究調査」を選択した者は、34単位)(必修3単位、選択必修19単位以上、選択10～12単位以上を含む)以上を修得した上で、修士論文審査及び最終試験に合格すること。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>(履修方法) 次の科目を含み31単位以上を修得すること。 ①研究科共通科目 研究者倫理を含む3単位以上 ②専攻共通科目 地球社会基盤セミナーを含む4単位以上 ③コース専門科目 実践科目2単位以上を含む専門科目との合計4単位以上 ④課題研究又は博士研究調査 10単位</p> <p>&lt;サステナブル理工学プログラム&gt; ・当該プログラムは、自然科学研究科全専攻にまたがる分野横断教育として開講する。博士課程5年一貫型の副専攻であり、以下の(1)～(5)の分野から希望するいずれか1つのプログラムを履修することができる。 ・本プログラムの博士前期課程に相当する授業科目(上掲)を履修し、所定の審査を受けた後、博士後期課程相当の授業科目を履修し、プログラム修了に必要な最終審査を受ける。 ・プログラム共通科目には、大学院GS基盤科目の「数理・データサイエンス論A」、「技術マネジメント基礎論A」及び「技術マネジメント基礎論B」を含む。 ・博士前期課程に相当する授業科目の修得要件は以下のとおり。</p> <p>(1)宇宙理工学分野 プログラム共通科目から「<b>異分野研究調査</b>」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「衛星システム」、「衛星設計開発A」及び「衛星設計開発B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基盤科目の「宇宙・プラズマ物理学A」を含む。</p> <p>(2)環境・エネルギー理工学分野 プログラム共通科目から「<b>異分野研究調査</b>」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「環境・エネルギー工学総論A」、「環境・エネルギー工学総論B」、「環境・エネルギー技術英語基礎」及び「総合日本語」(外国人留学生のみ)を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基盤科目の「環境・エネルギー工学総論A」及び「環境・エネルギー工学総論B」を含む。</p> <p>(3)数理・ナノ物質理工学分野 プログラム共通科目から「<b>異分野研究調査</b>」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「数理・ナノ物質理工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基盤科目の「凝縮系物理学基礎A」を含む。</p> <p>(4)超スマート社会理工学分野 プログラム共通科目から「<b>異分野研究調査</b>」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「超スマート社会理工学概論A」及び「超スマート社会理工学概論B」を含む8単位以上を修得すること。</p> <p>(5)生命・フィールド理工学分野 プログラム共通科目から「<b>異分野研究調査</b>」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「フィールド生物学」、「地球環境フィールド理工学概論」及び「社会基盤理工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には専攻共通科目の「地球環境進化学A」及び「都市の地震防災A」、コース専門科目(専門科目)の「地球環境のデータ解析学」、コース専門科目(実践科目)の「フィールド実習A」を含む。</p>

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none"><li>・全学的な大学院教育改革に伴い、研究科共通科目の区分名を「大学院GS科目」から「大学院GS基盤科目」に変更。</li><li>・全学的な大学院教育改革に伴い、6科目（「知識集約型社会とデータサイエンス」、「次世代の先端科学技術」、「スマート創成科学」、「人間のと社会の課題」、「ヘルスケア・イノベーション」、「破壊的イノベーションに向けた技術経営論」）を新設し、担当教員数をそれぞれ「兼任」に設定。</li><li>・全学的な大学院教育改革に伴い、授業科目名を「ベンチャービジネス論A、B」を「イノベーション方法論A、B」に、「技術経営論入門A、B」を「技術経営論A、B」、「技術マネジメント基礎論A、B」を「技術マネジメント基礎論A、B」に変更。</li><li>・全学的な大学院教育改革に伴い、オズテナブル理工学プログラムの科目であった「ラボローテーション」の履修対象を専攻全員とするため、授業科目名を「異分野研究探査」、科目区分を大学院GS基盤科目に変更し、担当教員数を「専任1」及び「兼任5」に設定。</li><li>・全学的な大学院教育改革に伴う新規科目の追加、選択区分の変更等により、「技術経営（MOT）コースに関する科目」の区分を削除。</li><li>・授業内容をより明確にするため、授業科目名を「バイオ工学特論A、B」から「バイオ工学特論A、B」に変更。</li><li>・開講時期の見直しにより、「連携科目」の開講学期を「1①・②」から「1②」に変更。</li><li>・教員の異動により、「地球社会基盤セミナー」の専任教員の配置を「教授19、准教授12、講師2、助教11」から「教授21、准教授14、講師2、助教10」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「進化古生物学A」の配当年次を「1③」から「1①」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「地球環境進化化学A」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「地球惑星物質科学A」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。</li><li>・教員の昇任により、「構造工学特論A」の専任教員の配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。</li><li>・担当教員の変更により、「コンクリート工学特論A」の専任教員の配置を「助教1」から「教授1」に変更。</li><li>・担当教員の変更により、「都市の地震防災A」の専任教員の配置を「講師1」から「講師1、助教1」に変更。</li><li>・担当教員の変更により、「水環境保全工学A」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1、講師1、助教1」に変更。</li><li>・担当教員の変更により、「大気環境保全工学A」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に変更。</li><li>・教員の昇任により、「大気環境科学」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。</li><li>・担当教員の変更により、「交通理論概論」の専任教員の配置を「教授1」から「助教1」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「地球社会基盤キャリア実習」の配当年次を「1①」から「1①・②」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「進化古生物学B」の配当年次を「1④」から「1②」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「地球環境進化化学B」の配当年次を「1②」から「1④」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「地球惑星物質科学B」の配当年次を「1②」から「1④」に変更。</li><li>・教員の昇任により、「海岸・海洋の数値モデリング」の専任教員の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。</li><li>・教員担当の変更により、「都市の地震防災B」の専任教員の配置を「助教1」から「講師1、助教1」に変更。</li><li>・教員担当の変更により、「水環境保全工学B」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1、准教授1、講師1、助教2」に変更。</li><li>・教員担当の変更により、「大気環境保全工学B」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に変更。</li><li>・教員の昇任により、「環境リスク論」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「環境リスク論」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。</li><li>・配当時期の見直しにより、「リサーチスキルA」の配当年次を「1①」から「1①・②」に変更。</li><li>・教員の異動により、「リサーチスキルA」の専任教員の配置を「教授7、准教授5、助教3」から「教授7、准教授6、助教4」に変更。</li><li>・配当時期の見直しにより、「リサーチスキルB」の配当年次を「1②」から「1③・④」に変更。</li><li>・教員の異動により、「リサーチスキルB」の専任教員の配置を「教授7、准教授5、助教3」から「教授7、准教授6、助教4」に変更。</li><li>・教員の異動により、「地球惑星科学総合演習A」の専任教員の配置を「教授7、准教授5、助教3」から「教授7、准教授6、助教4」に変更。</li><li>・教員の異動により、「地球惑星科学総合演習B」の専任教員の配置を「教授7、准教授5、助教3」から「教授7、准教授6、助教4」に変更。</li><li>・教員の異動により、「地球惑星科学総合演習C」の専任教員の配置を「教授7、准教授5、助教3」から「教授7、准教授6、助教4」に変更。</li><li>・教員の異動により、「地球惑星科学総合演習D」の専任教員の配置を「教授7、准教授5、助教3」から「教授7、准教授6、助教4」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「フィールド実習A」の配当年次を「1②」から「1①・②」に変更。</li><li>・教員の異動により、「フィールド実習A」の専任教員の配置を「教授7、准教授5、助教3」から「教授7、准教授6、助教4」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「フィールド実習B」の配当年次を「1④」から「1③・④」に変更。</li><li>・教員の異動により、「フィールド実習B」の専任教員の配置を「教授7、准教授5、助教3」から「教授7、准教授6、助教4」に変更。</li><li>・教員の異動により、「水工学演習」の専任教員の配置を「教授4、助教1」から「教授3、准教授1」に変更。</li><li>・教員の異動により、「構造・材料工学演習」の専任教員の配置を「教授3、准教授1」から「教授4、准教授1、助教1」に変更。</li><li>・教員の採用により、「地盤・防災工学演習」の専任教員の配置を「准教授1、講師1、助教2」から「准教授2、講師1、助教2」に変更。</li><li>・教員の異動により、「環境工学演習」の専任教員の配置を「教授2、准教授2、講師1、助教3」から「教授4、准教授1、助教1」に変更。</li><li>・教員の異動により、「地球惑星科学課題研究」の専任教員の配置を「教授7、准教授5、助教3」から「教授7、准教授6、助教4」に変更。</li><li>・教員の異動により、「社会基盤工学課題研究」の専任教員の配置を「教授12、准教授7、講師2、助教8」から「教授14、准教授8、講師2、助教6」に変更。</li><li>・博士論文研究基礎学力審査の導入のため、「博士研究調査」の科目区分を設けるとともに、科目を新設。</li><li>・担当教員の変更により、「衛星システム」及び「衛星設計開発B」の担当教員数を「兼任1」から「兼任2」に変更。</li><li>・担当教員の変更により、「エネルギー・環境プログラム序論」の担当教員数を「兼任1」から「兼任4」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「数値・ナノ物質理工学概論」の開講学期を「1①・②」から「1①」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「テクノロジトレンド工学A」の開講学期を「1①」から「1③」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「テクノロジトレンド工学B」の開講学期を「1②」から「1④」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「フィールド生物学」の開講学期を「1③」から「1④」に変更。</li><li>・履修計画の見直しにより、「地球環境進化化学A」の開講学期を「1①」から「1③」に変更。</li><li>・教員の異動により、「フィールド実習A」の担当教員数を「兼任15」から「兼任17」に変更。</li><li>・全学的な大学院教育改革に伴う新規科目の追加、選択区分の変更及び博士研究基礎学力調査の導入により、修了に必要な単位数を変更。</li></ul>
---

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を面書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	99 科目	39 科目	140 科目	2 科目 [ 0 ]	107 科目 [ 8 ]	39 科目 [ 0 ]	148 科目 [ 8 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)



### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{140} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	730,408 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	730,408 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	115,740 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	115,740 m <sup>2</sup>				
	小 計	846,148 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	846,148 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	1,717,530 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	1,717,530 m <sup>2</sup>				
合 計	2,563,678 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	2,563,678 m <sup>2</sup>					
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 建物増築のため(4)			
		284,135 m <sup>2</sup> <del>283,999 m<sup>2</sup></del> (284,135 m <sup>2</sup> ) <del>(283,999 m<sup>2</sup>)</del>	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	284,135 m <sup>2</sup> <del>283,999 m<sup>2</sup></del> (284,135 m <sup>2</sup> ) <del>(283,999 m<sup>2</sup>)</del>				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	162室	208室	1,180室	11室 (補助職員 0人)	8室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	自然科学研究科 地球社会基盤学専攻			35 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位で特定不能のため、大学全体の数量 購入・廃棄等のため (4)	
	自然科学研究科 地球社会基盤学 専攻	1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	34,760 [12,152] <del>35,708 [13,079]</del>	10,888 [9,388] <del>10,744 [9,292]</del>	8,372 [9,388] <del>8,336 [9,292]</del>	9,633 [9,633] <del>8,986 [8,986]</del>	212 (212)		
	計	1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	34,760 [12,152] <del>35,708 [13,079]</del>	10,888 [9,388] <del>10,744 [9,292]</del>	8,372 [9,388] <del>8,336 [9,292]</del>	9,633 [9,633] <del>8,986 [8,986]</del>	212 (212)		
		1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	34,760 [12,152] <del>35,708 [13,079]</del>	10,888 [9,388] <del>10,744 [9,292]</del>	8,372 [9,388] <del>8,336 [9,292]</del>	9,633 [9,633] <del>8,986 [8,986]</del>	212 (212)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数				
	19,794m <sup>2</sup>		2,194 <del>2,185</del>		1,633,859 <del>1,640,536</del>		大学全体 椅子破損および書架 入れ替え等のため(4)		
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,295m <sup>2</sup>		可動屋根付プール (1,193 m <sup>2</sup> ) 弓 道 場 ( 162 m <sup>2</sup> )						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	—千円	—千円	図書購入費	—千円	—千円	—千円	
	共同研究費等	—千円	—千円	設備購入費	—千円	—千円	—千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		—							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
融合学域						1.08	1.07				
先導学類	4	55		110	学士(学術)	1.06	1.03	-	令和3	石川県金沢市角間町	
観光デザイン学類	4	15		15	学士(学術)	1.20	1.20		令和4	同上	
人間社会学域						1.02	1.02				
人文学類	4	138	-	569	学士(文学)	1.02	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△4) 令和4年度入学定員変更(△3)
法学類	4	150	3年次10	670	学士(法学)	1.01	1.01	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△10) 令和4年度入学定員変更(△10)
経済学類	4	131	-	532	学士(経済学)	1.00	1.01	-	平成20	同上	入学定員変更(△4)
学校教育学類 共同教員養成課程	4	85	-	85	学士(教育学)	1.02	1.02	-	令和4	同上	
地域創造学類	4	88	-	356	学士(地域創造学)	1.03	1.01	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
国際学類	4	81	-	334	学士(国際学)	1.02	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和4年度入学定員変更(△2)
学校教育学類	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和4年度学生募集停止
理工学域						1.03	1.03				
数物科学類	4	82	3年次5	338	学士(理学)	1.01	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△2)
物質化学類	4	79	3年次4	324	学士(理学・工学)	1.04	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
機械工学類	4	97	3年次10	408	学士(工学)	1.02	1.04	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3)
フロンティア工学類	4	107	3年次5	438	学士(工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3)
電子情報通信学類	4	78	3年次7	326	学士(工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
地球社会基盤学類	4	98	3年次7	406	学士(理学・工学)	1.02	1.04	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2)
生命理工学類	4	58	3年次2	236	学士(理学・工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△1)
機械工学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
電子情報学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
環境デザイン学類	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
医薬保健学域						1.01	1.01				
医学類	6	112	2年次5	697	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	平成20	石川県金沢市宝町13-1	入学定員変更(12)※臨時定員増継続
薬学類	6	65	-	270	学士(薬学)	1.04	1.00	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(30)

医薬科学類	4	18	-	36	学士 (生命医科学・創薬科学)	1.05	1.05	-	令和3	同上	
保健学類						1.01	1.01				
看護学専攻	4	79	3年次 10	338	学士 (看護学)	1.00	1.00	-	平成20	石川県金沢市小立野5-11-80	令和3年度入学定員変更(△1)
診療放射線技術専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	1.01	1.02	-	平成20	同上	
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	1.01	1.00	-	平成20	同上	
理学療法学専攻	4	15	3年次 5	80	学士 (保健学)	1.09	1.06	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△5)
作業療法学専攻	4	15	3年次 5	80	学士 (保健学)	1.05	1.06	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△5)
創薬科学類	4	-	-	-	学士 (創薬科学)	-	-	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度学生募集停止
大学全体	-	1,726	95	7,383	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	金沢大学大学院					学生募集停止学科数	9	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	3	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間社会環境研究科											
人文学専攻	2	23	-	46	修士 (文学・学術)	0.82	0.82	-	平成24	石川県金沢市角間町	
経済学専攻	2	6	-	12	修士 (経済学・経営学・学術)	1.50	1.50	-	平成24	同上	
地域創造学専攻	2	14	-	28	修士 (地域創造学・学術)	1.28	1.21	-	平成24	同上	
国際学専攻	2	10	-	20	修士 (国際学・学術)	0.55	0.40	-	平成24	同上	
人間社会環境学専攻	3	12	-	36	博士 (社会環境学・文学・法学・政治学・経済学・学術)	1.08	0.91	-	平成18	同上	
法学・政治学専攻	2	-	-	-	修士 (法学・政治学)	-	-	-	平成24	同上	令和2年度学生募集停止
自然科学研究科											
数物科学専攻	2	56	-	112	修士 (理学・学術)	1.04	0.88	-	平成24	石川県金沢市角間町	
物質化学専攻	2	57	-	114	修士 (理学・工学・学術)	1.04	0.90	-	平成24	同上	
機械科学専攻	2	72	-	72	修士 (工学・学術)	0.90	0.90	-	令和4	同上	
フロンティア工学専攻	2	83	-	83	修士 (工学・学術)	1.08	1.08	-	令和4	同上	
電子情報通信学専攻	2	63	-	63	修士 (工学・学術)	1.03	1.03	-	令和4	同上	
地球社会基盤学専攻	2	69	-	69	修士 (理学・工学・学術)	0.81	0.81	-	令和4	同上	
生命理工学専攻	2	41	-	41	修士 (理学・工学・学術)	0.92	0.92	-	令和4	同上	
数物科学専攻	3	15	-	45	博士 (理学・学術)	0.57	0.26	-	平成16	同上	
物質化学専攻	3	14	-	42	博士 (理学・工学・学術)	0.44	0.70	-	平成26	同上	

機械科学専攻	3	25	-	75	博士 (工学・学術)	0.44	0.40	-	平成26	同上	
電子情報科学専攻	3	18	-	54	博士 (工学・学術)	0.42	0.16	-	平成16	同上	
環境デザイン学専攻	3	10	-	30	博士 (工学・学術)	0.83	0.20	-	平成26	同上	
自然システム学専攻	3	21	-	63	博士 (理学・工学・学術)	0.44	0.42	-	平成26	同上	
機械科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
電子情報科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
環境デザイン学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
自然システム学専攻	2	-	-	-	修士 (理学・工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
医薬保健学総合研究科											
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.93	0.73	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	
医学専攻	4	64	-	256	博士 (医学)	1.02	0.92	-	平成28	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学・学術)	0.81	1.25	-	平成24	石川県金沢市角間町	
創薬科学専攻	2	38	-	76	修士 (創薬科学)	0.99	1.15	-	平成24	同上	
創薬科学専攻	3	11	-	33	博士 (創薬科学・学術)	1.06	1.09	-	平成24	同上	
保健学専攻	2	70	-	140	修士 (保健学)	0.75	0.80	-	平成24	石川県金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	-	75	博士 (保健学)	0.81	0.60	-	平成24	同上	
脳医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	平成28年度学生募集停止
がん医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
循環医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
環境医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
先進予防医学研究科											
先進予防医学共同専攻	4	12	-	48	博士 (医学)	0.95	0.58	-	平成28	石川県金沢市宝町13-1	
新学術創成研究科											
融合科学共同専攻	2	14	-	28	修士 (融合科学)	1.03	0.85	-	平成30	石川県金沢市角間町	
融合科学共同専攻	3	14	-	28	博士 (融合科学・理学・工学)	0.18	0.28	-	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	2	6	-	18	修士 (ナノ科学)	1.66	1.16	-	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	3	6	-	18	博士 (ナノ科学)	1.44	1.16	-	令和2	同上	
法学研究科											
法学・政治学専攻	2	8	-	16	修士 (法学・政治学)	0.45	0.25	-	令和2	石川県金沢市角間町	令和2年度名称変更
法務専攻	3	15	-	45	法務博士 (専門職)	0.73	0.93	-	平成16	同上	
教職実践研究科											
教職実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.96	0.93	-	平成28	石川県金沢市角間町	

大学院全体	-	926	-	2,143	-	-	-	-	-	-
-------	---	-----	---	-------	---	---	---	---	---	---

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<自然科学研究科 地球社会基盤学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	五十嵐 心一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		構造・材料工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	教授	海野 進 〈令和4年4月〉 理学博士
		地球惑星進化学A 地球惑星進化学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 地球惑星科学特別講義
専	教授	榎田 真也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		河川・海岸のデータ解析学 水工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	教授	大橋 政司 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		河川・海岸のデータ解析学 水工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	五十嵐 心一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		コンクリート工学特論A 構造・材料工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 博士研究調査
専	教授	海野 進 〈令和4年4月〉 理学博士
		地球惑星進化学A 地球惑星進化学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 博士研究調査
専	教授	榎田 真也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		河川・海岸のデータ解析学 水工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 博士研究調査
専	教授	大橋 政司 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		環境工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 博士研究調査



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	神谷 隆宏 〈令和4年4月〉 理学博士
		進化古生物学A 進化古生物学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	教授	齋藤 武久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		水工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	教授	谷口 健司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地球環境のデータ解析学 水工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	教授	沈 振江 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市システム計画学 ※ 環境システム計画学 都市・交通デザイン演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	教授	中山 晶一郎 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマート社会理工学概論A 超スマート社会理工学概論B 交通理論概論 都市・交通デザイン演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 国際研究インターンシップ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	神谷 隆宏 〈令和4年4月〉 理学博士
		進化古生物学A 進化古生物学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	教授	谷口 健司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地球環境のデータ解析学 水工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	教授	沈 振江 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市システム計画学 ※ 環境システム計画学 都市・交通デザイン演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	教授	中山 晶一郎 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマート社会理工学概論A 超スマート社会理工学概論B 都市・交通デザイン演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西野 達也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市システム計画学 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	教授	長谷川 卓 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境進化学A 地球環境進化学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	教授	長谷部 徳子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球表層環境学A 地球表層環境学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西野 達也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市システム計画学 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>国際研究インターンシップ</b> <b>博士研究調査</b>
専	教授	長谷川 卓 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境進化学A 地球環境進化学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>地球惑星科学特別講義</b> <b>博士研究調査</b>
専	教授	長谷部 徳子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球表層環境学A 地球表層環境学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平松 良浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ラボローテーション 地球環境フィールド理工学概論 地震学A 地震学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	教授	深田 幸史 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		構造工学特論B 構造・材料工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	教授	福士 圭介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		水質地球惑星化学A 水質地球惑星化学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	教授	古内 正美 〈令和4年4月〉 工学博士
		大気環境保全工学A 環境工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平松 良浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		<b>異分野研究探査</b> 地球環境フィールド理工学概論 地震学A 地震学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	教授	深田 幸史 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		構造工学特論B 構造・材料工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	教授	福士 圭介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		水質地球惑星化学A 水質地球惑星化学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	教授	古内 正美 〈令和4年4月〉 工学博士
		大気環境保全工学A ※ <b>大気環境保全工学B ※</b> 環境工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	榎谷 浩 〈令和4年4月〉 工学博士
		構造工学特論A ※ 構造・材料工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	教授	森下 知晃 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星物質科学A 地球惑星物質科学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球社会基盤キャリア実習 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 地球惑星科学基礎A 地球惑星科学基礎B
専	教授	由比 政年 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		社会基盤工学概論 流体物理の数値モデリング 水工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	准教授	遠藤 徳孝 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地表プロセスA 地表プロセスB リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	榎谷 浩 〈令和4年4月〉 工学博士
		構造工学特論A ※ 構造・材料工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	教授	森下 知晃 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星物質科学A 地球惑星物質科学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球社会基盤キャリア実習 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 地球惑星科学基礎A 地球惑星科学基礎B <b>博士研究調査</b>
専	教授	由比 政年 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		社会基盤工学概論 流体物理の数値モデリング 水工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	准教授	遠藤 徳孝 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地表プロセスA 地表プロセスB リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	奥寺 浩樹 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		結晶解析学A 結晶解析学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	准教授	久保 善司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		コンクリート工学特論B 構造・材料工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	准教授	栗橋 祐介 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		構造工学特論A ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	准教授	小林 俊一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地盤力学特論A 地盤力学特論B ※ 地盤・防災工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	准教授	ジェンキンス ロバート 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		進化古生態学A 進化古生態学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	奥寺 浩樹 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		結晶解析学A 結晶解析学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	准教授	久保 善司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		コンクリート工学特論B 構造・材料工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	教授	栗橋 祐介 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		構造工学特論A ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	准教授	小林 俊一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地盤力学特論B ※ 地盤・防災工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	准教授	ジェンキンス ロバート 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		進化古生態学A 進化古生態学B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	隅田 育郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星ダイナミクスA 地球惑星ダイナミクスB リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	准教授	高山 雄貴 〈令和4年4月〉 博士(情報科学)
		都市・交通デザイン演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	准教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術海外研修 大気環境保全工学B 大気環境科学 環境工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	准教授	藤生 慎 〈令和4年4月〉 博士(学際情報学)
		交通システム計画学 都市・交通デザイン演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	准教授	本多 了 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		水環境保全工学A 環境リスク論 環境工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	隅田 育郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星ダイナミクスA 地球惑星ダイナミクスB リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	准教授	高山 雄貴 〈令和4年4月〉 博士(情報科学)
		都市・交通デザイン演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術海外研修 <b>大気環境保全工学A</b> 大気環境保全工学B 大気環境科学 環境工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	准教授	藤生 慎 〈令和4年4月〉 博士(学際情報学)
		交通システム計画学 都市・交通デザイン演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	教授	本多 了 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		水環境保全工学A 環境リスク論 環境工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>総合日本語</b> <b>博士研究調査</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松木 篤 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		大気環境変動論A 大気環境変動論B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	講師	池本 敏和 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市の地震防災A 地盤・防災工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	講師	花本 征也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		水環境保全工学A ※ 水環境保全工学B ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松木 篤 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		大気環境変動論A 大気環境変動論B リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	准教授	<b>阪田 義隆</b> 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		<b>地盤力学特論A 地震・防災工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 博士研究調査</b>
専	准教授	<b>中西 航</b> 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 博士研究調査</b>
専	准教授	<b>臼井 洋一</b> 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		<b>フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 博士研究調査</b>
専	講師	池本 敏和 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>都市の地震防災A ※ 都市の地震防災B ※ 地盤・防災工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 博士研究調査</b>
専	講師	花本 征也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>水環境保全工学A ※ 水環境保全工学B ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 博士研究調査</b>



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐川 拓也 〈令和4年4月〉 博士(地球環境科学)
		リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	助教	西脇 ゆり 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	助教	二宮 順一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		海岸・海洋の数値モデリング 水工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	助教	濱田 麻希 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	助教	原 宏江 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐川 拓也 〈令和4年4月〉 博士(地球環境科学)
		リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	助教	西脇 ゆり 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>水環境保全工学A ※</b> <b>水環境保全工学B ※</b> 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	准教授	二宮 順一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		海岸・海洋の数値モデリング 水工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	助教	濱田 麻希 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	助教	原 宏江 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>水環境保全工学A ※</b> <b>水環境保全工学B ※</b> 環境工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	松浦 哲久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 環境・エネルギー工学総論A
専	助教	水上 知行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	助教	村田 晶 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市の地震防災B 地盤・防災工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	助教	柳田 龍平 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		コンクリート工学特論A 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
専	助教	山口 裕通 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松浦 哲久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		水環境保全工学A ※ 水環境保全工学B ※ 環境工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 環境・エネルギー工学総論A 博士研究調査
専	助教	水上 知行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキルA リサーチスキルB 地球惑星科学総合演習A 地球惑星科学総合演習B 地球惑星科学総合演習C 地球惑星科学総合演習D フィールド実習A フィールド実習B 地球惑星科学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 博士研究調査
専	助教	村田 晶 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		都市の地震防災A 都市の地震防災B 地盤・防災工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 博士研究調査
専	助教	柳田 龍平 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		構造・材料工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 博士研究調査
専	助教	山口 裕通 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		交通理論概論 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール 博士研究調査

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	熊 曦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地盤力学特論B ※ 地盤・防災工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール
兼任	教授	秋田 純一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		テクノロジトレンド工学A テクノロジトレンド工学B ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B 創成研究Ⅰ 創成研究Ⅱ
兼任	教授	浅川 毅 〈令和4年4月〉 理学博士
		エネルギー・環境プログラム序論
兼任	教授	阿部 聡 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		凝縮系物理学基礎a
兼任	教授	石島 達夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論B
兼任	教授	伊藤 正樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物科学基礎A 生物科学基礎B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	熊 曦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地盤力学特論B ※ 地盤・防災工学演習 ※ 社会基盤工学課題研究 地球社会基盤ゼミナール <b>博士研究調査</b>
専	助教	<b>石野 咲子</b> 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		<b>フィールド実習A</b> <b>フィールド実習B</b> <b>地球惑星科学課題研究</b> <b>地球社会基盤ゼミナール</b> <b>博士研究調査</b>
兼任	教授	秋田 純一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		テクノロジトレンド工学A テクノロジトレンド工学B <b>イノベーション方法論A</b> <b>イノベーション方法論B</b>
兼任	教授	阿部 聡 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		凝縮系物理学基礎a
兼任	教授	石島 達夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論B
兼任	教授	伊藤 正樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物科学基礎A 生物科学基礎B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宇梶 裕 〈令和4年4月〉 理学博士
		物質創成化学 I
兼任	教授	内田 博久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術インター ンシップ
兼任	教授	大塚 浩史 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理・データサイエンス論A 数理・データサイエンス論B
兼任	教授	小田 竜樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ラボローテーション 計算ナノ科学 a 計算ナノ科学 b 数理・ナノ物質工学概論 数理物質科学概論
兼任	教授	垣内 康孝 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		研究者倫理
兼任	教授	笠原 禎也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		通信工学特論A
兼任	教授	喜成 年泰 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		メカニズムの運動解析と設計 A 技術マネジメント基礎論A 技術マネジメント基礎論B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宇梶 裕 〈令和4年4月〉 理学博士
		物質創成化学 I
兼任	教授	内田 博久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術インター ンシップ
兼任	教授	小田 竜樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		<b>異分野研究探査</b> 数理・ナノ物質理工学概論 数理物質科学概論 計算ナノ科学 a 計算ナノ科学 b <b>連携科目</b>
兼任	教授	垣内 康孝 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		研究者倫理
兼任	教授	笠原 禎也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		通信工学特論A
兼任	教授	喜成 年泰 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		メカニズムの運動解析と設計 A 技術マネジメント基礎論A 技術マネジメント基礎論B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木綿 隆弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術経営論入門A 技術経営論入門B
兼任	教授	児玉 昭雄 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ラボローテーション
兼任	教授	斎藤 峯雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		計算理学概論a 計算理学概論b 連携科目
兼任	教授	佐藤 政行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		振動・波動物理学a
兼任	教授	末松 大二郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		理論物理学基礎a
兼任	教授	関 啓明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		インテリジェントロボットA
兼任	教授	高橋 憲司 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		バイオ工学基礎A バイオ工学基礎B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木綿 隆弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術経営論A 技術経営論B
兼任	教授	児玉 昭雄 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>異分野研究探査</b>
兼任	教授	佐藤 政行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		振動・波動物理学a
兼任	教授	関 啓明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		インテリジェントロボットA
兼任	教授	高橋 憲司 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		バイオ工学 <b>特論</b> A バイオ工学 <b>特論</b> B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	竹内 裕 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		フィールド生物学
兼任	教授	程 肇 〈令和4年4月〉 農学博士
		ゲノム生命システム学
兼任	教授	徳田 規夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ナノ物質科学概論
兼任	教授	永谷 広久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ナノ化学概論 先端物質化学概論A 先端物質化学概論B
兼任	教授	名古屋 創 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学a
兼任	教授	長谷川 浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		総合日本語
兼任	教授	本田 光典 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		応用物質化学概論A 応用物質化学概論B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	竹内 裕 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		フィールド生物学
兼任	教授	程 肇 〈令和4年4月〉 農学博士
		ゲノム生命システム学
兼任	教授	徳田 規夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ナノ物質科学概論
兼任	教授	永谷 広久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ナノ化学概論
兼任	教授	長谷川 浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		環境・エネルギー技術英語応用 エネルギー・環境プログラム序 論
兼任	教授	本田 光典 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		応用物質化学概論A 応用物質化学概論B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	八木谷 聡 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ラボローテーション 衛星システム 衛星設計開発A 衛星設計開発B 電磁波工学特論A
兼任	教授	山岸 忠明 〈令和4年4月〉 工学博士
		マテリアルプログラム序論
兼任	教授	山根 智 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		知能ソフトウェア理論A
兼任	教授	渡邊 哲陽 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ラボローテーション

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	八木谷 聡 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		異分野研究探査 電磁波工学特論A
兼任	教授	山岸 忠明 〈令和4年4月〉 工学博士
		マテリアルプログラム序論 エネルギー・環境プログラム序 論
兼任	教授	山根 智 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		知能ソフトウェア理論A 知識集約型社会とデータサイエ ンス
兼任	教授	渡邊 哲陽 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		異分野研究探査
兼任	教授	中村 慎一 〈令和4年4月〉 博士(文学)
		異分野研究探査
兼任	教授	米田 隆 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		次世代の先端科学技術 ヘルスケア・イノベーション
兼任	教授	小島 治幸 〈令和4年4月〉 博士(行動科学)
		人間と社会の課題
兼任	教授	西山 宣昭 〈令和4年4月〉 工学博士
		スマート創成科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論B
兼任	准教授	太田 明雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		環境・エネルギー技術英語応用
兼任	准教授	川江 健 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デバイスプロセス工学A
兼任	准教授	紺野 宏記 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	辻 徳生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		実世界ロボティクス特論A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松島 大輔 〈令和4年4月〉 博士(経営学)
		破壊的イノベーションに向けた 技術経営論
兼任	教授	小原 功任 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理・データサイエンス論A 数理・データサイエンス論B
兼任	教授	浅川 直紀 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		創成研究I 創成研究II
兼任	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		電磁波工学特論B 衛星設計開発A
兼任	准教授	太田 明雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		エネルギー・環境プログラム序 論
兼任	准教授	川江 健 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デバイスプロセス工学A
兼任	准教授	紺野 宏記 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	辻 徳生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		実世界ロボティクス特論A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中村 健一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学b
兼任	准教授	中山 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		データマイニング論A データマイニング論B
兼任	准教授	藤竹 正晴 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物・分子物理学a
兼任	准教授	藤本 龍一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		宇宙・プラズマ物理学a 宇宙物理学a 宇宙物理学b

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中山 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		データマイニング論A データマイニング論B
兼任	准教授	藤竹 正晴 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物・分子物理学a
兼任	准教授	藤本 龍一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		宇宙・プラズマ物理学a 宇宙物理学a 宇宙物理学b
兼任	准教授	POZAR NORBERT 〈令和4年4月〉 Ph. D(Mathematics)(米国)
		計算理学概論a 計算理学概論b
兼任	准教授	添田 貴宏 〈令和4年4月〉 博士(薬学)
		先端物質化学概論A 先端物質化学概論B
兼任	准教授	山口 孝浩 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		応用物質化学概論A 応用物質化学概論B エネルギー・環境プログラム序 論



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	阿部 なつ江 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		海洋リソスフェア構造進化学
兼任	講師	大谷 マーシャ 〈令和4年4月〉 BA in Psychology (米国)
		環境・エネルギー技術英語基礎 国際プレゼンテーション演習
兼任	講師	田村 芳彦 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		マグマ進化学I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	今村 悠里 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学a 数理科学b
兼任	助教	齋川 賢一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		理論物理学基礎a
兼任	助教	澤野 達哉 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		衛星システム 衛星設計開発B
兼任	助教	有元 誠 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		衛星システム 衛星設計開発B
兼任	講師	阿部 なつ江 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		海洋リソスフェア構造進化学
兼任	講師	大谷 マーシャ 〈令和4年4月〉 BA in Psychology (米国)
		環境・エネルギー技術英語基礎 国際プレゼンテーション演習
兼任	講師	田村 芳彦 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		マグマ進化学I

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**  
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。  
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。  
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none"><li>・専任教員の齋藤武久が就任辞退。</li><li>・専任教員に阪田善隆、中西航、花本征也、石野咲子、臼井洋一を追加。</li><li>・昇任のため、専任教員の栗橋祐介、畑光彦、本多了の職名を教授に変更。</li><li>・昇任のため、専任教員の二宮順一、松浦哲久の職名を准教授に変更。</li><li>・新規に設定された「博士研究調査」を専任教員の担当科目に追加。</li><li>・担当教員の見直しにより、専任教員の五十嵐心一、海野進、大橋政司、中山晶一朗、西野達也、長谷川卓、古内正美、小林俊一、畑光彦、本多了、池本敏和、西脇ゆり、原宏江、松浦哲久、村田晶、柳田龍平、山口裕道の担当授業科目を変更。</li><li>・授業科目名の変更により、専任教員の平松良浩の担当授業科目を変更。</li><li>・兼任教員の浅川毅、大塚浩史、齋藤峯雄、末松大二郎、名古屋創、本田光典、中村健一が就任辞退。</li><li>・担当教員の見直しにより、兼任教員の秋田純一、小田竜樹、高橋憲司、永谷広久、長谷川浩、八木谷聡、山岸忠明、山根智、井町智彦、太田明雄の担当授業科目を変更。</li><li>・授業科目名の変更により、兼任教員の秋田純一、小田竜樹、喜成年泰、木綿隆弘、児玉昭雄、八木谷聡、渡邊哲陽の担当授業科目を変更。</li><li>・担当教員の見直しにより、兼任教員に中村慎一、米田隆、小島治幸、西山宣昭、松島大輔、小原功任、浅川直紀、POZAR NORBERT、添田真宏、山口孝浩、今村悠里、齋川賢一、澤野達哉、有元誠が就任。</li></ul>
---

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
10	7	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
19	12	2	11	44	0	21	15	2	10	48	0
(19)	(12)	(2)	(11)	(44)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
44	0	0				48	0	0			
(44)	(0)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
21	15	2	9	48	0	21	15	2	9	48	0
[ 2 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 4 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 4 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
48	0	0				48	0	0			
[ 4 ]	[ 0 ]	[ 0 ]				[ 4 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日現在の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{48}{44} = \boxed{109.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{48} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
								選択	必修	
1	教授	斎藤 武久	R3.9	選択	水工学演習	①	退職のため就任辞退（4）			
				選択	社会基盤工学課題研究	①				
				必修	地球社会基盤ゼミナール	①				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
								①	②	③
							該当なし			
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{44} = 2.27\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生に足して、シラバス等で周知を行った。担当授業科目については、他の専任教員が担当するため、学生に大きな影響はない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<自然科学研究科博士前期課程 地球社会基盤学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況  
教育方法改善委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  
令和3年度は7回実施

c 委員会の審議事項等  
教育方法改善に係る所事項審議・決定

② 実施状況

a 実施内容  
記入例）

- ・ FDシンポジウム
- ・ 新任教員のための研修会

b 実施方法

- ・ 対面とオンラインの併用で実施
- ・ オンラインで実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 令和3年5月7日（金）（オンライン併用のため、参加人数は確認できない）
- ・ 令和4年3月23日（水）（103名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
新任教員研究会，FDシンポジウムでの共有で得られた授業方法，学生への教え方，オンライン授業やAI学習の有効利用，コロナウィルス感染拡大の学生への影響，今，学生の「学び」を質保証するために何を求められているかなどをフィードバックして継続的な授業改善を実施。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期  
実施（年4回，各クォーター終了後）

b 教員や学生への公開状況、方法等  
理工学域Webサイトに，学類ごとの集計結果を掲載（授業担当者はWebから担当科目のアンケート結果を参照し，授業改善に活用する。）

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし



#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 設置の趣旨・目的に沿った教育研究体制を整備し、令和4年4月の開設が順調に行われた。 施設整備、教員配置、カリキュラム設計など、設置計画どおりに達成している。</p> <p>② 自己点検・評価報告書 学内規程に基づき、定期的に、部局の自己点検評価を実施することとしている。 ・令和4年度：全学的な基本データの分析による自己点検を行う予定。</p> <p>a 公表（予定）時期 ・基本データ分析による自己点検を令和4年末までに公表予定</p> <p>b 公表方法 ・大学Webサイト上に公開</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 (専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。) ・令和3年度に、評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し、適合の認定を受けた。</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ]</p> <p>《aで「有」の場合》</p> <p>b 公表（予定）時期 [ <input checked="" type="radio"/> 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後2～3ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後3ヶ月以降 ]</p> <p>c 公表方法 [ <input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ <input type="radio"/> その他 ( ) ]</p> <p>《aで公表「無」の場合》</p> <p>d 公表しない理由 [ ]</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F117110105393

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前相談**

注2

金沢大学大学院 自然科学研究科 生命理工学専攻

## 【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人金沢大学  
令和4年5月1日現在

作成担当者			
担当部局（課）名	企画評価室		
職名・氏名	専門職員	コジマ 小島	ナオト 直人
電話番号	076-264-5020		
（夜間）	076-264-5020		
e-mail	g1kikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp		

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 自然科学研究科博士前期課程

＜生命理工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	44

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人金沢大学

## (2) 大学名

金沢大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒920-1192  
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ワダ タカシ) 和田 隆志 (令和4年4月)		
研究科長	(イイヤマ コウイチ) 飯山 宏一 (令和4年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)  
令和4年度に報告する内容 → (4)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
自然科学研究科 生命理工学専攻 修士（理学） 修士（工学） 修士（学術）	理学関係  工学関係	2  年	41  人	年次  人	82  人	新規入学者を募集集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	41 ( - ) [ - ]	0.92倍	-
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	47 ( - ) [ 2 ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	46 ( - ) [ 1 ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	42 ( - ) [ 1 ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	38 ( - ) [ 1 ]		
入学定員超過率 B/A											0.92		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	38 [ 1 ] -	- [ - ] -	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- [ - ] ( - )
4年次	/						/		/		[ ] ( )
計			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )					[ ] ( )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	38人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{38} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<自然科学研究科博士前期課程 生命理工学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
大学院GS科目 研究科共通科目	研究者倫理	1①	1							1	
	技術経営論入門A	1①	1							1	
	技術経営論入門B	1②	1							1	
	技術マネジメント基礎論A	1①	1							1	
	技術マネジメント基礎論B	1②	1							1	
	ベンチャービジネス論A	1①	1							1	
	ベンチャービジネス論B	1②	1							1	
	数理・データサイエンス論A	1③	1							1	
	数理・データサイエンス論B	1④	1							1	
	数理科学a	1①	1							1	
	数理科学b	1②	1							1	
	理論物理学基礎a	1①	1							1	
	生物・分子物理学a	1①	1							1	
	凝縮系物理学基礎a	1①	1							1	
	宇宙・プラズマ物理学a	1①	1							1	
	振動・波動物理学a	1①	1							1	
	計算理学概論a	1①	1							1	
	計算理学概論b	1②	1							1	
	先端物質化学概論A	1③	1							1	
	先端物質化学概論B	1④	1							1	
	応用物質化学概論A	1③	1							1	
	応用物質化学概論B	1④	1							1	
	生物科学基礎A	1①	1		1					1	
	生物科学基礎B	1②	1		1					1	
	バイオ工学基礎A	1①	1		1					1	
	バイオ工学基礎B	1②	1		1					1	
	地球惑星科学基礎A	1①	1							1	
	地球惑星科学基礎B	1②	1							1	
	環境・エネルギー工学総論A	1③	1							1	
	環境・エネルギー工学総論B	1④	1							1	
	小計(30科目)			1	29	0	2	0	0	0	18
	術北の大陸連携先端科学と技術	連携科目	1①・②	2							1
		小計(1科目)		0	2	0	0	0	0	0	1
	究創成目研	創成研究 I	1①・②	2							1
		創成研究 II	1③・④	2							1
	小計(2科目)		0	4	0	0	0	0	0	0	2
	流国科際目交	国際プレゼンテーション演習	1①・②	2							1
		国際研究インターンシップ	1通	2		1					1
	小計(2科目)		0	4	0	1	0	0	0	0	2
	科総礎目合・	生命理工学キャリア実習	1③・④	1			2				1
小計(1科目)			0	1	0	2	0	0	0	1	
専攻共通科目	リサーチスキル1	1通	4		10	9	1	6		7	
	リサーチスキル2	1通	4		2	4	0	3		2	
小計(2科目)		0	8	0	12	13	1	9	0	9	
専門科目	細胞生命システム学	1①	1		1						
	発生遺伝学	1②	1		1						
	ゲノム生命システム学	1②	1		1						
	生命構造機能システム学A	1①	1							2	
	生命構造機能システム学B	1②	1			1					
	生態システム学A	1③	1			3					
	生態システム学B	1④	1			3					
	生命高次システム学A	1③	1		1	2				1	
	生命高次システム学B	1④	1		1	2				1	
	環境生命システム学A	1③	1		1						
	環境生命システム学B	1④	1		1						
	生物科学基礎演習	2①	2		1		1				
	生物科学演習	2通	4		10	9	1	6		7	
	生物科学特別講義	1①・②	1		1						
	がん進展制御学1A	1①	1		1						
	がん進展制御学1B	1②	1		1						
	がん進展制御学2A	1③	1		1						
	がん進展制御学2B	1④	1		1						
	水圏生理学	1③	1		1						
	水圏発生学	1③	1		1						
	水圏比較内分泌学	1④	1			1					
	水圏増養殖学	1④	1		1						
	生命情報と先端バイオA	1③	1		1						
	生命情報と先端バイオB	1④	1		1						
反応工学特論A	1③	1		1							
反応工学特論B	1④	1		1							

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
大学院GS S 基礎 科目 研究科共通科目	異分野研究探索	1①	1							6	
	研究者倫理	1①	1							1	
	知識集約型社会とデータサイエンス	1②	1							1	
	次世代の先端科学技術	1③	1							1	
	スマート創成科学	1④	1							1	
	イノベーション方法論A	1①	1							1	
	イノベーション方法論B	1②	1							1	
	人間と社会の課題	1③	1							1	
	技術経営論A	1①	1							1	
	技術経営論B	1②	1							1	
	ヘルスケア・イノベーション	1③	1							1	
	破壊的イノベーションに向けた技術経営論	1④	1							1	
	技術マネジメント基礎論A	1①	1							1	
	技術マネジメント基礎論B	1②	1							1	
	数理・データサイエンス論A	1③	1							1	
	数理・データサイエンス論B	1④	1							1	
	数理科学a	1①	1							1	
	数理科学b	1②	1							1	
	理論物理学基礎a	1①	1							1	
	生物・分子物理学a	1①	1							1	
	凝縮系物理学基礎a	1①	1							1	
	宇宙・プラズマ物理学a	1①	1							1	
	振動・波動物理学a	1①	1							1	
	計算理学概論a	1①	1							1	
	計算理学概論b	1②	1							1	
	先端物質化学概論A	1③	1							1	
	先端物質化学概論B	1④	1							1	
	応用物質化学概論A	1③	1							1	
	応用物質化学概論B	1④	1							1	
	生物科学基礎A	1①	1		1					1	
	生物科学基礎B	1②	1		1					1	
	バイオ工学特論A	1①	1		1					1	
	バイオ工学特論B	1②	1		1					1	
	地球惑星科学基礎A	1①	1							1	
	地球惑星科学基礎B	1②	1							1	
	環境・エネルギー工学総論A	1③	1							1	
	環境・エネルギー工学総論B	1④	1							1	
	小計(37科目)			1	36	0	2	0	0	0	28
	術北の大陸連携先端科学と技術	連携科目	1②	2							1
		小計(1科目)		0	2	0	0	0	0	0	1
究創成目研	創成研究 I	1①・②	2							1	
	創成研究 II	1③・④	2							1	
小計(2科目)		0	4	0	0	0	0	0	0	2	
流国科際目交	国際プレゼンテーション演習	1①・②	2							1	
	国際研究インターンシップ	1通	2		1					1	
小計(2科目)		0	4	0	1	0	0	0	0	2	
科総礎目合・	生命理工学キャリア実習	1③・④	1			1				1	
	小計(1科目)		0	1	0	1	2	0	0	1	
専攻共通科目	リサーチスキル1A	1①	1		10	8	1	6		8	
	リサーチスキル1B	1②	1		10	8	1	6		8	
リサーチスキル1C	1③	1		10	8	1	6		8		
リサーチスキル1D	1④	1		10	8	1	6		8		
リサーチスキル2A	1①	1		2	5	2	2		2		
リサーチスキル2B	1②	1		2	5	2	2		2		
リサーチスキル2C	1③	1		2	5	2	2		2		
リサーチスキル2D	1④	1		2	5	2	2		2		
小計(8科目)		0	8	0	12	13	1	8	0	10	
専門科目	細胞生命システム学	1①	1		1						
	発生遺伝学	1①	1		1						
	ゲノム生命システム学	1②	1		1						
	生命構造機能システム学A	1①	1							2	
	生命構造機能システム学B	1②	1				1				
	生態システム学A	1③	1				3				
	生態システム学B	1④	1				3				
	生命高次システム学A	1③	1		4	1				1	
	生命高次システム学B	1④	1		4	1				1	
	環境生命システム学A	1③	1		1						
	環境生命システム学B	1④	1		1						
	生物科学基礎演習	2①	2		1						
	生物科学演習1A	2①	1		10	8	1	6		8	
	生物科学演習1B	2②	1		10	8	1	6		8	
	生物科学演習2A	2③	1		10	8	1	6		8	
	生物科学演習2B	2④	1		10	8	1	6		8	
	生物科学特別講義	1②	1		1		1				
	がん進展制御学1A	1①	1		2						
	がん進展制御学1B	1②	1		2						
	がん進展制御学2A	1③	1		2						
	がん進展制御学2B	1④	1		2						
	水圏生理学	1③	1		1						
	水圏発生学	1③	1		1						
	水圏比較内分泌学	1④	1			1					
水圏増養殖学	1④	1		1							
生命情報と先端バイオA	1③	1		1							
生命情報と先端バイオB	1④	1		1							
反応工学特論A	1①	1		1							
反応工学特論B	1②	1		1							



科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	生物生産工学特論A	1③	1							1	
	生物生産工学特論B	1④	1							1	
	分子機能学特論A	1③	1			1					
	分子機能学特論B	1④	1			1					
	ゲノム生物学特論A	1①	1			1					
	ゲノム生物学特論B	1②	1			1					
	融合化学A	1①	1			1					
	融合化学B	1②	1			1					
	応用微生物学特論	1③	1							1	
	合成生物学特論	1④	1							1	
	生体機能工学特論A	1①	1			1					
	生体機能工学特論B	1②	1			1					
	バイオ工学総合演習	2①	2		1						
	バイオ工学演習	2通	4		2	4		3		2	
小計 (40科目)	—	0	48	0	12	13	1	9	0	9	
課題研究	生物科学課題研究	1~2通	10		10	9	1	6		7	
	バイオ工学課題研究	1~2通	10		2	4		3		2	
	小計 (2科目)	—	0	20	0	12	13	1	9	0	9
通ラプログラム目録	ラボローテーション	1③		1	1					4	
小計 (1科目)	—	0	0	1	1	0	0	0	0	4	
宇宙理工学分野	衛星システム	1①・②		2						1	
	衛星設計開発A	1③		1						1	
	衛星設計開発B	1④		1						1	
	宇宙物理学a	1③		1						1	
	宇宙物理学b	1④		1						1	
	電磁波工学特論A	1③		1						1	
	電磁波工学特論B	1④		1						1	
	通信工学特論A	1①		1						1	
	小計 (8科目)	—	0	0	9	0	0	0	0	0	8
	環境・エネルギー分野	環境・エネルギー技術英語基礎	1①		1						1
		総合日本語	1③		1						1
		環境・エネルギー技術海外研修	1①・②		2						1
		環境・エネルギー技術インターンシップ	1①・②		2						1
		環境・エネルギー技術英語応用	2③		1						1
エネルギー・環境プログラム序論		1①		1						1	
小計 (6科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	0	6	
数理・ナノ物質理工学分野	数理・ナノ物質理工学概論	1①・②		2						1	
	数理解物質科学概論	1②		1						1	
	ナノ物質概論	1②		1						1	
	ナノ物質科学概論	1②		1						1	
	計算ナノ科学a	1③		1						1	
	計算ナノ科学b	1④		1						1	
	物質創成化学 I	1②		1						1	
	デバイスプロセス工学A	1①		1						1	
	マテリアルプログラム序論	1②		1						1	
	小計 (9科目)	—	0	0	10	0	0	0	0	0	9
超スマート社会理工学分野	超スマート社会理工学概論A	1①		1						1	
	超スマート社会理工学概論B	1②		1						1	
	メカニズムの運動解析と設計A	1③		1						1	
	実世界ロボティクス特論A	1①		1						1	
	インテリジェントロボットA	1③		1						1	
	テクノロジトレンド工学A	1①		1						1	
	テクノロジトレンド工学B	1②		1						1	
	データマイニング論A	1①		1						1	
	データマイニング論B	1②		1						1	
	知能ソフトウェア理論A	1③		1						1	
小計 (10科目)	—	0	0	10	0	0	0	0	0	10	
生命・フィールド理工学分野	フィールド生物学	1③		1	1					1	
	地球環境フィールド理工学概論	1③		1						1	
	社会基盤工学概論	1②		1						1	
	地球環境進化学A	1①		1						1	
	フィールド実習A	1②		1						15	
	都市の地震防災A	1③		1						1	
	地球環境のデータ解析学	1④		1						1	
小計 (7科目)	—	0	0	7	1	0	0	0	0	18	
合計 (121科目)	—	1	116	45	12	13	1	9	0	65	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	生物生産工学特論A	1③	1							1	
	生物生産工学特論B	1④	1							1	
	分子機能学特論A	1③	1			1					
	分子機能学特論B	1④	1			1					
	ゲノム生物学特論A	1①	1			1					
	ゲノム生物学特論B	1②	1			1					
	融合化学A	1①	1			1					
	融合化学B	1②	1			1					
	応用微生物学特論	1③	1							1	
	合成生物学特論	1④	1							1	
	生体機能工学特論A	1①	1			1					
	生体機能工学特論B	1②	1			1					
	バイオ工学総合演習	2①	2		1						
	バイオ工学演習1A	2①	1		2	5		2		2	
バイオ工学演習1B	2②	1		2	5		2		2		
バイオ工学演習2A	2③	1		2	5		2		2		
バイオ工学演習2B	2④	1		2	5		2		2		
小計 (46科目)	—	0	48	0	12	13	1	8	0	10	
課題研究	生物科学課題研究	1~2通	10		10	8	1	6		8	
	バイオ工学課題研究	1~2通	10		2	5		2		2	
	小計 (2科目)	—	0	20	0	12	13	1	8	0	10
博士研究員	博士研究員	1~2通	10		12	13	1	8	0	10	
	小計 (1科目)	—	0	10	0	12	13	1	8	0	10
通ラプログラム目録	ラボローテーション	1③		1	1					4	
小計 (1科目)	—	0	0	1	1	0	0	0	0	4	
宇宙理工学分野	衛星システム	1①・②		2						2	
	衛星設計開発A	1③		1						1	
	衛星設計開発B	1④		1						2	
	宇宙物理学a	1③		1						1	
	宇宙物理学b	1④		1						1	
	電磁波工学特論A	1③		1						1	
	電磁波工学特論B	1④		1						1	
	通信工学特論A	1①		1						1	
	小計 (8科目)	—	0	0	9	0	0	0	0	0	6
	環境・エネルギー分野	環境・エネルギー技術英語基礎	1①		1						1
		総合日本語	1③		1						1
		環境・エネルギー技術海外研修	1①・②		2						1
		環境・エネルギー技術インターンシップ	1①・②		2						1
		環境・エネルギー技術英語応用	2③		1						1
エネルギー・環境プログラム序論		1①		1						4	
小計 (6科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	0	8	
数理・ナノ物質理工学分野	数理・ナノ物質理工学概論	1①		2						1	
	数理解物質科学概論	1②		1						1	
	ナノ物質概論	1②		1						1	
	ナノ物質科学概論	1②		1						1	
	計算ナノ科学a	1③		1						1	
	計算ナノ科学b	1④		1						1	
	物質創成化学 I	1②		1						1	
	デバイスプロセス工学A	1①		1						1	
	マテリアルプログラム序論	1②		1						1	
	小計 (9科目)	—	0	0	10	0	0	0	0	0	6
超スマート社会理工学分野	超スマート社会理工学概論A (未開講)	1①		1						1	
	超スマート社会理工学概論B (未開講)	1②		1						1	
	メカニズムの運動解析と設計A	1③		1						1	
	実世界ロボティクス特論A	1①		1						1	
	インテリジェントロボットA	1③		1						1	
	テクノロジトレンド工学A	1①		1						1	
	テクノロジトレンド工学B	1②		1						1	
	データマイニング論A	1①		1						1	
	データマイニング論B	1②		1						1	
	知能ソフトウェア理論A	1③		1						1	
小計 (10科目)	—	0	0	10	0	0	0	0	0	7	
生命・フィールド理工学分野	フィールド生物学	1③		1	1					1	
	地球環境フィールド理工学概論	1③		1						1	
	社会基盤工学概論	1②		1						1	
	地球環境進化学A	1③		1						1	
	フィールド実習A	1②		1						17	
	都市の地震防災A	1③		1						1	
	地球環境のデータ解析学	1④		1						1	
小計 (7科目)	—	0	0	7	1	0	0	0	0	20	
合計 (140科目)	—	1	133	44	12	13	1	8	0	76	

修了要件及び履修方法
<p>(修了要件) 2年以上在学し、31単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>(履修方法) コースが指定する次の科目を含み31単位以上を修得すること。</p> <p>【生物科学コース】</p> <p>① 研究科共通科目・大学院GS科目 1単位必修、2単位以上選択 ② 専攻共通科目・スキル科目 指定科目4単位 ③ 専門科目 指定科目2単位、その他12単位以上選択 ④ 生物科学課題研究 10単位</p> <p>【バイオ工学コース】</p> <p>① 研究科共通科目・大学院GS科目 1単位必修、2単位以上選択 ② 専攻共通科目・スキル科目 指定科目4単位 ③ 専門科目 指定科目2単位、その他12単位以上選択 ④ バイオ工学課題研究 10単位</p> <p>&lt;サステナブル理工学プログラム&gt;</p> <p>・当該プログラムは、自然科学研究科全専攻にまたがる分野横断教育として開講する。博士課程5年一貫型の副専攻であり、以下の(1)～(5)の分野から希望するいずれか1つのプログラムを履修することができる。</p> <p>・本プログラムの博士前期課程に相当する授業科目(上掲)を履修し、所定の審査を受けた後、博士後期課程相当の授業科目を履修し、プログラム修了に必要な最終審査を受ける。</p> <p>・プログラム共通科目には、大学院GS科目の「数理・データサイエンス論A」、「技術マネジメント基礎論A」及び「技術マネジメント基礎論B」を含む。</p> <p>・博士前期課程に相当する授業科目の修得要件は以下のとおり。</p> <p>(1)宇宙理工学分野 プログラム共通科目から「ラポロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「衛星システム」、「衛星設計開発A」及び「衛星設計開発B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「宇宙・プラズマ物理学」を含む。</p> <p>(2)環境・エネルギー理工学分野 プログラム共通科目から「ラポロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「環境・エネルギー工学総論A」、「環境・エネルギー工学総論B」、「環境・エネルギー技術英語基礎」及び「総合日本語」(外国人留学生のみ)を含む7単位(外国人留学生は8単位)以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「環境・エネルギー工学総論A」及び「環境・エネルギー工学総論B」を含む。</p> <p>(3)数理・ナノ物質理工学分野 プログラム共通科目から「ラポロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「数理・ナノ物質理工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS科目の「凝縮系物理学基礎a」を含む。</p> <p>(4)超スマート社会理工学分野 プログラム共通科目から「ラポロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「超スマート社会理工学概論A」及び「超スマート社会理工学概論B」を含む8単位以上を修得すること。</p> <p>(5)生命・フィールド理工学分野 プログラム共通科目から「ラポロテーション」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「フィールド生物学」、「地球環境フィールド理工学概論」及び「社会基盤理工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には専門科目の「ゲノム生命システム学」及び「生命構造機能システム学A」を含む。</p>

修了要件及び履修方法
<p>(修了要件) 2年以上在学し、32単位(ただし、研究取りまとめの方法として「博士研究調査」を選択した者は、34単位)以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験(又は大学院学則に規定する試験及び審査)に合格すること。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>(履修方法) コースが指定する次の科目を含み32単位(ただし、研究取りまとめの方法として「博士研究調査」を選択した者は、34単位)以上を修得すること。</p> <p>【生物科学コース】</p> <p>① 研究科共通科目・大学院GS基礎科目 1単位必修、3単位以上選択 ② 専攻共通科目・スキル科目 指定科目4単位 ③ 専門科目 指定科目2単位、その他12単位以上選択 ④ 生物科学課題研究又は博士研究調査 10単位</p> <p>【バイオ工学コース】</p> <p>① 研究科共通科目・大学院GS基礎科目 1単位必修、3単位以上選択 ② 専攻共通科目・スキル科目 指定科目4単位 ③ 専門科目 指定科目2単位、その他12単位以上選択 ④ バイオ工学課題研究又は博士研究調査 10単位</p> <p>&lt;サステナブル理工学プログラム&gt;</p> <p>・当該プログラムは、自然科学研究科全専攻にまたがる分野横断教育として開講する。博士課程5年一貫型の副専攻であり、以下の(1)～(5)の分野から希望するいずれか1つのプログラムを履修することができる。</p> <p>・本プログラムの博士前期課程に相当する授業科目(上掲)を履修し、所定の審査を受けた後、博士後期課程相当の授業科目を履修し、プログラム修了に必要な最終審査を受ける。</p> <p>・プログラム共通科目には、大学院GS基礎科目の「数理・データサイエンス論A」、「技術マネジメント基礎論A」及び「技術マネジメント基礎論B」を含む。</p> <p>・博士前期課程に相当する授業科目の修得要件は以下のとおり。</p> <p>(1)宇宙理工学分野 プログラム共通科目から「異分野研究探究」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「衛星システム」、「衛星設計開発A」及び「衛星設計開発B」を含む8単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「宇宙・プラズマ物理学」を含む。</p> <p>(2)環境・エネルギー理工学分野 プログラム共通科目から「異分野研究探究」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「環境・エネルギー工学総論A」、「環境・エネルギー工学総論B」、「環境・エネルギー技術英語基礎」及び「総合日本語」(外国人留学生のみ)を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「環境・エネルギー工学総論A」及び「環境・エネルギー工学総論B」を含む。</p> <p>(3)数理・ナノ物質理工学分野 プログラム共通科目から「異分野研究探究」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「数理・ナノ物質理工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には大学院GS基礎科目の「凝縮系物理学基礎a」を含む。</p> <p>(4)超スマート社会理工学分野 プログラム共通科目から「異分野研究探究」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「超スマート社会理工学概論A」及び「超スマート社会理工学概論B」を含む8単位以上を修得すること。</p> <p>(5)生命・フィールド理工学分野 プログラム共通科目から「異分野研究探究」及び「数理・データサイエンス論A」を含む3単位以上、当該分野のプログラム専門科目から「フィールド生物学」、「地球環境フィールド理工学概論」及び「社会基盤理工学概論」を含む7単位以上を修得すること。なお、当該分野のプログラム専門科目には専門科目の「ゲノム生命システム学」及び「生命構造機能システム学A」を含む。</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「〔未開講〕」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・全学的な大学院教育改革に伴い、研究科共通科目の区分名を「大学院GS科目」から「大学院GS基盤科目」に変更。
- ・全学的な大学院教育改革に伴い、6科目（「知識集約型社会とデータサイエンス」、「次世代の先端科学技術」、「スマート創成科学」、「人間のと社会の課題」、「ヘルスケア・イノベーション」、「破壊的イノベーションに向けた技術経営論」）を新設し、担当教員数をそれぞれ「兼任1」に設定。
- ・全学的な大学院教育改革に伴い、授業科目名を「ベンチャービジネス論A、B」を「イノベーション方法論A、B」に、「技術経営論入門A、B」を「技術経営論A、B」、「技術マネジメント基礎論A、B」を「技術マネジメント基礎論A、B」に変更。
- ・全学的な大学院教育改革に伴い、サステナブル理工学プログラムの科目であった「ラボローテーション」の履修対象を専攻全員とするため、授業科目名を「異分野研究探査」、科目区分を大学院GS基盤科目に変更し、担当教員数を「兼任6」に設定。
- ・全学的な大学院教育改革に伴う新規科目の追加、選択区分の変更等により、「技術経営（MOT）コースに関する科目」の区分を削除。
- ・授業内容をより明確にするため、授業科目名を「バイオ工学基礎A、B」から「バイオ工学特論A、B」に変更。
- ・開講時期の見直しにより、「連携科目」の開講学期を「1①・②」から「1②」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、以下の通年科目をクォーター化するため、以下のとおり科目を分割。
  - 「リサーチスキル1（4単位）」を「リサーチスキル1A、1B、1C、1D（各1単位）」に分割
  - 「リサーチスキル2（4単位）」を「リサーチスキル2A、2B、2C、2D（各1単位）」に分割
  - 「生物科学演習（4単位）」を「生物科学演習1A、1B、2A、2B（各1単位）」に分割
  - 「バイオ工学演習（4単位）」を「バイオ工学演習1A、1B、2A、2B（各1単位）」に分割
- ・博士論文研究基礎学力審査の導入のため、「博士研究調査」の科目区分を設けるとともに、科目を新設。
- ・担当教員の変更により、「衛星システム」及び「衛星設計開発B」の担当教員数を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・担当教員の変更により、「エネルギー・環境プログラム序論」の担当教員数を「兼任1」から「兼任4」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「数理・ナノ物質理工学概論」の開講学期を「1①・②」から「1①」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「テクノロジトレンド工学A」の開講学期を「1①」から「1③」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「テクノロジトレンド工学B」の開講学期を「1②」から「1④」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「フィールド生物学」の開講学期を「1③」から「1④」に変更。
- ・履修計画の見直しにより、「地球環境進化学A」の開講学期を「1①」から「1③」に変更。
- ・教員の異動等により、「フィールド実習A」の担当教員数を「兼任15」から「兼任17」に変更。
- ・全学的な大学院教育改革に伴う新規科目の追加、選択区分の変更及び博士研究基礎学力審査の導入により、修了に必要な単位数を変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	79 科目	41 科目	121 科目	1 科目 [ 0 ]	99 科目 [ 20 ]	40 科目 [ Δ1 ]	140 科目 [ 19 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{121} = \boxed{\phantom{00}}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	730,408 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	730,408 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	115,740 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	115,740 m <sup>2</sup>				
	小 計	846,148 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	846,148 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	1,717,530 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	1,717,530 m <sup>2</sup>				
合 計	2,563,678 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	2,563,678 m <sup>2</sup>					
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 建物増築のため(4)			
		284,135 m <sup>2</sup> <del>283,999 m<sup>2</sup></del> (284,135 m <sup>2</sup> ) <del>(283,999 m<sup>2</sup>)</del>	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	284,135 m <sup>2</sup> <del>283,999 m<sup>2</sup></del> (284,135 m <sup>2</sup> ) <del>(283,999 m<sup>2</sup>)</del>				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	162室	208室	1,180室	11室 (補助職員 0人)	8室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	自然科学研究科 生命理工学専攻		35 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位で特定不能のため、大学全体の数量 購入・廃棄等のため (4)	
	自然科学研究科 生命理工学専攻	1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	34,760 [12,152] <del>35,708 [13,079]</del>	10,888 [9,388] <del>10,744 [9,292]</del>	8,372 <del>8,336</del>	9,633 <del>8,986</del>	212		
		1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	(34,760 [12,152]) <del>(35,708 [13,079])</del>	(10,888 [9,388]) <del>(10,744 [9,292])</del>	8,372 <del>8,336</del>	(9,633) <del>(8,986)</del>	(212)		
	計	1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	34,760 [12,152] <del>35,708 [13,079]</del>	10,888 [9,388] <del>10,744 [9,292]</del>	8,372 <del>8,336</del>	9,633 <del>8,986</del>	212		
		1,928,196 [680,849] <del>1,914,343 [678,557]</del>	(34,760 [12,152]) <del>(35,708 [13,079])</del>	(10,888 [9,388]) <del>(10,744 [9,292])</del>	8,372 <del>8,336</del>	(9,633) <del>(8,986)</del>	(212)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数			大学全体 椅子破損および書架 入れ替え等のため(4)		
	19,794m <sup>2</sup>		2,194 <del>2,185</del>	1,633,859 <del>1,640,536</del>					
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,295m <sup>2</sup>		可動屋根付プール (1,193 m <sup>2</sup> ) 弓 道 場 ( 162 m <sup>2</sup> )						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	－千円	－千円	図書購入費	－千円	－千円	－千円	
	共同研究費等	－千円	－千円	設備購入費	－千円	－千円	－千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		－千円	－千円	－千円	－千円	－千円	－千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		－							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
融合学域						1.08	1.07				
先導学類	4	55		110	学士 (学術)	1.06	1.03	-	令和3	石川県金沢市角間町	
観光デザイン学類	4	15		15	学士 (学術)	1.20	1.20		令和4	同上	
人間社会学域						1.02	1.02				
人文学類	4	138	-	569	学士 (文学)	1.02	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(Δ4) 令和4年度入学定員変更(Δ3) 令和3年度入学定員変更(Δ10) 令和4年度入学定員変更(Δ10) 入学定員変更(Δ4)
法学類	4	150	3年次10	670	学士 (法学)	1.01	1.01	-	平成20	同上	
経済学類	4	131	-	532	学士 (経済学)	1.00	1.01	-	平成20	同上	
学校教育学類 共同教員養成課程	4	85	-	85	学士 (教育学)	1.02	1.02	-	令和4	同上	
地域創造学類	4	88	-	356	学士 (地域創造学)	1.03	1.01	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(Δ2)
国際学類	4	81	-	334	学士 (国際学)	1.02	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(Δ2) 令和4年度入学定員変更(Δ2)
学校教育学類	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和4年度学生募集停止
理工学域						1.03	1.03				
数物科学類	4	82	3年次5	338	学士 (理学)	1.01	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(Δ2)
物質化学類	4	79	3年次4	324	学士 (理学・工学)	1.04	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(Δ2)
機械工学類	4	97	3年次10	408	学士 (工学)	1.02	1.04	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(Δ3)
フロンティア工学類	4	107	3年次5	438	学士 (工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(Δ3)
電子情報通信学類	4	78	3年次7	326	学士 (工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(Δ2)
地球社会基盤学類	4	98	3年次7	406	学士 (理学・工学)	1.02	1.04	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(Δ2)
生命理工学類	4	58	3年次2	236	学士 (理学・工学)	1.02	1.03	令和3	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(Δ1)
機械工学類	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
電子情報学類	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止
環境デザイン学類	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止



医薬保健学域						1.01	1.01					
医学類	6	112	2年次 5	697	学士 (医学)	1.00	1.00	令和2	平成20	石川県金沢市宝 町13-1	入学定員変更 (12)※臨時定 員増継続 令和3年度入学定 員変更 (30)	
薬学類	6	65	-	270	学士 (薬学)	1.04	1.00	-	平成20	石川県金沢市角 間町		
医薬科学類	4	18	-	36	学士 (生命医科学・創薬科 学)	1.05	1.05	-	令和3	同上		
保健学類						1.01	1.01					
看護学専攻	4	79	3年次 10	338	学士 (看護学)	1.00	1.00	-	平成20	石川県金沢市小 立野5-11-80	令和3年度入学定 員変更 (△1)	
診療放射線技術専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	1.01	1.02	-	平成20	同上		
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	1.01	1.00	-	平成20	同上		
理学療法学専攻	4	15	3年次 5	80	学士 (保健学)	1.09	1.06	-	平成20	同上	令和3年度入学定 員変更 (△5)	
作業療法学専攻	4	15	3年次 5	80	学士 (保健学)	1.05	1.06	-	平成20	同上	令和3年度入学定 員変更 (△5)	
創薬科学類	4	-	-	-	学士 (創薬科 学)	-	-	-	平成20	石川県金沢市角 間町	令和3年度学生募 集停止	
大学全体	-	1,726	95	7,383	-	-	-	-	-	-		

大学の名称	金沢大学大学院					学生募集停止学科数	11	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	3	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間社会環境研究科											
人文学専攻	2	23	-	46	修士 (文学・学 術)	0.82	0.82	-	平成24	石川県金沢市角 間町	
経済学専攻	2	6	-	12	修士 (経済学・学 術)	1.50	1.50	-	平成24	同上	
地域創造学専攻	2	14	-	28	修士 (地域創造 学・学術)	1.28	1.21	-	平成24	同上	
国際学専攻	2	10	-	20	修士 (国際学・ 学術)	0.55	0.40	-	平成24	同上	
人間社会環境学専攻	3	12	-	36	博士 (社会環境 学・文学・ 法学・政治 学・経済 学・学術)	1.08	0.91	-	平成18	同上	
法学・政治学専攻	2	-	-	-	修士 (法学・政 治学)	-	-	-	平成24	同上	令和2年度学生募 集停止
自然科学研究科											
数物科学専攻	2	56	-	112	修士 (理学・学 術)	1.04	0.88	-	平成24	石川県金沢市角 間町	
物質化学専攻	2	57	-	114	修士 (理学・工 学・学術)	1.04	0.90	-	平成24	同上	
機械科学専攻	2	72	-	72	修士 (工学・学 術)	0.90	0.90	-	令和4	同上	
フロンティア工学専攻	2	83	-	83	修士 (工学・学 術)	1.08	1.08	-	令和4	同上	
電子情報通信学専攻	2	63	-	63	修士 (工学・学 術)	1.03	1.03	-	令和4	同上	
地球社会基盤学専攻	2	69	-	69	修士 (理学・工 学・学術)	0.81	0.81	-	令和4	同上	

生命理工学専攻	2	41	-	41	修士 (理学・工学・学術)	0.92	0.92	-	令和4	同上	
数物科学専攻	3	15	-	45	博士 (理学・学術)	0.57	0.26	-	平成16	同上	
物質化学専攻	3	14	-	42	博士 (理学・工学・学術)	0.44	0.70	-	平成26	同上	
機械科学専攻	3	25	-	75	博士 (工学・学術)	0.44	0.40	-	平成26	同上	
電子情報科学専攻	3	18	-	54	博士 (工学・学術)	0.42	0.16	-	平成16	同上	
環境デザイン学専攻	3	10	-	30	博士 (工学・学術)	0.83	0.20	-	平成26	同上	
自然システム学専攻	3	21	-	63	博士 (理学・工学・学術)	0.44	0.42	-	平成26	同上	
機械科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
電子情報科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
環境デザイン学専攻	2	-	-	-	修士 (工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
自然システム学専攻	2	-	-	-	修士 (理学・工学・学術)	-	-	-	平成24	同上	令和4年度学生募集停止
医薬保健学総合研究科											
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.93	0.73	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	
医学専攻	4	64	-	256	博士 (医学)	1.02	0.92	-	平成28	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学・学術)	0.81	1.25	-	平成24	石川県金沢市角間町	
創薬科学専攻	2	38	-	76	修士 (創薬科学)	0.99	1.15	-	平成24	同上	
創薬科学専攻	3	11	-	33	博士 (創薬科学・学術)	1.06	1.09	-	平成24	同上	
保健学専攻	2	70	-	140	修士 (保健学)	0.75	0.80	-	平成24	石川県金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	-	75	博士 (保健学)	0.81	0.60	-	平成24	同上	
脳医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	平成28年度学生募集停止
がん医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
循環医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
環境医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	-	平成24	同上	平成28年度学生募集停止
先進予防医学研究科											
先進予防医学共同専攻	4	12	-	48	博士 (医学)	0.95	0.58	-	平成28	石川県金沢市宝町13-1	
新学術創成研究科											
融合科学共同専攻	2	14	-	28	修士 (融合科学)	1.03	0.85	-	平成30	石川県金沢市角間町	
融合科学共同専攻	3	14	-	28	博士 (融合科学・理学・工学)	0.18	0.28	-	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	2	6	-	18	修士 (ナノ科学)	1.66	1.16	-	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	3	6	-	18	博士 (ナノ科学)	1.44	1.16	-	令和2	同上	

法学研究科											令和2年度名称 変更
法学・政治学専攻	2	8	-	16	修士 (法学・政治学)	0.45	0.25	-	令和2	石川県金沢市角間町	
法務専攻	3	15	-	45	法務博士 (専門職)	0.73	0.93	-	平成16	同上	
教職実践研究科											
教職実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.96	0.93	-	平成28	石川県金沢市角間町	
大学院全体	-	926	-	2,143	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

### <自然科学研究科 生命理工学専攻>

#### (1) -① 担当教員表

##### 【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伊藤 正樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物科学基礎A 生物科学基礎B リサーチスキル1 生物科学基礎演習 生物科学演習 生物科学課題研究 細胞生命システム学 国際研究インターンシップ 生物科学特別講義
専	教授	岩見 雅史 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 生命高次システム学A ※ 生命高次システム学B ※
専	教授	大島 正伸 〈令和4年4月〉 博士(獣医学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 がん進展制御学2A

##### 【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伊藤 正樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物科学基礎A 生物科学基礎B リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学基礎演習 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 細胞生命システム学 博士研究調査
専	教授	岩見 雅史 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 生命高次システム学A ※ 生命高次システム学B ※ 博士研究調査
専	教授	大島 正伸 〈令和4年4月〉 博士(獣医学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 がん進展制御学1A がん進展制御学1B 博士研究調査

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 賢二 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		リサーチスキル2 バイオ工学演習 バイオ工学課題研究 生命情報と先端バイオA 生命情報と先端バイオB
専	教授	鈴木 信雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 水圏生理学
専	教授	須田 貴司 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 がん進展制御学2B

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 賢二 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		リサーチスキル2A リサーチスキル2B リサーチスキル2C リサーチスキル2D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B バイオ工学課題研究 生命情報と先端バイオA 生命情報と先端バイオB 博士研究調査
専	教授	鈴木 信雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 水圏生理学 生命高次システム学A 生命高次システム学B 博士研究調査
専	教授	須田 貴司 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 がん進展制御学2A がん進展制御学2B 博士研究調査

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 憲司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		バイオ工学基礎A バイオ工学基礎B リサーチスキル2 バイオ工学総合演習 バイオ工学演習 バイオ工学課題研究 反応工学特論A 反応工学特論B
専	教授	竹内 裕 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 水圏発生学 フィールド生物学
専	教授	程 肇 〈令和4年4月〉 農学博士
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 ゲノム生命システム学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 憲司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		バイオ工学特論A バイオ工学特論B リサーチスキル2A リサーチスキル2B リサーチスキル2C リサーチスキル2D バイオ工学総合演習 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B バイオ工学課題研究 反応工学特論A 反応工学特論B 博士研究調査
専	教授	竹内 裕 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 水圏発生学 フィールド生物学 生命理工キャリア実習 生命高次システム学A 生命高次システム学B 国際研究インターンシップ 博士研究調査
専	教授	程 肇 〈令和4年4月〉 農学博士
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 ゲノム生命システム学 博士研究調査

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平尾 敦 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 がん進展制御学1B
専	教授	松原 創 ＜令和4年4月＞ 博士(水産科学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 水圏増養殖学
専	教授	善岡 克次 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 がん進展制御学1A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平尾 敦 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 がん進展制御学2A がん進展制御学2B 博士研究調査
専	教授	松原 創 ＜令和4年4月＞ 博士(水産科学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 水圏増養殖学 生命高次システム学A 生命高次システム学B 博士研究調査
専	教授	善岡 克次 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 がん進展制御学1A がん進展制御学1B 博士研究調査

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大河原 恭祐 〈令和4年4月〉 博士(地球環境科学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 生態システム学A ※ 生態システム学B ※
専	准教授	柿川 真紀子 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		リサーチスキル2 バイオ工学演習 バイオ工学課題研究 生体機能工学特論A 生体機能工学特論B
専	准教授	木矢 剛智 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 生命高次システム学A ※ 生命高次システム学B ※
専	准教授	黒田 浩介 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		リサーチスキル2 バイオ工学演習 バイオ工学課題研究 融合化学A 融合化学B 命理工キャリア実習

生

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大河原 恭祐 〈令和4年4月〉 博士(地球環境科学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 生態システム学A ※ 生態システム学B ※ 生物科学特別講義 博士研究調査
専	准教授	柿川 真紀子 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		リサーチスキル2A~2D バイオ工学演習1A~2B バイオ工学課題研究 生体機能工学特論A 生体機能工学特論B 博士研究調査
専	准教授	木矢 剛智 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 生命高次システム学A ※ 生命高次システム学B ※ 博士研究調査
専	准教授	黒田 浩介 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		リサーチスキル2A~2D バイオ工学演習1A~2B バイオ工学課題研究 融合化学A 融合化学B 博士研究調査



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小林 功 〈令和4年4月〉 博士(獣医学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 発生遺伝学
専	准教授	坂本 敏夫 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 環境生命システム学A 環境生命システム学B
専	准教授	関口 俊男 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 水圏比較内分泌学
専	准教授	田岡 東 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 生命構造機能システム学B ※ 生命理工キャリア実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小林 功 〈令和4年4月〉 博士(獣医学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 発生遺伝学 生命理工キャリア実習 博士研究調査
専	准教授	坂本 敏夫 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 環境生命システム学A 環境生命システム学B 博士研究調査
専	准教授	関口 俊男 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 水圏比較内分泌学 博士研究調査
専	准教授	田岡 東 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 生命構造機能システム学B ※ 博士研究調査

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	都野 展子 〈令和4年4月〉 博士(農学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 生態システム学A ※ 生態システム学B ※
専	准教授	西内 巧 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル2 バイオ工学演習 バイオ工学課題研究 分子機能学特論A 分子機能学特論B
専	准教授	西川 潮 〈令和4年4月〉 Ph. D. (ニュージーランド)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 生態システム学A ※ 生態システム学B ※
専	准教授	羽澤 勝治 〈令和4年4月〉 博士(保健学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 生命高次システム学A ※ 生命高次システム学B ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	都野 展子 〈令和4年4月〉 博士(農学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 生態システム学A ※ 生態システム学B ※ <b>博士研究調査</b>
専	准教授	西内 巧 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル2A~2D バイオ工学演習1A~2B バイオ工学課題研究 分子機能学特論A 分子機能学特論B <b>博士研究調査</b>
専	准教授	西川 潮 〈令和4年4月〉 Ph. D. (ニュージーランド)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 生態システム学A ※ 生態システム学B ※ <b>博士研究調査</b>
兼任	准教授	羽澤 勝治 〈令和4年4月〉 博士(保健学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 <b>博士研究調査</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山田 洋一 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		リサーチスキル2 バイオ工学演習 バイオ工学課題研究 ゲノム生物学特論A ゲノム生物学特論B
専	講師	金森 正明 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 生命構造機能システム学B ※
専	助教	瓜生 耕一郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究
専	助教	亀井 宏泰 〈令和4年4月〉 博士(農学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山田 洋一 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		リサーチスキル2A~2D バイオ工学演習1A~2B バイオ工学課題研究 ゲノム生物学特論A ゲノム生物学特論B 生命理工キャリア実習 博士研究調査
専	講師	金森 正明 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 生命構造機能システム学B ※ 博士研究調査
専	助教	瓜生 耕一郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 博士研究調査
専	助教	亀井 宏泰 〈令和4年4月〉 博士(農学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 博士研究調査

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	木谷 洋一郎 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究
専	助教	小藤 累美子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究
専	助教	高塚 大知 〈令和4年4月〉 博士(バイオサイエンス)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究
専	助教	西山 智明 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル2 バイオ工学演習 バイオ工学課題研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	木谷 洋一郎 〈令和4年4月〉 博士(水産学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 博士研究調査
専	助教	小藤 累美子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 博士研究調査
専	助教	高塚 大知 〈令和4年4月〉 博士(バイオサイエンス)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 博士研究調査
専	助教	西山 智明 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル2A リサーチスキル2B リサーチスキル2C リサーチスキル2D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B バイオ工学課題研究 博士研究調査

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	広瀬 修 〈令和4年4月〉 博士(情報理工学)
		リサーチスキル2 バイオ工学演習 バイオ工学課題研究
専	助教	本田 匡人 〈令和4年4月〉 博士(農学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究
専	助教	和田 直樹 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		リサーチスキル2 バイオ工学演習 バイオ工学課題研究
兼任	教授	秋田 純一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B 創成研究Ⅰ 創成研究Ⅱ テクノロジトレンド工学A テクノロジトレンド工学B
兼任	教授	浅川 毅 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		エネルギー・環境プログラム序論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	広瀬 修 〈令和4年4月〉 博士(情報理工学)
		リサーチスキル2A リサーチスキル2B リサーチスキル2C リサーチスキル2D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B バイオ工学課題研究 博士研究調査
専	助教	本田 匡人 〈令和4年4月〉 博士(農学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 博士研究調査
専	助教	和田 直樹 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		リサーチスキル2A リサーチスキル2B リサーチスキル2C リサーチスキル2D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B バイオ工学課題研究 博士研究調査
兼任	教授	秋田 純一 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		イノベーション方法論A イノベーション方法論B テクノロジトレンド工学A テクノロジトレンド工学B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 聡 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		凝縮系物理学基礎a
兼任	教授	石島 達夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論B
兼任	教授	WONG WING CHUEN RICHARD 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 生命高次システム学A ※ 生命高次システム学B ※
兼任	教授	宇梶 裕 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		物質創成化学 I
兼任	教授	内田 博久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術インター ンシップ
兼任	教授	海野 進 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習 A
兼任	教授	大塚 浩史 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理・データサイエンス論A 数理・データサイエンス論B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 聡 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		凝縮系物理学基礎a
兼任	教授	石島 達夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー工学総論B
兼任	教授	WONG WING CHUEN RICHARD 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 生命高次システム学A ※ 生命高次システム学B ※ 博士研究調査
兼任	教授	宇梶 裕 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		物質創成化学 I
兼任	教授	内田 博久 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術インター ンシップ
兼任	教授	海野 進 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習 A
兼任	教授	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小田 竜樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ラボローテーション 数理・ナノ物質理工学概論 数理物質科学概論 計算ナノ科学a 計算ナノ科学b
兼任	教授	垣内 康孝 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		研究者倫理
兼任	教授	笠原 禎也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		通信工学特論A
兼任	教授	神谷 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	喜成 年泰 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術マネジメント基礎論A 技術マネジメント基礎論B メカニズムの運動解析と設計A
兼任	教授	木綿 隆弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術経営論入門A 技術経営論入門B
兼任	教授	児玉 昭雄 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ラボローテーション

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小田 竜樹 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		<b>異分野研究探査</b> 数理・ナノ物質理工学概論 数理物質科学概論 計算ナノ科学 a 計算ナノ科学 b <b>連携科目</b>
兼任	教授	垣内 康孝 〈令和4年4月〉 博士(学術)
		研究者倫理
兼任	教授	笠原 禎也 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		通信工学特論A
兼任	教授	神谷 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	喜成 年泰 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術マネジメント基礎論A 技術マネジメント基礎論B メカニズムの運動解析と設計A
兼任	教授	木綿 隆弘 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		技術経営論A 技術経営論B
兼任	教授	児玉 昭雄 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		<b>異分野研究探査</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	後藤 典子 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究
兼任	教授	斎藤 峯雄 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		計算理学概論a 計算理学概論b 連携科目
兼任	教授	佐藤 政行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		振動・波動物理学a
兼任	教授	末松 大二郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		理論物理学基礎a
兼任	教授	鈴木 健之 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究
兼任	教授	関 啓明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		インテリジェントロボットA

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	後藤 典子 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 博士研究調査
兼任	教授	
兼任	教授	佐藤 政行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		振動・波動物理学a
兼任	教授	
兼任	教授	鈴木 健之 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 博士研究調査
兼任	教授	関 啓明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		インテリジェントロボットA



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高橋 智聡 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究
兼任	教授	谷口 健司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地球環境のデータ解析学
兼任	教授	徳田 規夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ナノ物質科学概論
兼任	教授	永谷 広久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		先端物質化学概論A 先端物質化学概論B ナノ化学概論
兼任	教授	中山 晶一郎 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマート社会理工学概論A 超スマート社会理工学概論B
兼任	教授	名古屋 創 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学a

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高橋 智聡 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 博士研究調査
兼任	教授	谷口 健司 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		地球環境のデータ解析学
兼任	教授	徳田 規夫 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ナノ物質科学概論
兼任	教授	永谷 広久 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		ナノ化学概論
兼任	教授	中山 晶一郎 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		超スマート社会理工学概論A 超スマート社会理工学概論B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	仁宮 一章 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		リサーチスキル2 バイオ工学演習 バイオ工学課題研究 生物生産工学特論A 生物生産工学特論B
兼任	教授	長谷川 卓 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境進化学A フィールド実習A
兼任	教授	長谷川 浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		総合日本語
兼任	教授	長谷部 徳子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	平松 良浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境フィールド理工学概論 フィールド実習A
兼任	教授	福士 圭介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	仁宮 一章 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		リサーチスキル2A リサーチスキル2B リサーチスキル2C リサーチスキル2D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B バイオ工学課題研究 生物生産工学特論A 生物生産工学特論B 博士研究調査
兼任	教授	長谷川 卓 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球環境進化学A フィールド実習A
兼任	教授	長谷川 浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		エネルギー・環境プログラム序 論 環境・エネルギー技術英語応用
兼任	教授	長谷部 徳子 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	教授	平松 良浩 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		異分野研究探査 地球環境フィールド理工学概論 フィールド実習A
兼任	教授	福士 圭介 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	本田 光典 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		応用物質化学概論A 応用物質化学概論B
兼担	教授	松本 邦夫 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究
兼担	教授	森下 知晃 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星科学基礎A 地球惑星科学基礎B フィールド実習A
兼担	教授	八木谷 聡 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ラボローテーション 衛星システム 衛星設計開発A 衛星設計開発B 電磁波工学特論A
兼担	教授	山岸 忠明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		マテリアルプログラム序論
兼担	教授	山根 智 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		知能ソフトウェア理論A

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	松本 邦夫 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 博士研究調査
兼担	教授	森下 知晃 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		地球惑星科学基礎A 地球惑星科学基礎B フィールド実習A
兼担	教授	八木谷 聡 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		異分野研究探査 電磁波工学特論A
兼担	教授	山岸 忠明 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		マテリアルプログラム序論 エネルギー・環境プログラム序論
兼担	教授	山根 智 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		知能ソフトウェア理論A 知識集約型社会とデータサイエンス

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	由比 政年 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		社会基盤工学概論
兼任	教授	渡邊 哲陽 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		ラボローテーション

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	由比 政年 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		社会基盤工学概論
兼任	教授	渡邊 哲陽 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		異分野研究探査
兼任	教授	中村 慎一 〈令和4年4月〉 博士(文学)
		異分野研究探査
兼任	教授	米田 隆 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		次世代の先端科学技術 ヘルスケア・イノベーション
兼任	教授	小島 治幸 〈令和4年4月〉 博士(行動科学)
		人間と社会の課題
兼任	教授	西山 宣昭 〈令和4年4月〉 工学博士
		スマート創成科学
兼任	教授	松島 大輔 〈令和4年4月〉 博士(経営学)
		破壊的イノベーションに向けた 技術経営論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学) 電磁波工学特論B
兼任	准教授	遠藤 徳孝 〈令和4年4月〉 博士(理学) フィールド実習 A
兼任	准教授	太田 明雄 〈令和4年4月〉 博士(理学) 環境・エネルギー技術英語応用
兼任	准教授	奥寺 浩樹 〈令和4年4月〉 博士(学術) フィールド実習 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小原 功任 〈令和4年4月〉 博士(理学) 数理・データサイエンス論A 数理・データサイエンス論B
兼任	教授	浅川 直紀 〈令和4年4月〉 博士(工学) 創成研究I 創成研究II
兼任	教授	本多 了 〈令和4年4月〉 博士(工学) 総合日本語
兼任	准教授	井町 智彦 〈令和4年4月〉 博士(工学) 電磁波工学特論B 衛星設計開発A
兼任	准教授	遠藤 徳孝 〈令和4年4月〉 博士(理学) フィールド実習 A
兼任	准教授	太田 明雄 〈令和4年4月〉 博士(理学) エネルギー・環境プログラム序 論
兼任	准教授	奥寺 浩樹 〈令和4年4月〉 博士(学術) フィールド実習 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	川江 健 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デバイスプロセス工学A
兼任	准教授	紺野 宏記 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	ジェンキンズ ロバート 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	隅田 育郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	柘植 陽太 〈令和4年4月〉 博士(バイオサイエンス)
		リサーチスキル2 バイオ工学演習 バイオ工学課題研究 応用微生物学特論 合成生物学特論
兼任	准教授	辻 徳生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		実世界ロボティクス特論A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	川江 健 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		デバイスプロセス工学A
兼任	准教授	紺野 宏記 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 生命構造機能システム学A ※ 博士研究調査
兼任	准教授	ジェンキンズ ロバート 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	隅田 育郎 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	准教授	柘植 陽太 〈令和4年4月〉 博士(バイオサイエンス)
		リサーチスキル2A リサーチスキル2B リサーチスキル2C リサーチスキル2D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B バイオ工学課題研究 応用微生物学特論 合成生物学特論 博士研究調査
兼任	准教授	辻 徳生 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		実世界ロボティクス特論A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中村 健一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学b
兼任	准教授	中山 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1 生物科学演習 生物科学課題研究 生命構造機能システム学A ※
兼任	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		データマイニング論A データマイニング論B
兼任	准教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術海外研修
兼任	准教授	藤竹 正晴 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物・分子物理学a
兼任	准教授	藤本 龍一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		宇宙・プラズマ物理学a 宇宙物理学a 宇宙物理学b
兼任	准教授	松木 篤 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中山 隆宏 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		リサーチスキル1A リサーチスキル1B リサーチスキル1C リサーチスキル1D 生物科学演習1A 生物科学演習1B 生物科学演習2A 生物科学演習2B 生物科学課題研究 生命構造機能システム学A ※ 博士研究調査
兼任	准教授	南保 英孝 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		データマイニング論A データマイニング論B
兼任	教授	畑 光彦 〈令和4年4月〉 博士(工学)
		環境・エネルギー技術海外研修
兼任	准教授	藤竹 正晴 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		生物・分子物理学a
兼任	准教授	藤本 龍一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		宇宙・プラズマ物理学a 宇宙物理学a 宇宙物理学b
兼任	准教授	松木 篤 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任 (予定) 年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池本 敏和 〈令和4年4月〉 博士 (工学)
		都市の地震防災A
兼任	助教	佐川 拓也 〈令和4年4月〉 博士 (地球環境科学)
		フィールド実習 A
兼任	助教	濱田 麻希 〈令和4年4月〉 博士 (理学)
		フィールド実習 A
兼任	助教	松浦 哲久 〈令和4年4月〉 博士 (工学)
		環境・エネルギー工学総論A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任 (予定) 年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	POZAR NORBERT 〈令和4年4月〉 Ph. D (Mathematics) (米国)
		計算理学概論a 計算理学概論b
兼任	准教授	添田 貴宏 〈令和4年4月〉 博士 (薬学)
		先端物質化学概論A 先端物質化学概論B
兼任	准教授	山口 孝浩 〈令和4年4月〉 博士 (工学)
		応用物質化学概論A 応用物質化学概論B エネルギー・環境プログラム序 論
兼任	准教授	臼井 洋一 〈令和4年3月〉 博士 (理学)
		フィールド実習A
兼任	講師	池本 敏和 〈令和4年4月〉 博士 (工学)
		都市の地震防災A
兼任	助教	佐川 拓也 〈令和4年4月〉 博士 (地球環境科学)
		フィールド実習 A
兼任	助教	濱田 麻希 〈令和4年4月〉 博士 (理学)
		フィールド実習 A
兼任	准教授	松浦 哲久 〈令和4年4月〉 博士 (工学)
		環境・エネルギー工学総論A



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	水上 知行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	講師	大谷 マーシャ 〈令和4年4月〉 BA in Psychology (米国)
		国際プレゼンテーション演習 環境・エネルギー技術英語基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	水上 知行 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		フィールド実習A
兼任	講師	大谷 マーシャ 〈令和4年4月〉 BA in Psychology (米国)
		国際プレゼンテーション演習 環境・エネルギー技術英語基礎
兼任	助教	今村 悠里 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		数理科学a 数理科学b
兼任	助教	齋川 賢一 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		理論物理学基礎a
兼任	助教	澤野 達哉 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		衛星システム 衛星設計開発B
兼任	助教	有元 誠 〈令和4年4月〉 博士(理学)
		衛星システム 衛星設計開発B
兼任	助教	石野 咲子 〈令和3年12月〉 博士(理学)
		フィールド実習A

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none"><li>・専任教員の羽澤勝治を兼任教員に変更。</li><li>・昇任のため、専任教員の広瀬修の職名を准教授に変更。</li><li>・新規に設定された「博士研究調査」を専任教員及び兼任教員の羽澤勝治、WONG WING CHUEN RICHARG、後藤典子、鈴木健之、高橋智聡、仁宮一章、松本邦夫、紺野宏記、柘植陽太、中山隆宏の担当科目に追加。</li><li>・専任教員の善岡克次の担当授業科目名に誤りがあったため修正。</li><li>・授業科目名等の変更により、リサーチスキル1をリサーチスキル1A～1Dに変更。</li><li>・授業科目名等の変更により、リサーチスキル2をリサーチスキル2A～2Dに変更。</li><li>・授業科目名等の変更により、生物科学演習を生物科学演習1A～2Bに変更。</li><li>・授業科目名等の変更により、バイオ工学演習をバイオ工学演習1A～2Bに変更。</li><li>・担当教員の見直しにより、専任教員の伊藤正樹、大島正伸、鈴木信雄、須田貴司、竹内裕、平尾敦、松原創、大河原恭祐、黒田浩介、小林功、田岡東、山田洋一の担当授業科目を変更。</li><li>・授業科目名の変更により、専任教員の髙橋憲司の担当授業科目を変更。</li><li>・兼任教員の浅川毅、大塚浩史、齋藤雄、末松大二郎、名古屋創、本田光典、中村健一が辞任。</li><li>・担当教員の見直しにより、兼任教員の羽澤勝治、秋田純一、小田竜樹、永谷広久、長谷川浩、八木谷聡、山岸忠明、山根智、井町智彦、太田明雄の担当授業科目を変更。</li><li>・授業科目名の変更により、兼任教員の秋田純一、小田竜樹、喜成年泰、木綿隆弘、児玉昭雄、平松良浩、渡邊哲陽の担当授業科目を変更。</li><li>・昇任のため、兼任教員の畑光彦の職名を教授に変更。</li><li>・昇任のため、兼任教員の松浦哲久の職名を教授に変更。</li><li>・担当教員の見直しにより、兼任教員に中村慎一、米田隆、小島治幸、西山宣昭、松島大輔、小原功任、浅川直紀、本多了、POZAR NORBERT、添田貴宏、山口孝浩、臼井洋一、今村悠里、齋川賢一、澤野達哉、有元誠、石野咲子が就任。</li></ul>
---

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
6	4	1
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
12	13	1	9	35	0	12	13	1	8	34	0
(12)	(13)	(1)	(9)	(35)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
44	0	0				44	0	0			
0	0	0	/			0	0	0	/		
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
12	13	1	8	34	0	12	13	1	8	34	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
44	0	0				44	0	0			
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	/			[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	/		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{34}{35} = \boxed{97.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{34} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	羽澤 勝治	R4.4	選択	リサーチスキル1A	②	他専攻の専任教員となるため（4）			
				選択	リサーチスキル1B	②				
				選択	リサーチスキル1C	②				
				選択	リサーチスキル1D	②				
				選択	生物科学演習1A	②				
				選択	生物科学演習1B	②				
				選択	生物科学演習2A	②				
				選択	生物科学演習2B	②				
				選択	生物科学課題研究	②				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	0	科目	選択	10	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	0	科目	計	10	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
							該当なし			
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	0	科目	選択	10	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	0	科目	計	10	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{35} = 2.85 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
						該当なし	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員として就任辞退したが、担当科目は引き続き、兼任教員として本人が行うこととしており、学生に影響はない。学生に対しては、ガイダンスやシラバス等で周知しており、問題はない。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<自然科学研究科博士前期課程 生命理工学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 教育方法改善委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和3年度は7回実施</p> <p>c 委員会の審議事項等 教育方法改善に係る所事項審議・決定</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FDシンポジウム</li> <li>・ 新任教員のための研修会</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対面とオンラインの併用で実施</li> <li>・ オンラインで実施</li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年5月7日（金）（オンラインとの併用のため、参加人数は把握できない）</li> <li>・ 令和4年3月23日（水）（103名）</li> </ul> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 新任教員研究会、FDシンポジウムでの共有で得られた授業方法、学生への教え方、オンライン授業やAI学習の有効利用、コロナウィルス感染拡大の学生への影響、今、学生の「学び」を質保証するために何を求められているかなどをフィードバックして継続的な授業改善を実施。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 実施（年4回、各クォーター終了後）</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 理工学域Webサイトに、学類ごとの集計結果を掲載（授業担当者はWebから担当科目のアンケート結果を参照し、授業改善に活用する。）</p>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況



#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 設置の趣旨・目的に沿った教育研究体制を整備し、令和4年4月の開設が順調に行われた。 施設整備、教員配置、カリキュラム設計など、設置計画どおりに達成している。</p> <p>② 自己点検・評価報告書 学内規程に基づき、定期的に、部局の自己点検評価を実施することとしている。 ・令和4年度：全学的な基本データの分析による自己点検を行う予定。</p> <p>a 公表（予定）時期 ・基本データ分析による自己点検を令和4年末までに公表予定</p> <p>b 公表方法 ・大学Webサイト上に公開</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 ・令和3年度に、評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し、適合の認定を受けた。</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ]</p> <p>《aで「有」の場合》</p> <p>b 公表（予定）時期 [ <input checked="" type="radio"/> 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後2～3ヶ月以内 ・ <input type="radio"/> 公表後3ヶ月以降 ]</p> <p>c 公表方法 [ <input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ <input type="radio"/> その他 ( ) ]</p> <p>《aで公表「無」の場合》</p> <p>d 公表しない理由 [ ]</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。